brother

ファクシミリ取扱説明書
FAX-1000CL/1000VCL/1000VCLW

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

brother ファクシミリ FAX-1000CL/1000VCL/1000VCLW 取扱説明書



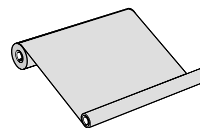
お客様相談窓口　0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前9：00〜午後7：00

営 業 日　月曜日〜土曜日（日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。）

「詰め替え用リボン」は「当社指定品」をお使いください。当社指定以外のインクリボンをお使いいただくと、故障の原因になります。（詳しくは、109、131ページをご覧ください）



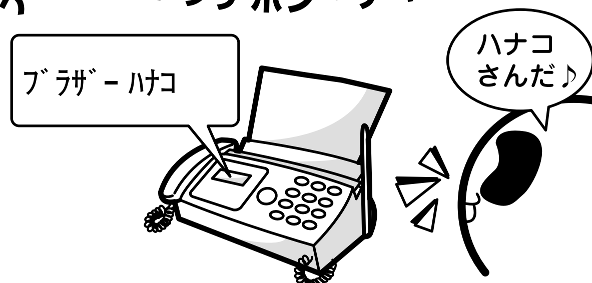
本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

バリエーション豊富。4和音着信・保留メロディ



親機に50曲、子機に3曲の着信メロディがセットされています。（☞ 85ページ）
子機には、親機に登録されている50曲の中からお好きなメロディを転送し、着信メロディとして使うことができます。（☞ 87ページ）
※子機は単音メロディです。

ナンバーディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ対応



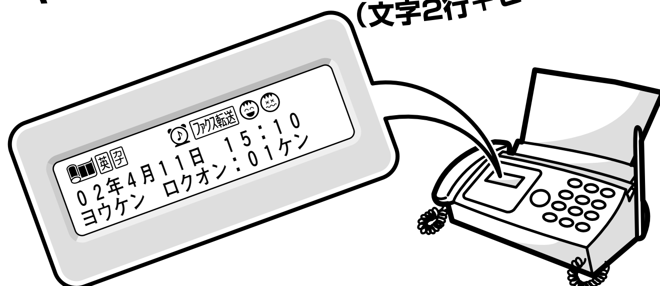
番号・名前表示、迷惑電話防止、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、着信先（親機／子機）指定などの便利な着信対応が設定できます（☞ 70ページ）。
かけてきた相手の番号と日付を、後からディスプレイで確認することができます。
親機は54種類、子機は8種類の鳴り分けができます。

ピクト付4行ディスプレイ付きコードレス子機（文字3行＋ピクト1行） 子機間通話（トランシーバー方式）対応



FAX1000VCLWをお使いの場合や、子機を増設しているときは、子機どうしで通話（トランシーバー方式）ができます（☞ 45ページ）。
子機の電話帳には電話番号が100件まで登録できます。
また、バックライト付の明るい液晶部分を見ながら簡単に検索することができます。

バックライト付きで明るく見やすい ピクト付本体3行液晶ディスプレイ（文字2行＋ピクト1行）



通信結果や､リボンの残量などピクト（絵文字）でわかりやすくお知らせ。3行の液晶に表示されるメッセージとピクトにしたがって設定が簡単に行えるようになっています（☞ 7ページ）。

目　次

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。

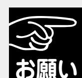


誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

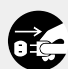

⃠記号は「してはいけないこと（禁止）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。（左の例は分解禁止を意味しています。）



誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。


●記号は「しなければいけないこと（指示）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。（左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。）


「してはいけないこと」を示しています。


「さわってはいけないこと」を示しています。


「分解してはいけないこと」を示しています。


「電源プラグを抜くこと」を示しています。


「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。


「水場で使ってはいけないこと」を示しています。


「しなければいけないこと」を示しています。

〈お客様へのお願い〉

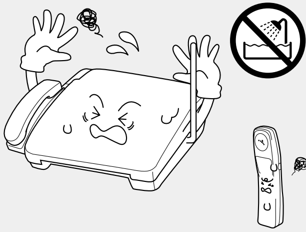
- 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口 0120-161170」までご連絡ください。
- お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- **電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ずプリントして保管してください。**（電話帳に登録した内容をプリントする ☞95 ページ、メモリーに受信したファクスメッセージをプリントする ☞56 ページ）
  本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（☞130 ページ）へご注文ください。

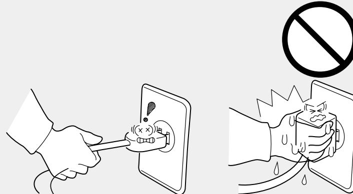
■ 設置、配線についてのご注意

⚠警告

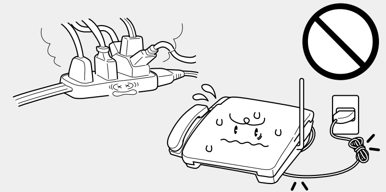
●風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所には設置しないでください。
故障や変形、火災の原因となります。



●電源コードやACアダプターを抜くときは、コードを引っぱらないでください。
ぬれた手で電源コードやACアダプターを抜き差ししないでください。
感電ややけどの原因となります。



●たこ足配線はしないでください。
電源コードやACアダプターの上に重いものをのせたり、コードをたばねたりしないでください。
火災の原因となります。



●バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
●バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
●専用の充電器を使用してください。





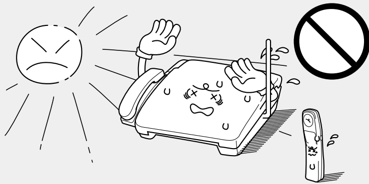
●国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。
電源はAC100V 50Hz、または60Hzでご使用ください。
それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。



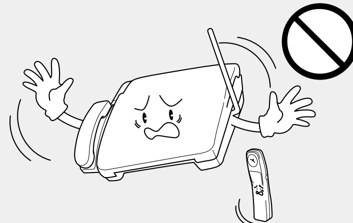
⚠注意

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

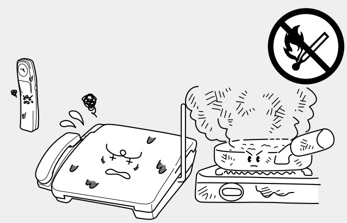
●直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所



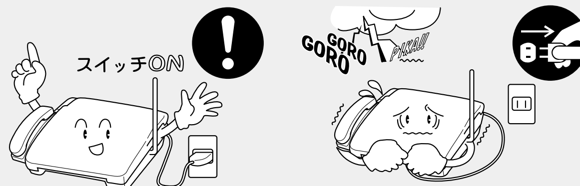
●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所



●調理台のそばなど、油飛びや湯気のあたる場所



●電源コードやACアダプターはコンセントに確実に差し込んでください。（本機には電源スイッチが付いていません。）
雷がはげしいときは、電源コードやACアダプターをコンセントから抜いてください。（電源コードは抜きやすい所に差し込んでください。）



⚠注意

ブランチ接続（並列接続）はしないでください。

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

●ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。

●電話がかかってきたとき、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。

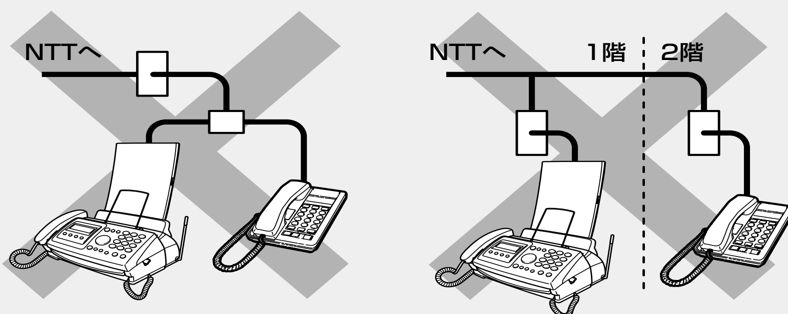
●コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。

●本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。

●並列電話機から親機や子機への転送はできません。

●ナンバーディスプレイ、キャッチホン、キャッチホンディスプレイ、ダイヤルインなどのサービスが正常に動作しません。

●パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



ブランチ接続（並列接続）とは

一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

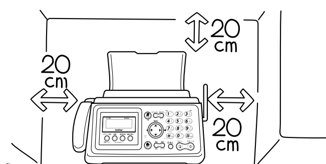


●本機をお使いいただける環境は次のとおりです。

温度：5～35℃

湿度：45～80%

●本機を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。



●電波障害時の対処

本機の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本機の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

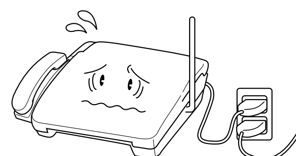
・本機をテレビなどから遠ざける。
・本機、またはテレビなどの向きを変える。

●以下のような場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
・いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所
・クーラー、換気口など、風が直接あたる場所
・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
・換気の悪い場所
・揮発性可燃物やカーテンに近い場所

●電源コンセントの共用にはご注意ください。

複写機などの高電圧機器と同じ電源は避けてください。

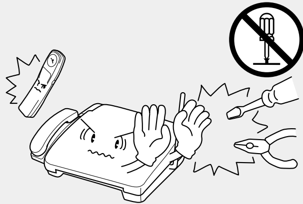


■ 使用する際のご注意

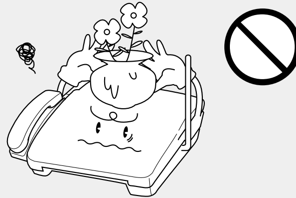
⚠警告

そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。

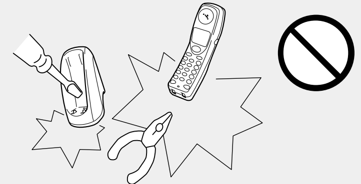
●分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。（法律で罰せられることがあります。）



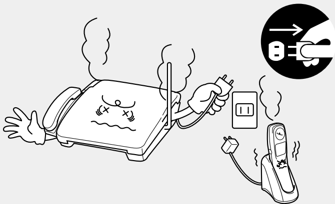
●本機の上に水、薬品などを置かないでください。



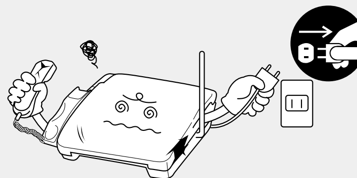
●充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。



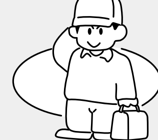
●煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードやAC アダプターをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



●本機を落としたり、破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

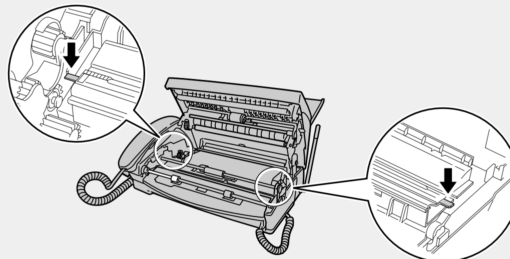


●異物が入ったときは、電源コードやバッテリーをはずして、販売店にご相談ください。



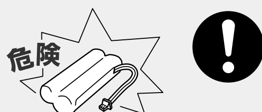
けがをするおそれがあります。

●さわらないでください。

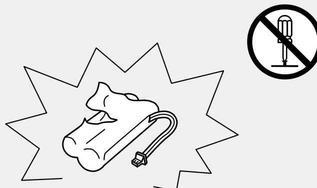


バッテリーについて

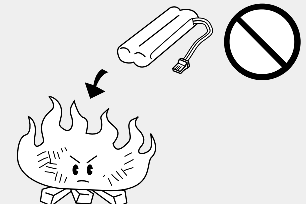
●液漏れしたときは、液が目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



●分解、改造をしないでください。
●バッテリー端子をショートさせないでください。
●コードの被覆や保護フィルムをはがしたり、傷をつけたりしないでください。



●バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。

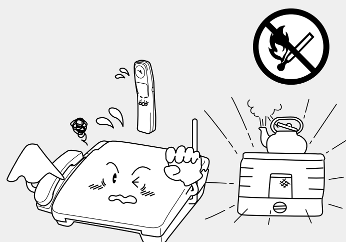


●バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
●温度の高いところでは充電しないでください。
●金属製品と一緒に保管しないでください。
●バッテリーの極性（＋／－）を間違えないように入れてください。
●電子レンジや高圧容器に入れないでください。

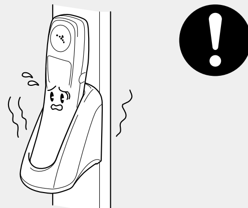


⚠注意

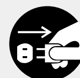
●火気を近づけないでください。故障や火災・感電の原因となります。



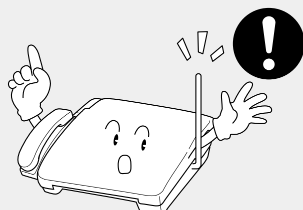
●子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、ケガの原因となることがあるので、確実に取り付け・設置してください。（☞15ページ）



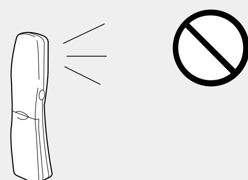
●長期間不在にするときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。



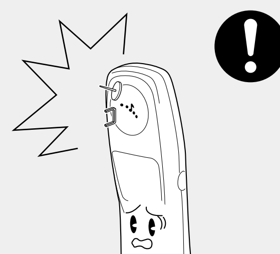
●本機を移動するときは、アンテナを短くたたんでください。誤ってアンテナが目にあたって、ケガや事故の原因となることがあります。



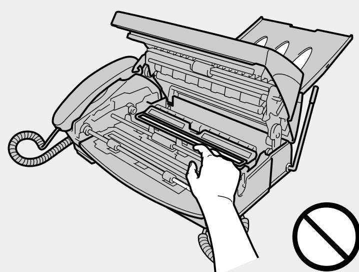
●待機中は子機のスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やケガ、難聴の原因となることがあります。



●子機のスピーカーには磁石が使われています。金属片などを吸いつける可能性がありますので、金属片（ステープラーの針、がびょう、針など）がついていたら取り除いてご使用ください。



●記録ヘッドは発熱している場合があります。手が直接記録ヘッドにさわらないようにしてください。
また、カバーを閉めるときに指などをはさまないように注意してください。



ハンドスキャナーについて

●ハンドスキャナーを落としたり、ぶつけたりしないでください。落下によりガラスが割れて、ケガの原因になることがあります。
●乳幼児の手がふれないところに置いてください。
●水の近くには置かないでください。
●読み取り面のガラスが汚れたり、ローラーの中にゴミが入り込むおそれがあるので、糸くずやゴミ、ホコリのあるような汚れた机や原稿の上では使用しないでください。





●落下、衝撃を与えないでください。
●動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
●本機の上に重いものを置かないでください。
●室内温度を急激に変えないでください。装置内部が結露するおそれがあります。
●指定以外の部品は使用しないでください。
●原稿排出の妨げになりますので、本体前方には物を置かないでください。
●海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないときがあります。
●NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店・営業所へご相談ください。（116 番）
●本機に貼られている注意ラベル類ははがさないでください。

■ 停電になったとき (☞ 112 ページ)



停電時のデータについて

消去されないデータ
電話帳（親機、子機)、各種登録・設定内容、着信記録（子機)、発信記録（子機）

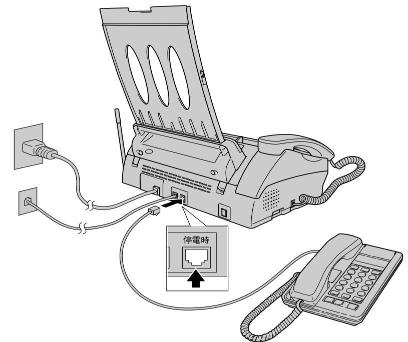
数時間以上たつと消去されるデータ※
着信記録（親機）、発信記録（親機）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、モーニングメロディ設定内容

停電後すぐ消去されるデータ
送信メモリー文書

半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定をしてください。
(☞ 17 ページ)
※ただし、停電前に連続 1 週間以上、電源が入った状態にしておく必要があります。



本機は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話（AC 電源を必要としない電話機）をご用意いただくことをおすすめします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機を使って電話をかけたり受けたりできます。



■ コピーについて

● 法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製はがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● 著作権のあるもの

- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

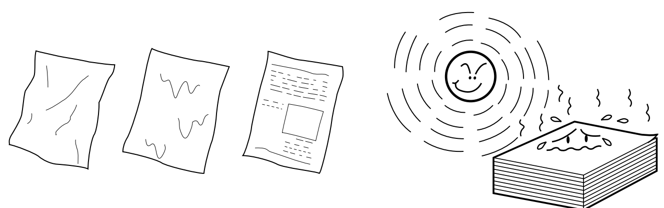
● その他注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手)、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

■ 記録紙について



●A4 サイズ以外の紙、しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
●記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。



第1章

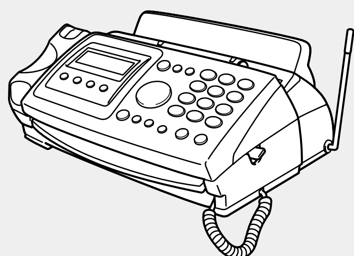


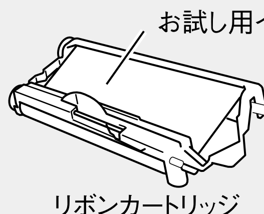
ご使用の前に

付属品を確認する

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。
万一不足しているものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口　0120-161170」にご連絡ください。

本体　1 台　（ハンドスキャナー・リボンカートリッジセット済）

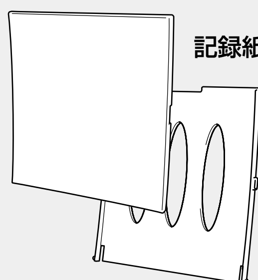




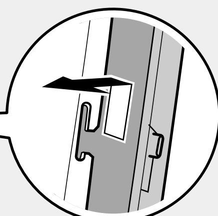
※本体の中にはA4サイズで約30枚分印刷可能な「お試し用インクリボン」を取り付けたリボンカートリッジがセットされています。

ダストカバー 1個

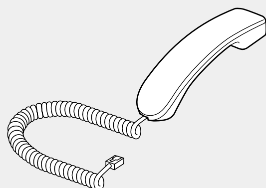
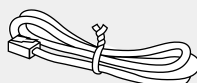
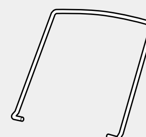
記録紙トレイ 1個

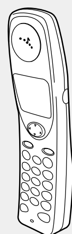
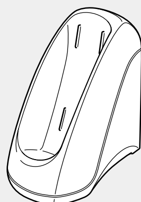
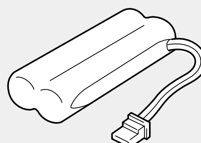
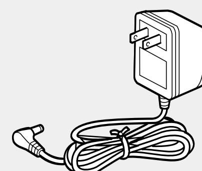


取り外しかた



※開封時は、組み合わされています。設置するときは、取り外してください。

受話器　1 台	電話機コード　1 本	原稿受け　1 個
		

子機　1 台	子機充電器　1 台	子機用バッテリー　1 個	子機用 AC アダプター　1 個
	 壁掛け用木ネジ　2 本 (☞15 ページ)		

子機用バッテリーカバー 1 個

※ FAX-1000VCLW には 2 台分の子機（および子機の付属品）が同梱されています。

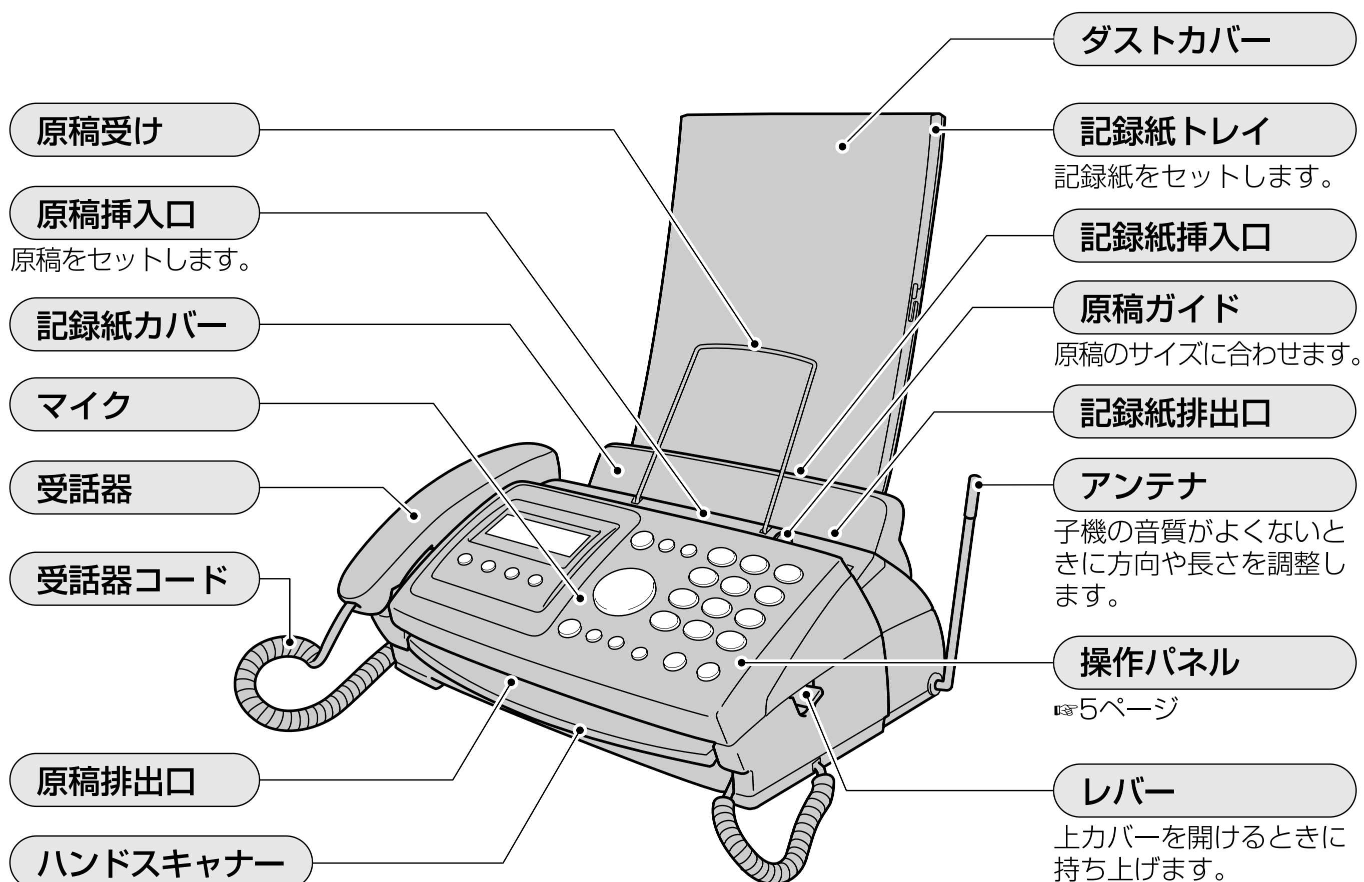
取扱説明書　1 部	設置ガイド　1 部
保証書　1 部	記録紙（A4）



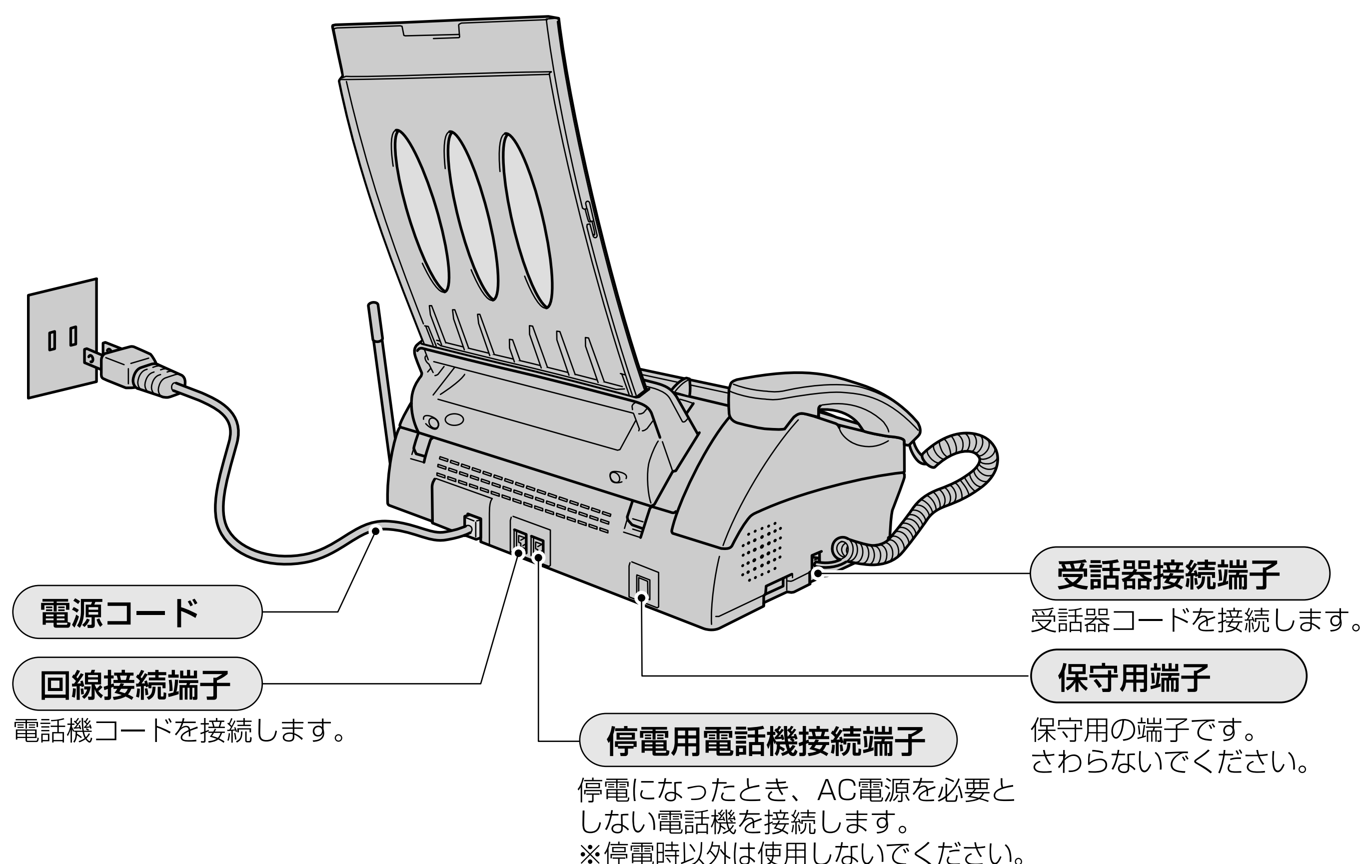
製品に付いている保護材や青いテープなどは、設置前にはがしてください。

各部の名称とはたらき（親機）

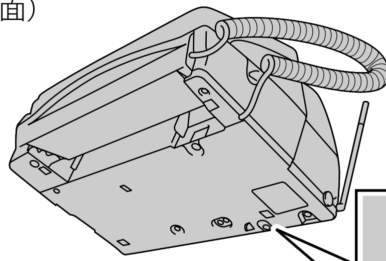
●正面図

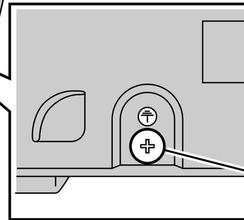


●背面図

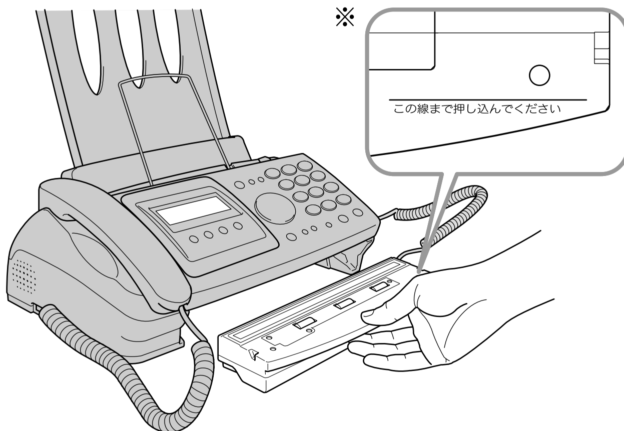


（裏面）





●ハンドスキャナーの取り付け、取り外し



厚みのある原稿などを読み取るときはハンドスキャナーを取り外して原稿を読み取ります。

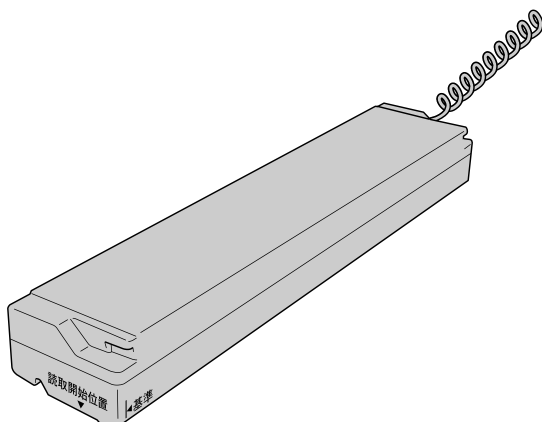
■ **取り外す**

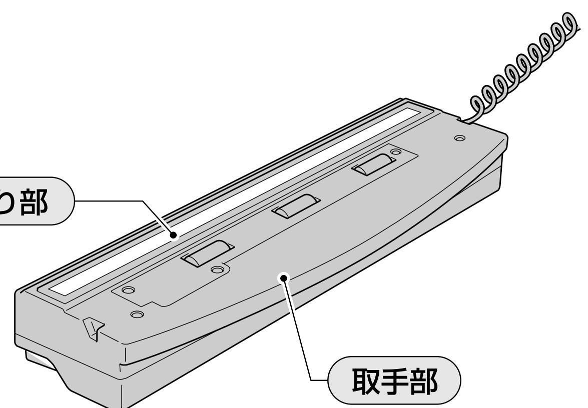
ハンドスキャナーの取手部を下に押し下げ、手前に引きます。

■ **取り付ける**

原稿読み取り部を上にしてハンドスキャナーの取手部を持ち、ハンドスキャナーを本体に押し込みます。
※目印の線まで確実に押し込んでください。

●ハンドスキャナー





●操作パネル



メモリー送信/英数・カナボタン

メモリー送信（☞61ページ）、一括送信（☞61ページ）をするときに押します。
または文字入力の際に　英数／カナの切り替えをするとき（☞24ページ）に押します。



機能／確定ボタン

機能を設定するとき、または設定内容を確定するときに押します。（☞7ページ）



画質ボタン

原稿に合わせて画質を調整するときに押します。（☞84ページ）



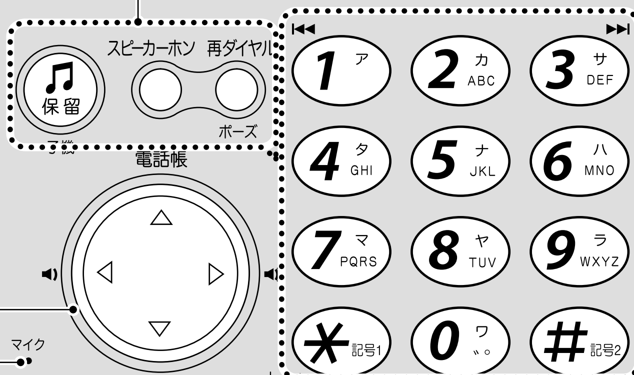
着信記録ボタン

着信記録を確認するときに押します。（☞76ページ）

ディスプレイ

操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。





リボン残量　通信結果

brother

メモリー送信　画質　着信記録　機能/確定

英数・カナ　FAX-1000CL

マイク

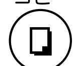
マルチセレクトボタン

ディスプレイの項目を選択します。
待ち受け画面で（▲▼）を押すと電話帳が表示されます。
また、（◀▶）を押すと着信音量の調整ができます。
（☞19ページ）



停止ボタン

操作を途中で中止するとき、または待ち受け画面に戻るときに押します。



コピーボタン

コピーするときに押します。（☞66ページ）



スタートボタン

送信／受信するときに押します。

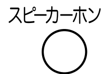
マイク

スピーカーホンで通話するとき、またはハンズフリーで電話を受けるときに使用します。（☞41ページ）



保留／子機ボタン

電話を保留にしたり、子機を呼び出すときに押します。
（☞44, 45ページ）



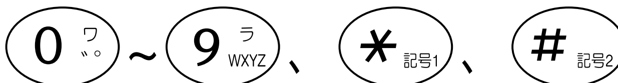
スピーカーホンボタン

受話器を持たずに通話するときに押します。
（☞29ページ）



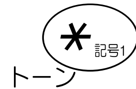
再ダイヤル／ポーズボタン

最後にかけた相手にかけ直したり、発信記録を表示するとき（☞29、30ページ）、ダイヤル番号入力時にポーズを入れるとき（☞24ページ）に押します。



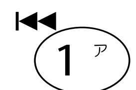
ダイヤルボタン

ダイヤルするときや文字を入力するときに使用します。



＊トーンボタン

一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。（☞ 82ページ）



戻しボタン

録音された前のメッセージを聞くとき（☞48ページ）に押します。



送りボタン

録音された次のメッセージを聞くときに押します。（☞48ページ）



留守ボタン

留守モードにするとき押します。
（☞47ページ）



再生／録音ボタン

メッセージを再生するとき（☞48ページ）、または通話を録音するとき（☞43ページ）に押します。



消去ボタン／キャッチボタン

メッセージ（☞48ページ）、着信記録（☞76ページ）、発信記録（☞30ページ）、または電話帳に登録された内容を消去するとき（☞33ページ）に押します。
また、キャッチホンを使うときに押します。（☞78ページ）



操作パネルについて
- 本取扱説明書中の操作パネルのイラストは FAX-1000CLのものを使用しています。
- FAX-1000CLとFAX-1000VCL/VCLWとの違いはモデル名と操作パネルの色のみです。

●ディスプレイ

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。通話をしていない状態では、次のように「待ち受け画面」が表示されています。表示の内容と意味は次の通りです。

■ 表示の見かた

〈ピクト（絵文字）〉

- リボンの残量が表示されます。（☞109ページ）
- 文字入力が可能なとき、または電話帳で検索するとき、英/字のどちらかが点灯します。（☞23, 29ページ）
- ハンドスキャナーを使用しているとき、または本体から外れているときに点灯します。
- モーニングメロディを設定しているときに点灯します。
- ファクス転送を設定しているとき、または留守モードでリモコン設定を「ﾌｧｸｽ: ON」に設定しているときに点灯します。また、このときメモリーにファクスメッセージを記憶していると点滅します。（☞51ページ）
- ファクス通信が正常に終了したときに点灯します。（次に何か操作を行うと消灯します。）
- ファクス通信が正常に終了しなかったときに点灯します。（次に何か操作を行うと消灯します。）

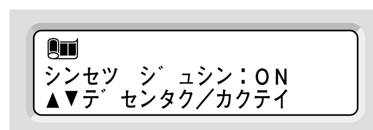
0 2年1 2月2 4日　1 5：3 7

（待ち受け画面）

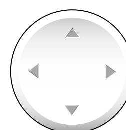
現在の日付と時刻が表示されます。

■ メッセージの見かた

現在設定されている機能、選択している内容、次の手順へ進む方法、選択の方法についてのメッセージを表示します。右下の例では、現在「親切受信が ON に設定されている」ことと、「設定を変更するには、◎ で選択し ○ で確定（決定）する」ことを示しています。



このように、メッセージに従って簡単に各種機能を設定・登録することができます。
設定・登録のときは、メッセージに従って ◎ を押して設定したい内容を表示させます。
設定したい内容が表示されたら、○ を押して設定内容を確定させます。
（または、0 〜 9 で、表示されている番号を押します。）





各部の名称とはたらき（子機）

●正面図

スピーカーと受話口
着信音や相手の声が聞こえます。

子機間通話ボタン
子機同士で通話するときに押します。（☞45ページ）

再ダイヤル/P/文字切替ボタン
最近かけた相手にもう一度ダイヤルしたり、ダイヤルするときにポーズを入れるとき、文字入力の種類を変えるときに押します。

外線	電話をかけるときに押します。
内線/クリア 保留	外線を保留にするとき、内線で通話するとき、文字を消すときに押します。
切	電話を切るときに押します。充電中は点灯しています。

トーンボタン
ダイヤル回線のとき一時的にプッシュホンサービスを利用するときに押します。

スピーカーホンボタン
子機を持たずに通話するときに押します。

マイク

保守用端子
保守用の端子です。さわらないでください。

ディスプレイ
操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。

マルチセレクトボタン
ディスプレイの項目を選択するとき、電話帳を表示するとき、文字入力でカーソルを動かしたり、音量を調整するときに使用します。

機能/確定ボタン
機能を設定するとき、設定内容を決定するときに押します。

ダイヤルボタン
ダイヤルするとき、文字を入力するときに押します。

キャッチボタン
キャッチホンを使うとき、着信記録を表示するときに押します。

●ディスプレイ



英 カナ	入力できる文字の種類が表示されます。 英：アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。 カナ：半角カタカナが入力できます。
要充電	バッテリー残量が少なくなると表示されます。



記録紙トレイと原稿受けを取り付ける

1 記録紙カバーを開ける

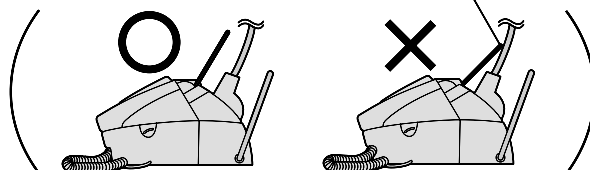
2 片方を先にセットする

3 内側に押しながらセットする

4 記録紙カバーを閉じる

5 記録紙トレイを起こす

6 外側にひろげて原稿挿入口にセットする





接続する

受話器コード、電話機コード、電源コードの順に接続します。電源コードをコンセントに接続すると続けて、回線種別の設定が行われます。（必ず、下記の手順にしたがって接続してください。接続の順番を間違えると、回線種別の設定が正しく行われないことがあります。）

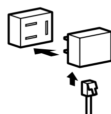
セットする
受話器コード
電話機コード（6極2芯）：付属品
回線　停電時
差し込む
(AC100V)

1. 受話器コードを接続する
2. 電話機コードを接続する
3. 電源コードを接続する

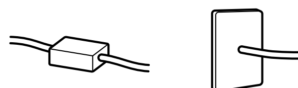
補足

電話コンセントがモジュラー式ではないとき

- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。



- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りのNTT窓口（116番）にお問い合わせください。

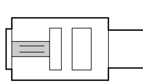




- 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2芯の電話機コードをお使いください。6極4芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

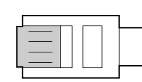


（接点2個）





（接点4個）



- ドアホンに接続する場合は100ページを、パソコンに接続する場合は99ページをお読みください。



回線種別をチェックする（自動）

電源コードをコンセントに接続すると、自動的に電話回線の種別をチェックし、設定します。

チェックしているとき


カイセン　チェック　チュウ



補足

- 「ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されたときは、電話機コードを接続し直してください。そのままにしていると回線の判断ができません。
- **構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。**
- **回線によっては自動で正しく判別できないときがあります。そのときは、手動で回線種別を設定してください。**（☞12ページ）

成功したとき

チェック終了


ＰＢ　カイセン　デ゛ス




０２年０１月０１日　００：００



補足

「回線種別」の設定が終了すると時計表示になります。

失敗したとき

チェック終了


カイセンシュベ゛ツガ゛
セッテイ　デ゛キマセンデ゛シタ



補足

自動的にチェックできなかったときに表示されます。手動で回線種別を設定してください。（☞12ページ）
「ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂｦｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」や「ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されている時も同様に手動で回線種別を設定してください。



補足

リボンカウンタについて

- 本機は出荷時に、約30枚分を印刷できる「お試し用インクリボン」があらかじめセットされています。

●手動で回線種別を設定する

電話回線に何らかの問題があり、自動で回線を種別できないことがあります。「ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂｶﾞ ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ」または「ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂｦｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」というメッセージが表示されたときは、次の手順で設定してください。

1

機能/確定　1ア　1ア

ｼｭﾍﾞﾂ:20 PPS
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［1.ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ］→［1.ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ］を押す

2

回線の種類を選ぶ

PB／10 PPS／20 PPS／ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ

3

機能/確定 **を押す**

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4

停止 **を押す**

終了

利用している電話回線の種別は次のようにして調べてください。もしもわからないときは、最寄りの NTT の支店、営業所または NTT 窓口（116：無料）にお問い合わせください。

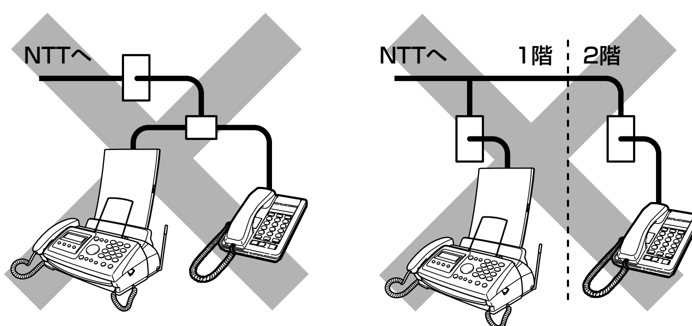
今までお使いの電話機が押しボタン式のとき 押しボタン式	ダイヤルしたときに**受話器から「ピッポッパ」**という音が聞こえる	プッシュ回線です。「PB」に設定してください。
	ダイヤルしたときに**受話器から「ピッポッパ」**という音が聞こえない	本機から「117」（時報）にかけて、かからなかったときは「10 PPS」に設定してください。
		本機から「117」（時報）にかけて、かかったときは「20 PPS」に設定してください。（そのままご使用ください。）
今までお使いの電話機が回転ダイヤル式のとき 回転ダイヤル式	本機から「117」（時報）にかけて、かからなかったときは「10 PPS」に設定してください。	
	本機から「117」（時報）にかけて、かかったときは「20 PPS」に設定してください。（初めは「20PPS」に設定されているので、そのままご使用いただくことができます。）	

●接続に関する制限事項を確かめる

■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。
- 並列電話機から親機や子機への転送はできません。
- ナンバーディスプレイ、キャッチホン、キャッチホンディスプレイ、ダイヤルインなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。

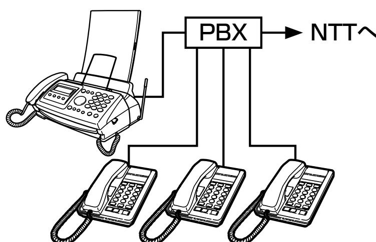


ブランチ接続（並列接続）とは
一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続する場合

構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどをお使いになる場合は、各製造メーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、接続する場所によっては「ナンバーディスプレイサービス」がご利用になれないので、「ナシ」に設定してください。（☞71 ページ）

例）構内交換機（PBX）の場合



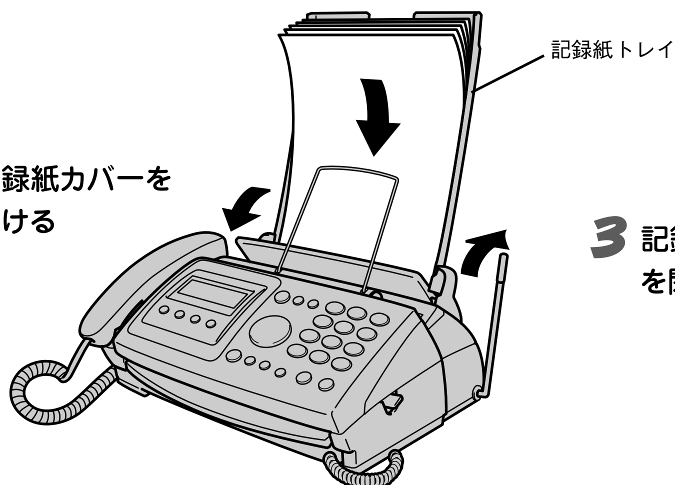
ビジネスホンとは
電話回線を 2 本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

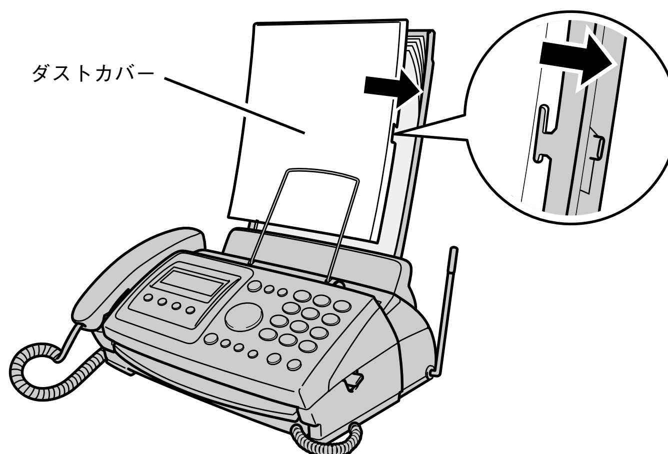
ホームテレホンとは
電話回線 1 本で複数の電話機を設置できて、内線通話なども可能な家庭用の簡易交換機です。



記録紙をセットする

記録紙トレイに記録紙をセットします。







補足

紙をほぐさずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。
紙づまりを防止するため、印刷された用紙をためないよう取り除いてください。



記録紙について

用紙の厚さとサイズが適当な、市販されている普通紙、またはコピー用紙を使ってください。

用紙のサイズと紙厚

- 用紙サイズ
  A4サイズ（210×297 mm）
- 重量
  64g/m^2（55kg紙）または81.4g/m^2（70kg紙）

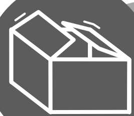
用紙の厚さによってセットできる枚数が異なります。64g/m^{2}の用紙であれば約50枚、81.4g/m^{2}の用紙であれば約30枚セットできます。
※この取扱説明書に使用されている用紙は64g/m^2（55kg紙）です。

使用できない紙

次のような用紙をセットしないでください。用紙がつまったり、故障の原因になります。

- そり、折れ、しわのある用紙
- 穴、破れのある用紙
- 薄くてやわらかい用紙
- つるつるすべる用紙
- 感熱紙、アート紙のように表面が加工された用紙
- 新聞広告
- すでに印刷されている用紙（裏紙）

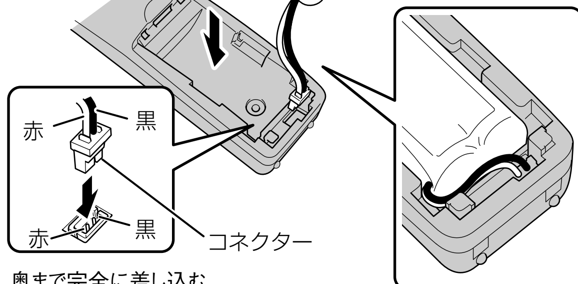
子機を準備する



バッテリーをセットする



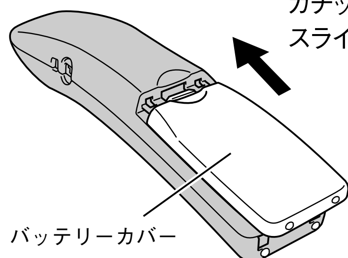
● バッテリーを覆っている保護フィルムをはがさないでください。



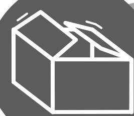
❶ 上図の向きにコネクターを差し込む

❷ バッテリーをセットする

❸ バッテリーコードを押し込みながら、カバーを閉める



※バッテリーのコードをはさまないように注意する。

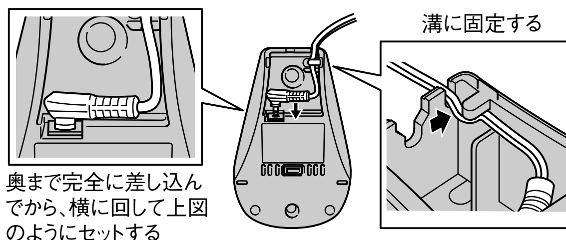


充電する

はじめてお使いいただくときは、必ず**15時間以上**充電してください。

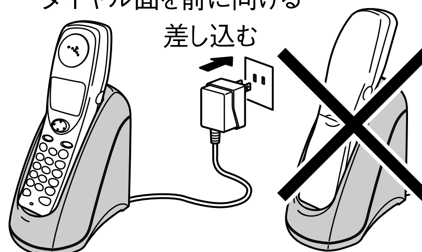


ACアダプターの電源プラグを充電器に差し込む





ACアダプターをコンセントに差し込み、子機をセットする



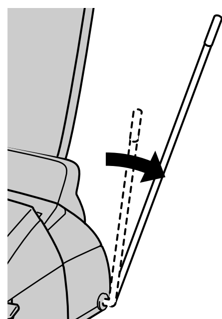


● 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」と表示され、(切)が点灯します。バッテリーの容量が少なくなっているときは、充電器にセットしても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」と表示されなかったり、(切)が点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。
● いっぱいまで充電されても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」の表示や(切)の点灯は消えませんが、そのまま充電を続けても問題はありません。
● 充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。（☞105ページ）



● 子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったときは交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。バッテリーはお買い上げの販売店または消耗品オーダーシート（☞130ページ）でお求めください。
● 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

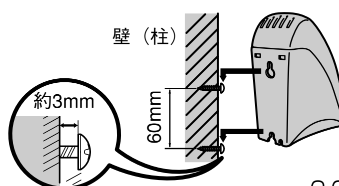
●親機のアンテナをのばす



親機のアンテナをいっぱいまでのばします。

● 建物の構造によって子機を使うと雑音が入ることがあります。そのときは通話しながら親機のアンテナの角度を調整してください。
● 電波が極端に弱くなる場所では、子機のご使用を避けてください。

●壁にかけて使用する



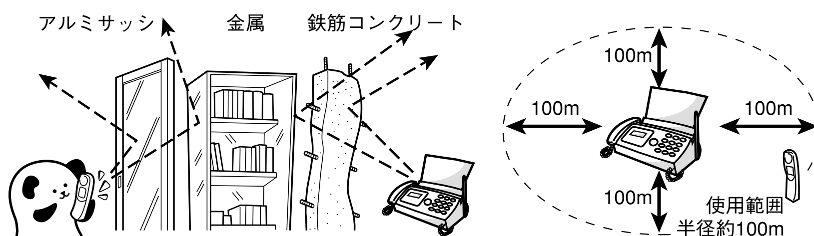
付属の壁かけ用木ねじ（2本）を壁か柱に取り付けて充電器をセットしてください。

60mm

● 子機の設置、使用範囲を確かめる

設置について

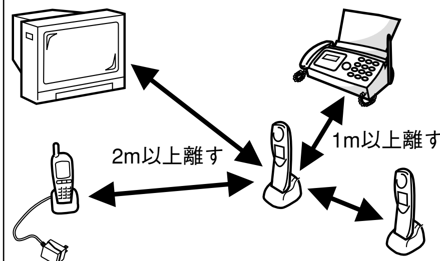
●親機から障害物のない直線距離で約 100m 以内のところでお使いください。　マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。
※親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。



●本機に他社の子機を増設することはできません。

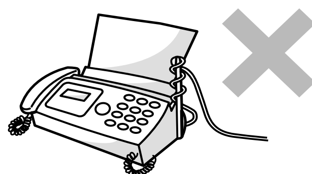
子機が正常に動作しないことがあります

●親機、子機を電気製品（テレビ、電子レンジ、ドアホン、携帯電話や PHS の充電器や A C アダプター、OA 機器など）から 2m 以上離して設置してください。
●子機は親機や他の子機から 1m 以上離して設置してください。

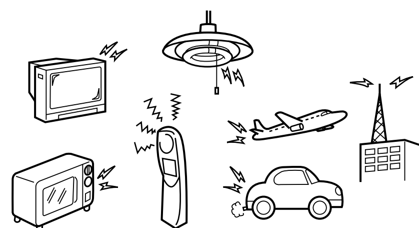


通話が途切れたり、雑音が入る場合について

●電源コード、電話機コード、充電器の AC アダプターコードを、アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりしているときは、子機の呼出音が鳴らなかったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。



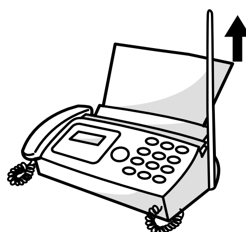
●以下のような場合は雑音が入ることがあります。
・電気製品（テレビ、OA 機器、電子レンジ、ドアホン、携帯電話や PHS の充電器や A C アダプターなど）の近くに設置しているとき
・放送局、高圧線などが近くにあるとき
・自動車、オートバイ、飛行機が近くを通ったとき
・蛍光灯のスイッチを「入」「切」したとき
・子機の AC アダプターと携帯電話や PHS の AC アダプターを同じコンセントに接続しているとき



●移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。

●ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、雑音が入ることがあります。一時的に親機をご使用ください。

●親機のアンテナを完全に伸ばしてください。アンテナが伸びていないと電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。



●受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。



故障ではありません

●電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の呼出音が鳴り、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

“傍受”にご注意ください

●この製品には、盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。
コードレス子機を使っての通話は電波を使っているので、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

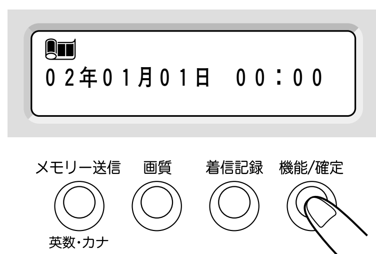
“傍受”とは
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

初期設定をする

●現在の日付と時刻を設定する

日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したとき送り先の記録紙に送信日時が印刷されます。また着信記録、発信記録もこの設定日時に基づいて表示されるので必ず設定してください。

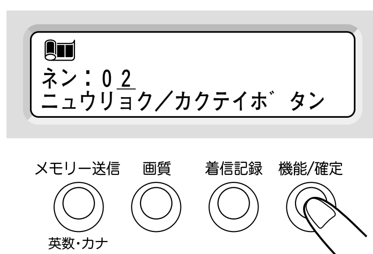
1 機能/確定 を押す



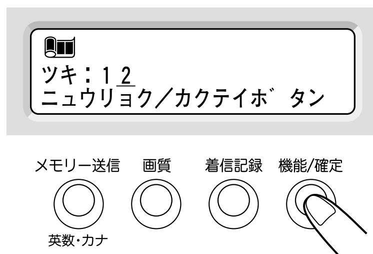
2 1 (ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ) を押す

3 2 (ﾄｹｲ ｾｯﾄ) を押す

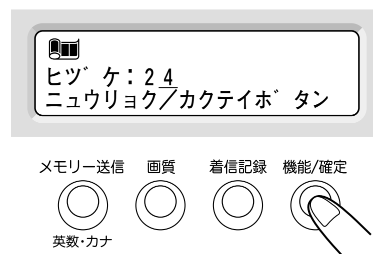
4 0 ～ 9 で西暦の下２桁を入力し、機能/確定 を押す



5 0 ～ 9 で月を２桁で入力し、機能/確定 を押す

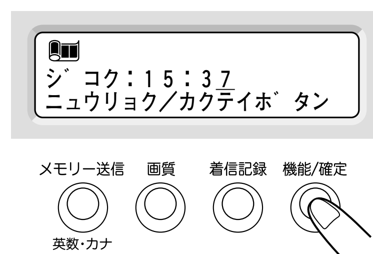


6 0 ～ 9 で日を２桁で入力し、機能/確定 を押す



7 0 ～ 9 で時刻を24時間制(4桁)で入力し、機能/確定 を押す

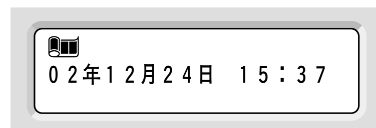
➡「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」とメッセージが表示されます。



8 停止 を押す

➡画面に登録した日付と時刻が表示されます。

（例）



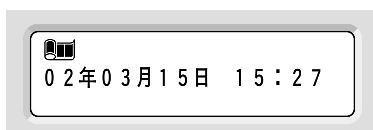


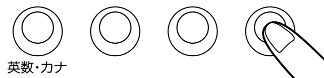
● 数字を入れ間違えたときは、カーソルキー で間違えた箇所まで＿（カーソール）を移動し、入力し直してください。

●名前とファクス番号を登録する

発信元となるファクス番号のほか電話番号、名前を登録します。ファクスを送信したときに相手の記録紙に登録した内容が印刷されます。ファクス番号は必ず登録してください。

1 機能/確定 を押す

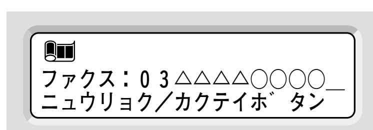


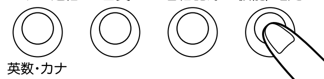


2 1（ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ）を押す

3 3（ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ）を押す

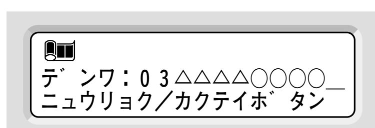
4 0～9でファクス番号を入力し、機能/確定を押す

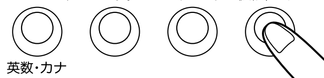




5 0～9で電話番号を入力し、機能/確定を押す

➡ファクス番号と同じ場合、再度同じ番号を入力してください。

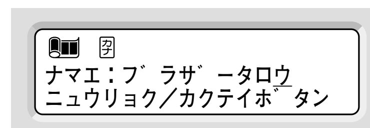


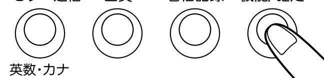


6 0～9、＊、＃で名前を入力し、機能/確定を押す

➡「文字の入れかた」（☞23 ページ）

➡「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」とメッセージが表示されます。





7 停止 を押す



- ファクス番号･電話番号は 20 桁まで登録できます。
- ファクス番号・電話番号の中に「−」ハイフンや「()」カッコ、「＊」の入力はできません。
- 名前は 20 文字まで登録できます。
- 数字、文字を入れ間違えたときは、◎で間違えた箇所まで＿（カーソル）を移動し、入力し直すか、削除したい文字に＿（カーソル）を合わせて 消去/キャッチ を押して文字を削除し、入力し直してください。

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

●音量を設定する

キー確認音、着信音量、スピーカー音量、受話音量を調整します。

キー確認音

ダイヤルボタンを押したときの音量を調整します。

親機

1 機能/確定　1 ア　4 タ GHI

オンリョウ:ショウ
▲▼デ センタク/カクテイ

［機能/確定］→［1.ショキ トウロク］→［4.キータッチ オンリョウ］を押す

2 機能/確定

キー確認音を設定し、［機能/確定］を押す

OFF／ショウ／ダイ

3 停止 を押す

終了

子機

1 機能/確定 を押す

[メニュー]▼▲
■デンワチョウトウロク
デンワチョウヘンコウ

2 機能/確定

「キーカクニンオン」を選び、［機能/確定］を押す

キーカクニンオン？▼▲
■ON
OFF

3 機能/確定

キー確認音を設定し［機能/確定］を押す

ON／OFF

終了

着信音量

着信時のベルやメロディの音量を調整します。

● 通話中でないときに設定できます。

● 充電器に置いているとき、または(外線)が消灯しているときに設定できます。

親機

1 ［音量］を押す

ショウ■■　ダイ

2 音量を調整する

● 音量はOFFと4段階の調整ができます。
● 2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

終了

子機

1 音量

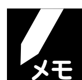
［音量］を押す

〈オンリョウ〉
ショウ■■　ダイ

2 音量を調整する

● 音量はOFFと4段階の調整ができます。
● 2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

終了



● 調整後約2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。
● 着信音量を「OFF」に設定していても、次の音は最小音量で鳴ります。
・本機が自動着信した後、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」というベル音（親機のみ）
・電話予約時の呼出音（親機のみ）
・内線や取り次ぎの呼出音

スピーカー音量

スピーカーホンで通話するときの音量や留守録モニターの音量を調整します。

- （スピーカーホン）を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。
- を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。

親機

1 ［スピーカーホン］→［音量］を押す



ショウ■■　ダ゛イ

- 音量はOFFと4段階の調整ができます。

2 音量を調整する



終了

- 2秒間操作しないと「ツウワチュウ」になります。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。通話中の場合は、通話が切れます。

子機

1 ［スピーカーホン］→［音量］を押す



〈オンリョウ〉
ショウ■■■　ダ゛イ

- 音量は4段階の調整ができます。

2 音量を調整する



終了

- 2秒間操作しないと「ツウワチュウ」になります。
- 切を押すと待ち受け画面に戻ります。通話中の場合は、通話が切れます。

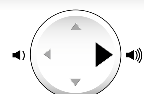
受話音量

受話器や子機をもって通話するときの音量を調整します。

- 受話器で通話中のときに設定できます。
- 通話中に設定できます。

親機

1 通話中に［音量］を押す



ショウ■■■■　ダ゛イ

2 音量を調整する



終了

- 音量は3段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。

子機

1 通話中に［音量］を押す



〈オンリョウ〉
ショウ■■■　ダ゛イ

2 音量を調整する



終了

- 音量は4段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。



- 子機のスピーカー音量、受話音量は聞きとりやすいように大きめに設定してあります。特に 3 段階目、4 段階目に設定すると、キーンという音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を 2 段階目または 1 段階目に設定してご使用ください。
- 相手先との回線状況によっては音量は変化します。その場合は必要に応じて音量を調整してください。

受信のしかた

電話／ファクスを受信するときは、「留守モード」と「在宅モード」と大きく2つの種類があります。どちらのモードも着信してから本機が応答するまでに鳴る着信音の回数を変えると少し違った受信のしかたができます。目的に応じて使い分けてください。（「着信回数の設定」☞89ページ）
お買い上げ時は「在宅モード」、着信回数8回に設定されています。

留守にするとき

が点灯している状態です。（留守番機能を利用する☞47ページ）

自動でうける（着信回数:0〜7）



着信する

設定した回数の着信音が鳴る



- お買い上げ時の留守モードの着信回数は2回に設定されています。

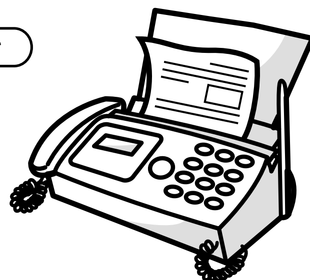
相手がファクスのとき

自動的に受信します。



補足

相手がファクスを自動送信してきた場合、ファクスを自動受信できないことがあります。この場合は、着信回数を2回以下に設定してください。



相手が電話のとき

留守応答します。



メモ

着信回数とトールセーバー

留守モードでは着信回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます（☞89ページ）。トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

〈外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）〉

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

メッセージがあるとき………着信2回
メッセージがないとき………着信5回

➡ 着信音が3回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、リモコンアクセス（☞49ページ）によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。



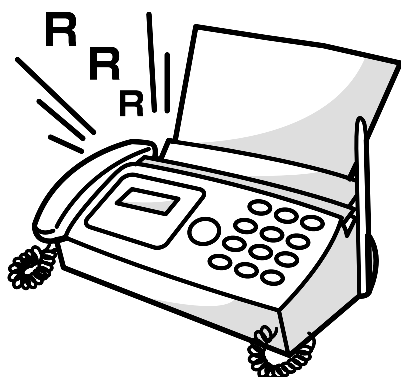


家にいるとき

(留守)が 消灯している状態です。

電話もファクスも適度に使う

(着信回数:1〜15)

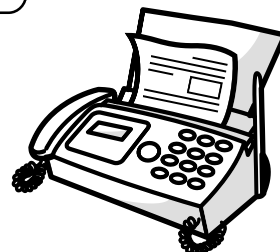


設定した回数の
着信音が鳴る

- お買い上げ時の在宅モードの着信回数は8回に設定されています。

相手がファクスのとき

自動的に受信します。



補足

相手がファクスを自動送信してきた場合、ファクスを自動受信できないことがあります。この場合は、着信回数を6回以下に設定してください。

相手が電話のとき

着信音が一定時間鳴ります。
- この着信音はメロディに設定しているときでも「トゥルッ、トゥルッ」というベル音で鳴ります。

※ここから相手に料金がかかります。



ファクスのときは着信音を鳴らさず受信する

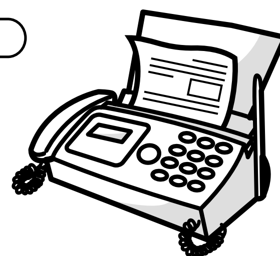
(着信回数:0)



着信回数を
0回に設定する

相手がファクスのとき

自動的に受信します。



相手が電話のとき

着信音が一定時間鳴ります。
- この着信音はメロディに設定しているときでも「トゥルッ、トゥルッ」というベル音で鳴ります

※ここから相手に料金がかかります。



補足

電話にでないときは相手に「ただ今近くにおりません。後ほどおかけ直しください」というメッセージを流して回線が切れます。

主に電話として使う

(着信回数:ﾑｾｲｹﾞﾝ)



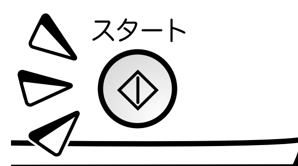
着信音が
鳴りつづける



電話に出る

相手がファクスのとき

(スタート)を押して受信します。



相手が電話のとき

引き続き話します。

文字の入れかた（親機）

発信元登録、電話帳の登録、各種コメントでは、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。
親機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

● 入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字 （文字列一覧表）

ボタン	カタカナ	英・数字
1 ア	アイウエオァィゥェォ	1
2 カ ABC	カキクケコ	ABC 2
3 サ DEF	サシスセソ	DEF 3
4 タ GHI	タチツテトッ	GHI 4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKL 5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNO 6
7 マ PQRS	マミムメモ	PQRS 7
8 ヤ TUV	ヤユヨャュョ	TUV 8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZ 9
0 ワ	ワヲン゛゜、。ー	0
✱ 記号1	−／.（スペース）！"＃ ＄ ％&'（）＊＋,	
＃ 記号2	_ : @ ; < = > ? [ ] ^	

■ 入力できる文字の種類や文字数

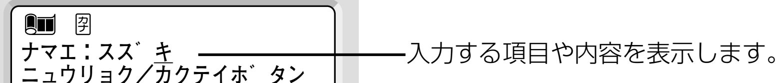
項目	半角 カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・FAX 番号	×	○（＊1）	20 文字
名前	○	○	16文字（＊2）

＊１：電話番号入力時は、０～９、＊、#、ポーズ（約３秒の待ち時間）のみ入力できます。
　　ポーズは ○（再ダイヤル／ポーズ） で入力します。入力したポーズはディスプレイに「-」（ハイフン）で表示されます。

＊２：発信元登録のみ、名前は 20 文字まで入力できます。

●入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。

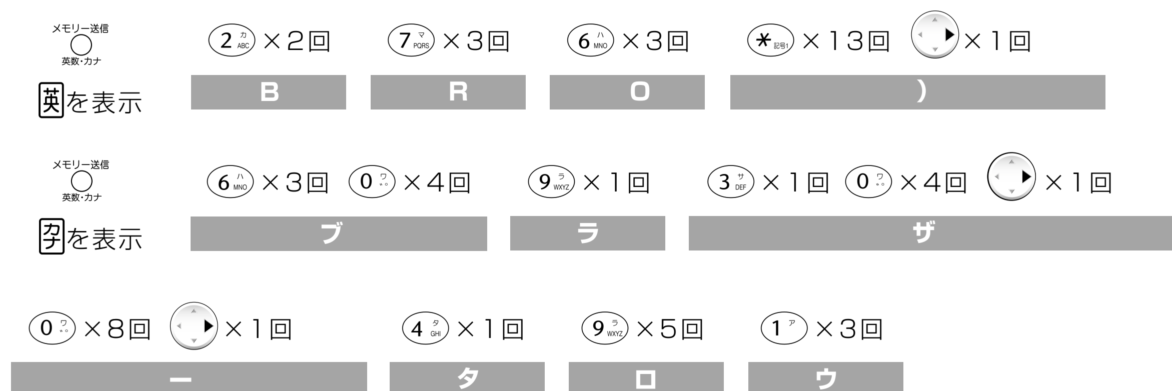


入力する項目や内容を表示します。

0 〜 9	カタカナ、アルファベット、数字を入力します。
＊、＃	記号を入力します。
メモリー送信／英数・カナ	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびにカナ（半角カタカナ）、英数（アルファベット・数字）が切り替わります。
再ダイヤル／ポーズ	電話番号入力時に、ポーズ（約３秒の待ち時間）を入力します。
消去／キャッチ	選択している文字を削除します。（選択位置より右に文字がないときは、1つ手前の文字を削除します。）
機能/確定	入力を登録して設定画面に戻ります。

●入力例

■ 入力例　1　：　電話帳の名前に『BRO) ブラザータロウ』と入力する。



■ 入力例　2

● 文字を修正する	◯（◀）を押して（カーソル）を戻し、文字を削除して入力し直す
● 文字の種類を切り換える	メモリー送信／英数・カナ を押す（カナ→英数→カナ…）
● スペースを入れる	＊ を４回押す、または ◯（▶）を押して＿(カーソル)を右に移動させる
● 記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊ または ＃）を押して記号を選ぶ
● 同じボタンで続けて文字を入力する	◯（▶）を押して、＿（カーソル）を１文字分移動させて入力する
● 文字を削除する	◯（◀）を押して消去したい文字まで＿（カーソル）を移動し、消去／キャッチ を押す

文字の入れかた（子機）

電話帳の登録など、ダイヤルボタンを使って入力します。
子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

●入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字　（文字列一覧表）

ボタン	カタカナ	英・数字
ア1	アイウエオァィゥェォ	@.（ピリオド） 1
ABC カ2	カキクケコ	abcABC 2
DEF サ3	サシスセソ	defDEF 3
GHI タ4	タチツテトッ	ghiGHI 4
JKL ナ5	ナニヌネノ	jklJKL 5
MNO ハ6	ハヒフヘホ	mnoMNO 6
PQRS マ7	マミムメモ	pqrsPQRS 7
TUV ヤ8	ヤユヨャュョ	tuvTUV 8
WXYZ ラ9	ラリルレロ	wxyzWXYZ 9
ワ0	ワヲン゛゜、。ー	0
記号1 ＊	−／.（スペース）！"＃＄％&'（）＊＋,	
記号2 ＃	_：@；<=>？[]^	

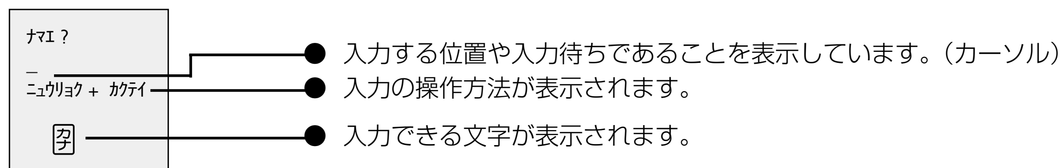
■ 入力できる文字の種類や文字数

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○（＊1）	20文字
	名前	○	○	16文字

＊1： 0〜9、＊、#、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは 再ダイヤル/P/文字切替 で入力します。入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「_」（アンダーバー）で表示され、外線に発信するときは「−」（ハイフン）で表示されます。

●入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。



例）再ダイヤル/P/文字切替：入力できる文字の種類を切り換えます。（英→カナ→英…）

電話番号入力時は、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入力します。

電話帳：（◀ ▶）で＿（カーソル）位置を移動させます。

内線/クリア 保留：選択位置の文字を削除します。
（選択位置より右に文字がないときはバックスペース）

機能/確定：入力した文字を確定させます。

●入力例

■ 入力例　1　：　電話帳の名前に『Bro）ブラザータロウ』と入力する。



■ 入力例　2

● 文字を修正する	（◀）で戻って入力し直す
● 文字を削除する	削除したい文字に＿（カーソル）を合わせて、内線/クリア 保留 を押す
● 文字の種類を切り換える	再ダイヤル/P/文字切替 を押す（英→カナ→英…）
● スペースを入れる	スペースが入るまで 記号1✱ を押す、または （▶）を押す
● 記号を入力する	入力したい記号ボタン（記号1✱ または 記号2#）を押して記号を選ぶ
● 同じボタンで続けて文字を入力する	（▶）を押し、＿（カーソル）を 1 文字分移動させて入力する

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

第2章

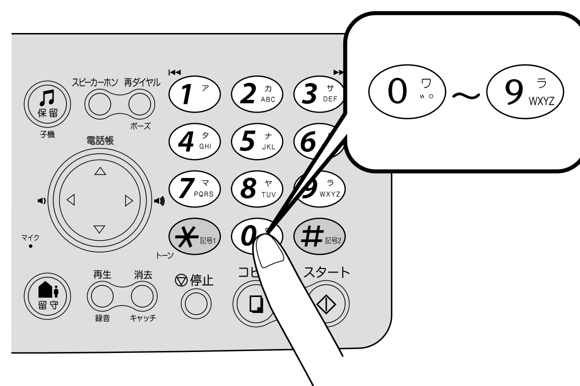


電　話



ダイヤルボタンでかける

受話器をとり、(0)～(9)で相手の電話番号を押す





補足

通話が終わったら受話器を戻します。



受話器をとって電話を受ける

電話が鳴ったら



受話器をとって受ける





補足

通話が終わったら受話器を戻します。



ダイヤルボタンでかける

充電器から子機をとり、0 ～ 9 で相手の電話番号を押す



補足

- 外線が点灯していなくても、相手の電話番号を先に押し、外線を押して電話をかけることができます。
- 通話が終わったら子機を充電器に戻します。（または切を押します。）



子機をとって電話を受ける

充電器から子機をとる
➡ 充電器に置いてないときは外線を押します



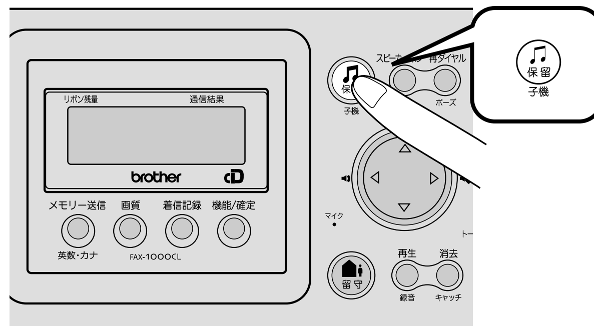
補足

通話が終わったら子機を充電器に戻します
（または切を押します。）



保留にするとき

通話中に保留を押し、受話器を置く
（子機の場合は、内線/クリア 保留 を押す）





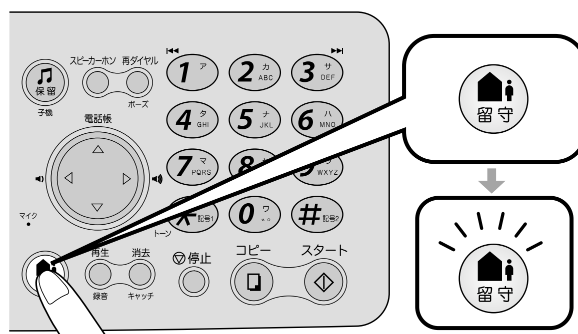
補足

- 通話に戻るときは、受話器をとります。（子機の場合は、内線/クリア 保留（保留）を押します。）
- 保留にした後、受話器を置かなかったときはもう一度保留（保留）を押すと通話に戻ることができます。



留守にするとき

留守を押す ➡ ボタンが点灯します



補足

- 詳しくは「留守番機能を利用する」（☞47ページ）を参照してください。

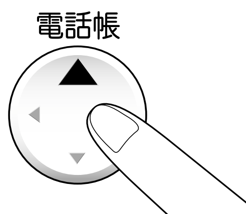


名前で検索してかける

親機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。
（「電話帳に登録する」☞33ページ）

1 受話器をとり、「電話帳」を押す

電話帳



2 ◎で相手の名前を検索する

▲▼デ゛センタク
スタートヲ　オシテクダサイ

補足

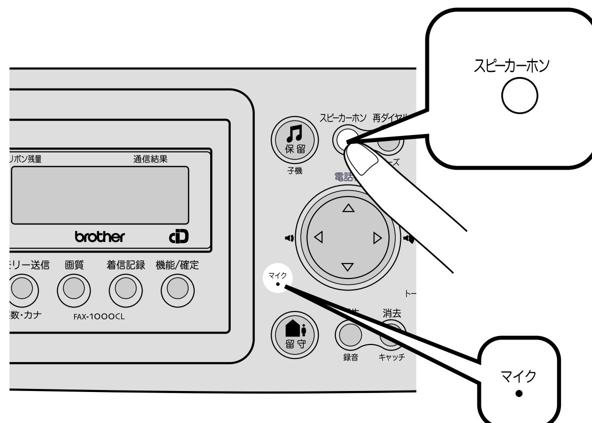
- 名前は登録した名前で検索されます。
- ダイヤルボタンを押すと、相手の名前の最初の1文字を含む行を画面に表示させることができます。
  例）　「ｼﾐｽﾞ」を検索したいときは、③を押します
  ➡「サ行」の先頭となる相手先が画面に表示されます。
- 名前の頭文字を入力しないときは、「カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない電話番号」の順に表示されます。

3 スタート◎を押す



受話器をとらずにかける

スピーカーホン○を押し、相手の電話番号を押す



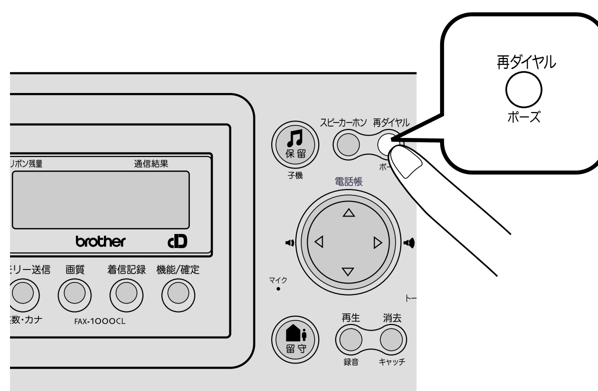
補足

- 相手が出たら、マイクを使って話します。
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとって話してください。
- 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは、もう一度○（スピーカーホン）を押します。
- 通話が終わったら、もう一度○（スピーカーホン）を押します。



最後にかけた相手にかける

受話器をとり、再ダイヤル/ポーズ○を押す



補足

通話が終わったら受話器を戻します。



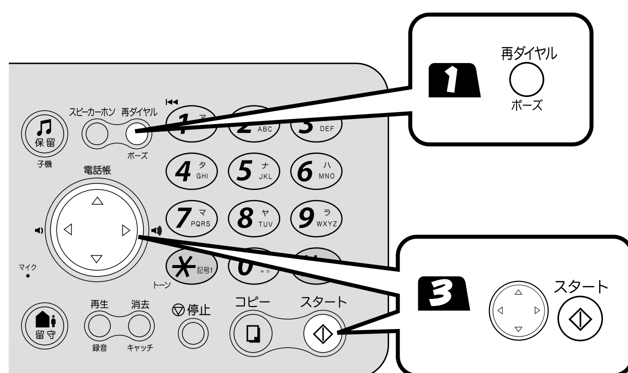
最近かけた相手にかける

1 受話器を置いたまま 再ダイヤル／ポーズ を押す
➡最近かけた相手先が表示されます

補足
記憶している電話番号は最新の10件です。
（親機、子機ごとにそれぞれ最新の10件を記憶しています。）

2 受話器をとる

3 （▲▼）で電話をかけたい相手先を選んで スタート を押す。



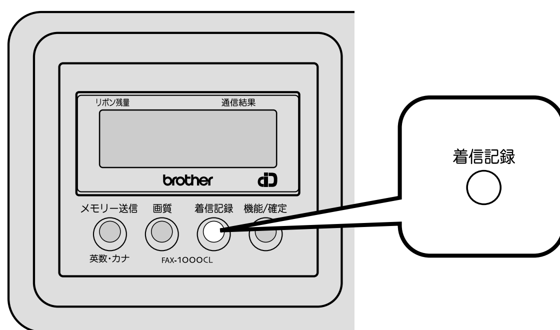
補足
発信記録を削除するときは、発信記録を表示しているときに、（▲▼）相手先を選んで 消去／キャッチ を押します。



最近かかってきた相手にかける

ナンバーディスプレイサービスを契約いただいているときは、本機に記憶された着信記録から電話をかけることができます。

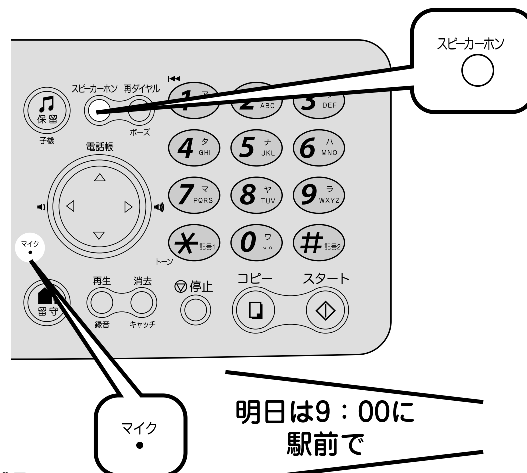
着信記録を利用する ☞76ページ





受話器をとらずに受ける

スピーカーホン を押し、本体のマイクを使って話す



補足
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとって話してください。
- 通話が終わったら スピーカーホン（スピーカーホン）を押します。



「はーい」と返事するだけで受ける

ハンズフリー着信を設定しているときは、「はーい」と返事をするだけで電話を受けることができます。

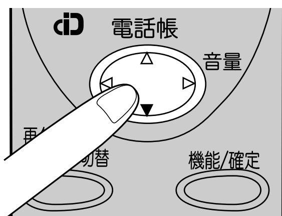
ハンズフリー着信 ☞41ページ



名前で検索してかける

子機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。名前の頭文字で検索することもできます。
（「電話帳に登録する」☞37ページ）

1 （▼）を押す



補足
- 登録した電話帳のリストが表示されます。

2 （▲▼）で相手の名前を検索し、（外線）を押す



補足
- 登録した番号が1つしかない場合は、（外線）を押すと電話がかかります。
- ダイヤルボタンで相手の名前（読み仮名）の最初の1字（かな）を入力し、（▲▼）を押すと入力した1字以降の電話番号のリストが表示されます。
  名前の頭文字を入力しないときは、「カナ→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない電話番号」の順に表示されます。

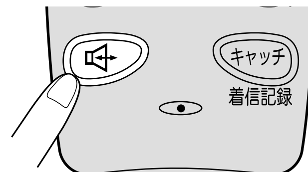
3 電話番号1または2のどちらかの番号を（▲▼）で選び、（外線）を押す



補足
電話番号は1件につき2番号まで登録することができます。（☞37ページ）

子機を置いたままかける

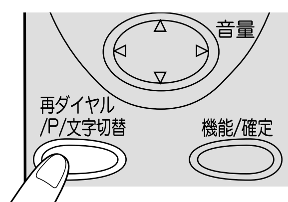
（スピーカー）を押し、（ワ0）～（WXYZ ラ9）で相手の電話番号を押す



補足
- 相手が出たら、マイクを使って話します。
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは子機をとってお話ください。
- 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは（切）を押します。
- 通話が終わったら（切）を押します。

最後にかけた相手にかける

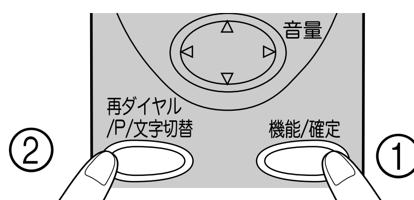
充電器から子機をとり、（再ダイヤル/P/文字切替）を押す
➡ （外線）が点灯していないときは、押して点灯させます



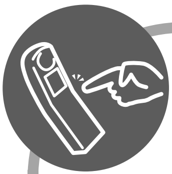
連続再ダイヤル

チケット予約のときなどに、連続して再ダイヤルします。

充電器から子機をとり、（機能/確定）と（再ダイヤル/P/文字切替）を順に押す
➡ （外線）が点灯していないときは、押して点灯させます



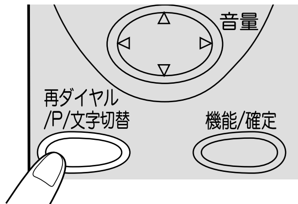
補足
相手が話し中のとき、4秒おきに15回まで繰り返しダイヤルします。



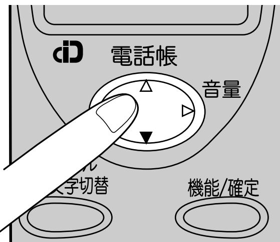
最近かけた相手にかける

最近かけた電話番号を呼び出してかけます。

1 **(外線)が消灯していることを確認し、(再ダイヤル/P/文字切替)を押す**



2 **(◁▷)で電話番号を選ぶ**



補足

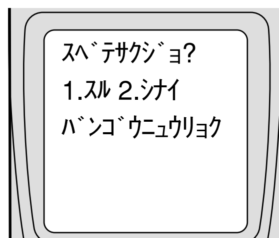
記憶している電話番号は最新の10件です。
（親機、子機ごとにそれぞれ最新の10件を記憶しています。）

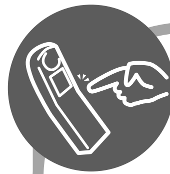
3 **(外線)を押す**



補足

- **発信記録を個別に削除するとき**
  削除したい発信記録を選び、(内線/クリア 保留)（クリア）を押します。
- **発信記録を全て削除するとき**
  (機能/確定)（機能/確定）を押し、(◁▷)（▼）で「ﾊｯｼﾝｷﾛｸｸﾘｱ」を選び、(機能/確定)（機能/確定）を押します。
  下の画面で(ア1)を押します。

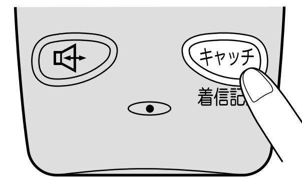




最近かかってきた相手にかける

ナンバーディスプレイサービスを契約いただいているときは、本機に記憶された着信記録から電話をかけることができます。

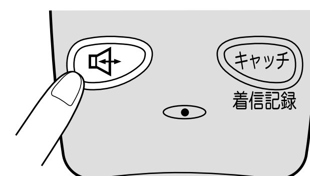
着信記録を利用する ☞77ページ





子機を置いたまま受ける

1 **充電器に置いたまま(スピーカー)を押す**



補足

- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとってお話ください。
- 通話が終わったら(切)を押します。

電話帳に登録する

よく電話をかけるお友達や緊急時の連絡先などを「電話帳」に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。さらに、ナンバーディスプレイサービスをご契約いただいている場合は、迷惑電話など受けたくない電話など相手先に応じた着信音の鳴り分けを設定できます。(☞72 ページ)

親機の電話帳

電話帳に名前や電話番号を登録します。

- 電話帳には100件まで登録できます。
- 登録できる文字数は下記のとおりです。
  - ·名前:16文字まで
  - ·電話番号:20桁まで(数字、*、#、-(ポーズ)のみ)
  - ※ただし、*、#は電話番号の途中に入れないでください。
- 電話帳にはあらかじめ下記の番号が登録されています。(この番号は修正、削除することができます。)
  - ·ダイレクトクラブFAX
- 電話帳の内容は子機へ転送することができます。(☞39ページ)
  (ただし、着信音の設定は転送されず、ベル音になりますので、転送後に設定し直してください。)
- 子機の電話帳登録 (☞37ページ)

登録する

1

機能/確定



5 ナ JKL　1 ア

[機能/確定] → [5.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ] → [1.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ] を押す

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
ﾉｺﾘ 97ｹﾝ

2秒後

ﾅﾏｴ:_
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｶｸﾃｲﾎﾞﾀﾝ

修正する

1

機能/確定



5 ナ JKL　2 カ ABC

[機能/確定] → [5.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ] → [2.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾍﾝｺｳ] を押す

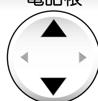
▲▼ ﾃﾞｾﾝﾀｸ
ｶｸﾃｲｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

削除する

1

電話帳



受話器をおいたまま、「電話帳」で削除したい電話帳データを選ぶ。

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。



- 構内交換機(PBX)で“0”発信の場合には、“0”の後に 再ダイヤル/ポーズ でポーズ(約3秒間の待ち時間)を入れてください。
- 国際電話の場合は、国番号の後にポーズ(約3秒の待ち時間)を入れてください。
  例)国番号＋再ダイヤル/ポーズ＋市外局番＋電話番号
  ※ポーズは「-」(ハイフン)で　表示されます。
- 操作を中止するには 停止 (停止)を押します。(登録中のデータは破棄されます)

ご使用の前に / 電話 / ファクス / コピー / オプションサービス / 活用する / こんなときには / 付録

2

ﾅﾏｴ:_
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｶｸﾃｲﾎﾞﾀﾝ

名前を入力する

- 文字の入れかた☞23ページ
- 16文字まで入力できます。

3

機能/確定

を押す

4

ﾃﾞﾝﾜ:0123_
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｶｸﾃｲﾎﾞﾀﾝ

電話番号を入力する

- 20桁まで入力できます。

5

機能/確定

を押す

終了

2

「登録する」の手順2へ

機能/確定

変更したい電話帳データを選び、[機能/確定]を押す

2

消去
キャッチ

を押す

- 確認メッセージが表示されます。

ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ?
1.ｼｮｳｷｮ 2.ﾁｭｳｼ

3

1 ア

を押す

- 電話帳データが削除され、「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

終了

グループダイヤル

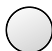
※親機のみの機能です。
電話帳から複数の登録内容を選択し、「グループダイヤル」として最大5つまで登録することができます。

- グループダイヤルは、一括送信(☞61ページ)をするときに使用します。
- グループダイヤルでは、相手先とグループ名称を登録します。
  - ･相手先は、電話帳から最大100箇所まで選択できます。
  - ･グループ名称は16文字まで登録できます。
- 操作を中止するには停止を押します。(登録中のデータは破棄されます。)

登録する

1

機能/確定



5 ナ JKL　4 タ GHI

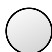
［機能/確定］→［5.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ］→［4.ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾄｳﾛｸ］を押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01

- これから登録するグループの番号が2秒間表示されます。

4

機能/確定



を押す

- 同じ相手先が重複して選択されている場合、自動的に1件分として登録されます。

5

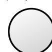
ﾅﾏｴ:ﾃﾆｽ ﾅｶﾏ
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｶｸﾃｲﾎﾞﾀﾝ

グループ名を入力する

- 文字の入れかた☞23ページ
- 16文字まで入力できます。

6

機能/確定



を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

登録内容・グループ名を変更する

1

機能/確定



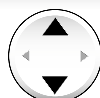
5 ナ JKL　5 ナ JKL

［機能/確定］→［5.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ］→［5.ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾍﾝｺｳ］を押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

登録内容を変更するとき

4

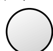


「ｼｮｳｷｮ?」または「ﾂｲｶ?」を選ぶ

- 相手先をグループから消去するときは「ｼｮｳｷｮ?」を選びます。
- 相手先をグループに追加するときは「ﾂｲｶ?」を選びます。

7

機能/確定

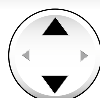


を押す

- 続けて変更するときは手順6～7をくり返します。
- 相手先を追加した直後に消去キャッチを押すと、直前の追加を取り消すことができます。

グループ名を変更するとき

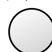
4



「ﾅﾏｴ ﾍﾝｺｳ?」を選ぶ

5

機能/確定

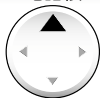


を押す

削除する

1

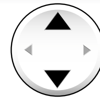
電話帳



を押す

▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2

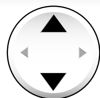


削除したいグループ名を選ぶ

▲▼デ゛センタク
カクテイヲ オシテクダ゛サイ

● 電話帳から相手先を選択する画面が表示されます。

2

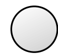


グループダイヤルに登録する相手先を選ぶ

● 100箇所まで選択できます。

3

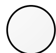
機能/確定

 **を押す**

● 登録したい相手先について、手順2〜3をくり返します。
● 消去（キャッチ）を押すと、直前に選択した相手先を取り消すことができます。
☞最後の相手先を選択したら手順4へ。

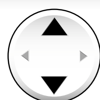
7

停止

 **を押す**

終了

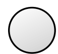
2



変更したいグループ番号を選ぶ

3

機能/確定

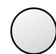
 **を押す**

ナマエ ヘンコウ?
▲▼デ゛センタク/カクテイ

● 変更内容を設定する画面が表示されます。

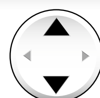
5

機能/確定

 **を押す**

▲▼デ゛センタク
カクテイヲ オシテクダ゛サイ

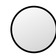
6



消去または追加したい相手先を選ぶ

8

機能/確定

 **を押す**

● 「ウケツケマシタ」と表示されます。

9

停止

 **を押す**

終了

ナマエ:テニス ナカマ
ニュウリョク/カクテイボ゛タン

● 現在登録されている名前が表示されます。

6

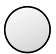
ナマエ:ミズ゛ホテニス
ニュウリョク/カクテイボ゛タン

新しい名前を入力する

● 文字の入れかた☞23ページ

7

機能/確定

 **を押す**

● 「ウケツケマシタ」と表示されます。

8

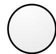
停止

 **を押す**

終了

3

消去

 **を押す**

キャッチ

ショウキョシマスカ?
1.ショウキョ 2.チュウシ

4

1 ア **を押す**

● 「ウケツケマシタ」と表示されます。

終了

子機の電話帳

電話帳に名前や電話番号を登録します。ナンバーディスプレイをご利用いただいている場合は、個別の着信音を指定することができます。

- 電話帳には100件まで登録できます。
- 電話番号は1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 登録できる文字数は下記のとおりです。
  - ・名前:16文字まで
  - ・電話番号:20桁まで（数字、*、#、-(ポーズ)のみ）
  - ※ただし、*、#は電話番号の途中に入れないでください。
- 電話帳の内容は親機へ転送することができます。

登録する

1



を押す

[メニュー]▼▲
█デンワチョウトウロク
デンワチョウヘンコウ

- ［電話帳登録］が選択されています。

2



を押す

6

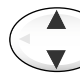


を押す

チャクシンオン？▼▲
█ベル
メロディ1

- 曲名は親機から読み込んだメロディ(☞87ページ）があるときのみ選択できます。

7





着信音を選び、［機能/確定］を押す

ベル／メロディ1～3／曲名

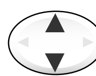
修正する

1



を押す

2





「デンワチョウ ヘンコウ」を選び、［機能/確定］を押す

ブラザーハナコ
052123XXXX

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

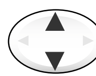
削除する

1



を押す

2





「デンワチョウ ヘンコウ」を選び、［機能/確定］を押す

ブラザーハナコ
052123XXXX

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。



- 構内交換機（PBX）で“0”発信の場合には、“0”の後にポーズ(約３秒の待ち時間）を入れてください。
- 国際電話の場合は、国番号の後にポーズ（約３秒の待ち時間）を入れてください。
  例）国番号＋再ダイヤル/P/文字切替＋市外局番＋電話番号
  ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「_」(アンダーバー）で表示され、外線に発信するときは「－」（ハイフン）で表示されます。
- 操作を中止するには（切）を押します。（登録中のデータは破棄されます。）
- メロディ１～３には、下記のメロディが登録されています。
  ・メロディ１（TSUNAMI）JASRAC、メロディ２（威風堂々)、メロディ３（主よ、人の望みの喜びよ）

ご使用の前に / 電話 / ファクス / コピー / オプションサービス / 活用する / こんなときには / 付録

3

ﾅﾏｴ?
ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾅｺ
ﾆｭｳﾘｮｸ+ｶｸﾃｲ
ｶﾅ

名前を入力する

- 文字の入れかた☞25ページ
- 16文字まで入力できます。

4

機能/確定 **を押す**

5

TEL1?
052123XXXX_
ﾆｭｳﾘｮｸ+ｶｸﾃｲ

TEL1を入力する

- 20桁まで入力できます。

- 電話番号入力画面で キャッチ 着信記録（着信記録）を押すと着信記録から電話番号を選択することができます。

- ナンバーディスプレイサービスを契約していないときは手順7の設定は無効になります。
- 着信音は音を聞きながら選択します。

8

手順5〜7と同様の手順でTEL2を入力する

9

機能/確定 **を押す**

終了

3

機能/確定

相手先を選び、［機能/確定］を押す

- ダイヤルボタンで名前の最初の一文字を入力すると、その文字から検索できます。

「登録する」の手順2へ

- 「登録する」と同様の手順で修正します。

3

内線/クリア 保留

相手先を選び、［クリア］を押す

- ダイヤルボタンで名前の最初の一文字を入力すると、その文字から検索できます。

ｻｸｼﾞｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ

4

ア1 **を押す**

- ダイヤルボタンで［1.スル］を選びます。

終了

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

電話帳転送

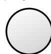
親機から子機、子機から親機へ電話帳データを転送して使用することができます。

● 途中で操作を中止するときは、◯(停止) を押してください。

親機から子機へ転送する

1

機能/確定



［機能/確定］→［5.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ］→［3.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾃﾝｿｳ］を押す

4

機能/確定



を押す

● 電話帳のデータが転送されます。

ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

● 転送後は「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示された後、手順3に戻ります。

5

停止



を押す

終了

● 続けて転送するときは、手順3から繰り返しします。

子機から親機へ転送する

1

親機が待ち受け画面になっていることを確認する

2

機能/確定



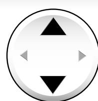
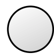
を押す

[ﾒﾆｭｰ]▼▲
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ



● 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
● 着信鳴り分けの設定は転送されず、ベル音になります。転送後、着信鳴り分けの設定をし直してください。(親機の着信鳴り分けの設定 ☞72 ページ、子機の電話帳「修正する」☞37 ページ)
● 子機で登録されている「TEL1」、「TEL2」については、どちらか 1 つの電話番号が(「TEL1」を優先して)親機の「TEL」として転送されます。着信音の設定は転送されず、ベル音になります。転送後、着信鳴り分けの設定をし直してください。(親機の着信鳴り分けの設定 ☞72 ページ)
● 子機の電話帳の残り件数が 0 のときにデータ転送しようとすると、「ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞｰﾀﾌﾙ / ﾂｳｼﾝｴﾗｰ」と表示されます。

2

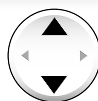



▲▼デ゛センタク
カクテイヲ　オシテクダ゛サイ

転送したい子機を選び、［機能/確定］を押す

● 子機が一台のときは、この手順はありません。

3



ブ゛ラザ゛ーハナコ
052xxxxxxxx

転送したい電話帳データを選ぶ

● 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

3




ブ゛ラザ゛ーハナコ
052123XXXX

「デ゛ンワチョウ テンソウ」を選び、［機能/確定］を押す

● 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

4




転送したい電話帳データを選び、［機能/確定］を押す

5

テンソウチュウ
〉〉

● 続けて転送するときは手順4を繰り返します。

終了

ハンズフリーで電話を受ける

電話がかかってきたときに「はーい」と返事をすると、受話器を取らなくても電話に出て、スピーカーホンで通話できます（ハンズフリー着信）。ハンズフリーで電話を受けるときはあらかじめ親機で受けるか子機で受けるか設定しておきます。
「ハンズフリー着信」の設定は、設定を解除するまで有効です。
（FAX-1000VCLW をお使いいただいている場合や子機を増設した場合は、子機にハンズフリー着信を設定することはできません。）



- **「ハンズフリー着信」を設定しているときの着信音は、着信音の設定にかかわらず、次のようになります。メロディを設定していても無効になりますのでご注意ください。**

ハンズフリーの設定	着信音	
	親機	子機
親機にハンズフリーを設定したとき	ベル 1	設定されている着信音
子機にハンズフリーを設定したとき	ベル 1	ベル

●ハンズフリーで電話を受ける

1 着信音が鳴ったらマイクに向かって「はーい」と言う

➡マイクの正面 1 メートル以内から声をかけます。

2 通話が終わったら スピーカーホン ○ を押す（子機のときは (切) を押す）



- 内線電話、留守モードのときはハンズフリーで電話を受けることはできません。
- 本機がいったん着信したあとは、着信音（「トゥルッ、トゥルッ」というベル音）が鳴っていても、ハンズフリーで電話を受けることはできません。
- ハンズフリーで通話ができるのは約 1 時間までです。1 時間以上通話するときは受話器を取って話してください。
- 相手の声やこちらの声が聞こえにくいときは、受話器を取ってお話しください。
- 本機のそばを離れるときや外出するときは誤作動しないように、ハンズフリー着信の設定を解除してください。
- 「はーい」の検出が可能な距離はマイクの正面約 1 メートル以内です。
- 留守モードのときは、ハンズフリー着信を設定することはできません。
- 次のときはハンズフリー着信を受けられません。
  - ・着信回数を 0 回または 1 回にしているとき
  - ・着信音音量を OFF に設定しているとき
- 「はーい」という返事に本機が反応しないときは、声が小さいか返事が短い可能性があります。はっきりと大きな声で呼びかけてください。
- 「ハンズフリー着信を設定する」（☞ 42 ページ）の手順 5 で「機能 / 確定」を押しても子機のディスプレイが に戻らないときは、(切) を押してください。そのあと、再度ハンズフリー着信の設定をし直します。

●ハンズフリー着信を設定する

ハンズフリー着信の設定を親機、子機のどちらに設定するか、また「はーい」という返事の検出レベルを設定します。ハンズフリー着信の設定は親機で行ないます。

設定する

1

機能/確定　スピーカーホン

ﾊﾝｽﾞ ﾌﾘｰﾁｬｸｼﾝ:OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［スピーカーホン］を押す

2

機能/確定

着信先を選び、［機能/確定］を押す

OFF／ｵﾔｷ／ｺｷ

- 「ｵﾔｷ」を選択すると親機のディスプレイに「ﾚﾝｼｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。
- 「ｺｷ」を選択すると子機のディスプレイに「ﾚﾝｼｭｳﾁｭｳ」と表示されます。

3

設定したほうのマイクに向かって「はーい」と呼びかけ、「ピピッ」という音が鳴るか確認する

- 呼びかけは、設定してから5分以内にしてください。

4

マイクの感度を調整する

ｶﾝﾄﾞ:-■■■■+
←→ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

- 4段階の調整ができます。
- 子機の感度を変更するときも、親機の◯で調整します。

- 「はーい」と呼びかけても本機が反応しないときは、マイクの感度を上げてください。
- まわりの音に反応して「ピピッ」という音が鳴るときは、マイクの感度を下げてください。

5

機能/確定　を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

6

停止　を押す

終了

解除する

1

機能/確定　スピーカーホン

ﾊﾝｽﾞ ﾌﾘｰﾁｬｸｼﾝ:ｵﾔｷ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［スピーカーホン］を押す

2

「OFF」を選ぶ

OFF／ｵﾔｷ／ｺｷ

3

機能/確定　を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4

停止　を押す

終了

通話のときは

電話を取り次ぐ

親機で取った電話を子機に取り次ぎます。

親機から子機へ

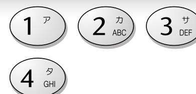
1



電話中に［保留］を押す

● こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2



取り次ぐ子機の内線番号を押す

● 呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは（保留）を押します。

● 子機が1台のときは 1 を押します。

子機で取った電話を親機に取り次ぎます。

子機から親機へ

1

内線／クリア



電話中に［保留］を押す

● こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2



親機の内線番号「0」を押す

● 保留している相手ともう一度話すときは（切）を押し、呼び出しを中止して（外線）を押します。

FAX-1000VCLWのとき、または子機を増設しているとき、子機で取った電話を別の子機にトランシーバー方式で取り次ぎます。
ここでは子機1で受け、子機2へ取り次ぐ場合の例で説明しています。

子機1から子機2へ

1

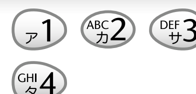
内線／クリア



電話中に［保留］を押す

● こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2



取り次ぐ子機の内線番号「2」を押す

● 保留している相手ともう一度話すときは（切）を押し、呼び出しを中止して（外線）を押します。

通話を切り替える

受話器の通話とスピーカーホンの通話を切り替えます。

親機

1

スピーカーホン



通話中に［スピーカーホン］を押し、受話器を置く

● スピーカーホンによる通話になります。

2



スピーカーホンの通話をやめるときは、受話器をとる

子機

1



通話中に［スピーカーホン］を押す

● スピーカーホンによる通話になります。

2



スピーカーホンの通話をやめるときは、もう一度［スピーカーホン］を押す

通話を録音する

通話の内容を録音できます。

● 録音時間は「機能」の「7.ルスロクメモリーセッテイ」で設定できます。(☞91ページ)

● スピーカーホンで通話しているときは録音できません。

1

再生



録音

親機で通話中に［録音］を押す

2

停止



録音をやめるときは［停止］を押す

● 録音した内容は留守録メモリーに記憶されます。

● 設定した録音時間が過ぎると録音は中止されます。

● 録音した内容を聞くときは、受話器を置いて、（再生）を押します。

終了

3
電話だよ

子機に電話だということを伝えて受話器を置く

● 取り次ぎをやめるときは子機で（切）を押すと保留している相手と親機が通話できるようになります。

4
こんにちは!

● 子機に外線がつながります。

終了

3
電話だよ

親機に電話だということを伝える

● 取り次ぎをやめるときは親機の受話器を置くと保留している相手と子機が通話できるようになります。

4

（切）を押す

● 親機に外線がつながります。

終了

● 子機2が充電器からとられるか、（内線/クリア 保留）（保留）を押されると、子機1、子機2のディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されます。

3
電話だよ

子機1の（子機間通話）を押し続けて、子機のディスプレイに「ﾊﾅｽ」と表示されたら、取り次ぎ内容を伝える

● 「ﾊﾅｽ」と表示されるまでに、数秒かかります。
● 取り次ぎをやめるときはディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されているときに（外線）を押すと保留している相手と通話できるようになります。
● 子機1が（子機間通話）を離すと、子機1、子機2とも待ち受け中になり、子機2が（子機間通話）を押し続けて、子機2のディスプレイに「ﾊﾅｽ」と表示されると、子機1へ話しかけることができます。

4

（切）

「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」の表示のときに［切］を押す

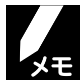
● 取り次ぎ先の子機に外線がつながります。

終了

通話を保留にする

相手にちょっと待って欲しいとき、通話を保留できます。

● 保留にしている間は保留メロディが流れます。



親機

1
保留
子機

通話中に［保留］を押し、受話器を置く

● 通話が保留されます。（受話器を置かなくても通話は保留されています。）

2

通話に戻るときは、もう一度受話器をとる

● 受話器を置かなかったときは、もう一度（保留）を押すと通話に戻ることができます。

子機

1
内線/クリア
保留

通話中に［保留］を押す

● 通話が保留されます。

2
内線/クリア
保留

通話に戻るときは、もう一度［保留］を押す

メモ

親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

内線番号 / 機種	0	1	2	3	4
FAX-1000CL/VCL	親機	子機 1	増設子機 1	増設子機 2	増設子機 3
FAX-1000VCLW	親機	子機 1	子機 2	増設子機 1	増設子機 2

※ FAX-1000VCLW の子機には、内線番号を確認するための子機判別シールがはってあります。

内線で話す

親機、子機間で内線通話や呼び出しができます。

親機と子機で話す

親機から子機、または子機から親機へ内線電話をかけて通話します。

親機から子機へ

1 



受話器を取る、または［スピーカーホン］を押す

2 

を押す

子機から親機へ

1 



子機を充電器からとり、［保留］を押し、［0］を押す

2 

通話をする

子機と子機で話す（簡易子機間通話）

子機を2台以上使用しているとき、子機同士でトランシーバーのように交互に通話することができます。（外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。☞43ページ「電話を取り次ぐ」の「子機1から子機2へ」）

子機1

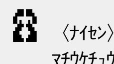
1 

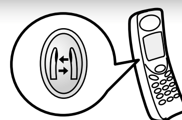
子機を充電器からとり、［保留］を押す

2 

呼び出したい子機の内線番号（例ABCカ2）を押す

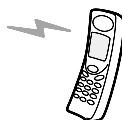
- 子機2の内線呼出音が鳴ります。
- 子機2が内線をとると、「ピロリッ」という音が鳴ります。

3 

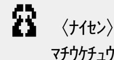


ディスプレイに「マチウケチュウ」と表示されたら（子機間通話）を押し続ける

子機2



- 子機2の内線呼出音が鳴ります。
- 子機を充電器からとります。充電器から外しているときは内線/クリア 保留 を押します。
- 子機2が内線を受けると、子機1、子機2とも「マチウケチュウ」になります。



親機から子機へ呼びかける

親機からすべての子機、または指定した子機にスピーカーを使って呼びかけます。

親機

1 



受話器をとる、または［スピーカーホン］を押す

2 



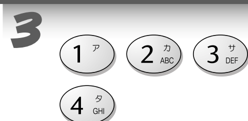
［子機］を押し、［0］を押す

- 特定の子機に呼びかけるときは、子機の内線番号を押してから 0 を押します。



- 内線通話中に外線がかかってきたときは、親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して内線通話を終了させ、もう一度受話器をとると電話がつながります。
  - ・親機がスピーカーホンを使って内線通話をしているときに外線がかかってくると、親機の着信音がなります。受話器をとって外線とお話ください。
- 次のときは内線電話中に外から電話がかかってきても着信音が鳴りません。
  - ・ナンバーディスプレイの設定を「アリ」にしている
  - ・着信音にメロディを設定している
  - ・着信回数を「0 回」に設定している
- 親機からはスピーカーホンでも内線通話ができます。子機では、子機どうしの内線通話のときのみ、スピーカーホンを使った内線電話ができます。
- 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3



通話する子機の内線番号を押す

4



通話をする

5



通話をやめるときは受話器を置く（スピーカーホンでかけた場合は［スピーカーホン］を押す）

終了

3



通話をやめるときは、［切］を押す

終了

4





「ピポッ」と音が鳴り、ディスプレイに「ﾊﾅｽ」と表示されたら、（子機間通話）を押したまま子機2へ話をする

- 「ﾊﾅｽ」と表示されるまで数秒かかります。

- （子機間通話）を押している間、「ﾊﾅｽ」と表示され、話しかけることができます。（子機間通話）を離すと子機1、子機2とも「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」になります。

5



子機2と通話をやめるときは、「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」の表示のとき［切］を押す

終了







- 子機2では「ｷｸ」と表示されます。

- 子機2が話をするときは、子機2側の（子機間通話）を押して、手順4と同様に話をします。

3



呼びかける

4



呼びかけが終わったら、受話器を置く（スピーカーホンで呼びかけた場合は［スピーカーホン］を押す）

終了



親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

機種 ＼ 内線番号	0	1	2	3	4
FAX-1000CL/VCL	親機	子機 1	増設子機 1	増設子機 2	増設子機 3
FAX-1000VCLW	親機	子機 1	子機 2	増設子機 1	増設子機 2

※ FAX-1000VCLW の子機には、内線番号を確認するための子機判別シールがはってあります。



親機がスピーカーホンで内線通話をしているとき、親機と子機を近づけないでください。
近づけすぎるとハウリング（「キーン」という音がする）が発生する事があります。

ご使用の前に　電話　ファクス　コピー　オプションサービス　活用する　こんなときには　付録



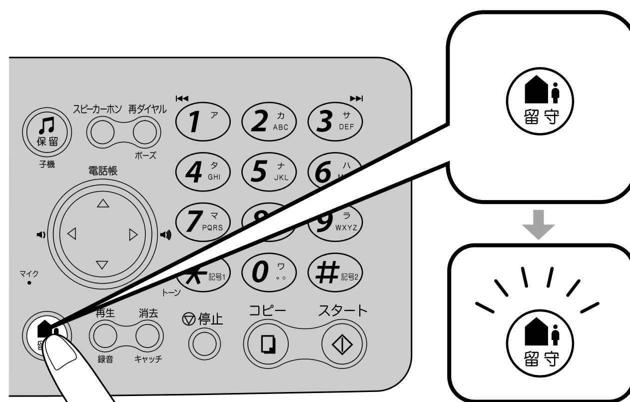
出かけるとき

留守番機能をセットする

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守を押す

➡ ボタンが点灯します



補足

●留守応答メッセージについて

本機にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、自分の声で留守応答メッセージ（2種類）を録音することができます。（☞89ページ）

また、録音した留守応答メッセージは、留守を押した後、1または3で選択することができます。（☞91ページ）

●着信回数について

着信してから、本機が自動的に応答するまでに鳴る着信回数を設定することができます。（☞89ページ）

●メッセージの録音時間について

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの1回あたりの録音時間を設定することができます。（☞91ページ）

録音時間は、相手側の状況（声の質や周りの騒音など）によって変わることがあります。　また、ファクスメッセージがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。

●留守録モニターについて

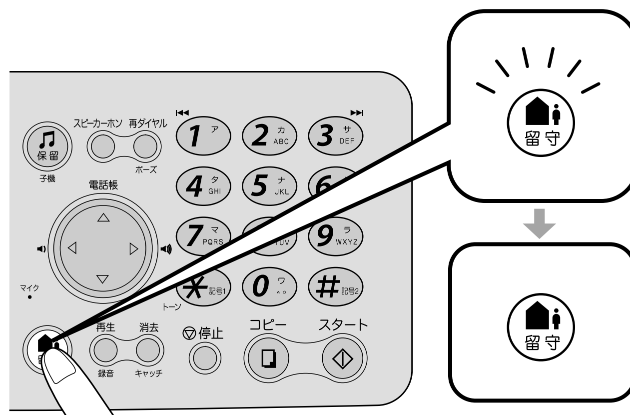
留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。（☞91ページ）

留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。（☞20ページ）

■ 留守録機能を解除するとき

もう一度留守を押す

➡ ボタンが消灯します



ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録



帰ってきたとき

ファクスが届いているとき

自動的に受信し、印刷されています。記録紙やリボンがなくなると、ファクスはメモリーに記憶されます。記録紙をセットし直したり、リボンを交換すると、自動的にファクスが印刷されます。





- 印刷されたファクスメッセージは、メモリーから削除されます。

■ 記録紙がなくなったとき

記録紙をセットし スタート を押す

キロクシ　カクニン
キロクシ　セットシテクダ゛サイ

↕（交互表示）

スタートヲ　オシテクダサイ

■ リボンがなくなったとき

リボンが少なくなったら（☞109ページ）

リボン　カクニン
カバ゛ーヲ　アケテクダ゛サイ

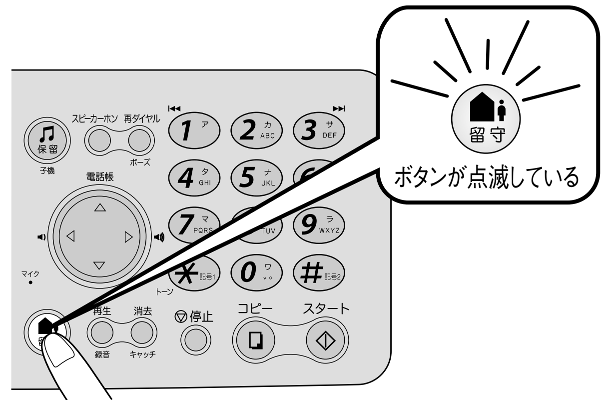


- リモコン設定やファクス転送を設定していると、画面の ファクス転送 が点灯します。（☞49、51ページ）

音声メッセージがあるとき

留守を押す

➡ 新しく録音されたメッセージが再生されます





補足

再生/録音（再生/録音）を押すと、新しく録音されたメッセージが再生されます。新しいメッセージが1件もないときは、保存されているすべてのメッセージが再生されます。

■ 音声メッセージを確認する

メッセージを聞き直す	
再生中のとき	1 を押す
再生中でないとき	（再生）を押す
次のメッセージを聞く	再生中に 3 を押す
途中でメッセージの再生をやめる	再生中に（停止）を押す
メッセージを消去する	
再生中のとき（そのメッセージが消去される）	（消去）を押し、確認してもう一度（消去）を押す
再生中でないとき（すべてのメッセージが消去される）	（消去）を押し、「ヨウケン ショウキョ?」を表示しているときに、1（スル）を押す ※ファクスメッセージも同時に消去するときは「リョウホウ ショウキョ?」を選びます。



補足

子機からは、留守番機能の操作（メッセージの再生・消去、留守モードの設定・解除）はできません。

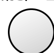
外出中の便利な使いかた

暗証番号設定

留守録転送やリモコンアクセスをするために、あらかじめ暗証番号を設定します。

暗証番号を設定をする

1



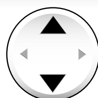




アンショウバンゴウ:- - - *
ニュウリョク/カクテイボタン

［機能/確定］→［7.ルスロク メモリー セッテイ］→［4.アンショウバンゴウ］を押す

4

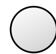


ファクスのメモリー受信の設定を選ぶ

OFF／ON

- ファクスメッセージをメモリー受信するときは「ON」を選びます。
- ファクスメッセージをメモリー受信しないときは「OFF」を選びます。

5



を押す

- 「ウケツケマシタ」と表示されます。
- 「ON」を選んだときは、留守モードにセットすると ファクス転送 が点灯します。

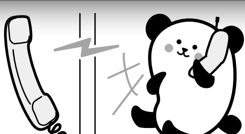
リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本機を操作できます。

- リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。

外出先から操作する

1



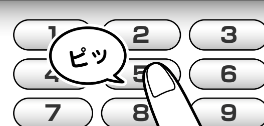
外出先から電話する

2



応答メッセージが流れてきたら［#］［✱］を続けて押す

3



暗証番号を入力する

■ リモコンコード表

コード	操作内容	
■音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に 1 ：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で 1 ：前のメッセージを再生 再生中に 2 ：次のメッセージを再生 再生中に 9 ：再生を中止
93	メモリーに録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
■応答メッセージ		
9410	留守応答メッセージ１を再生し、留守応答メッセージとして設定する	
9420	留守応答メッセージ1を録音する	録音中に 9 ：録音を終了
9411	留守応答メッセージ２を再生し、留守応答メッセージとして設定する	
9421	留守応答メッセージ2を録音する	録音中に 9 ：録音を終了
9412	在宅応答メッセージを再生する	
9422	在宅応答メッセージを録音する	録音中に 9 ：録音を終了
■設定		
951	留守録転送、ファクス転送の設定を「しない」にする	
952	ファクス転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
953	留守録転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
954	ファクス転送先を設定する	9 5 4 のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、 # を2回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。

メモ

- 「リモコンアクセスカード」(☞132ページ）を切り取ってお使いいただくと便利です。

2

ピッ

暗証番号を入力する

- お買い上げ時の暗証番号は「- - - ＊」に設定されています。
- 暗証番号は(0)～(9)、(＊)、(#)を使った3桁の番号と「＊」で構成されます。

3

機能/確定

を押す

ﾌｧｸｽ:OFF
▲▼ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

6

停止

を押す

終了

- 暗証番号を受けつけると音声メッセージの件数を音声でお知らせします。

4

ピッ

リモコンコードを入力する

[例] 録音されている音声メッセージを再生するときは(9)(1)を押します。

- 一部のリモコンコードは、留守モードに設定しておかないと使用できません。
（使えないコードは、下記の表962、963、971です）

5

(9) (0)

終了するときは［9］［0］を続けて押す

終了

コード	操作内容	
■設定		
955	留守録転送先を設定する	(9)(5)(5) のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#) を2回押す。留守録転送の設定がされていないときは自動的に「留守録転送」になります。
■メモリー操作		
961	メモリー使用状況リストを取り出す	(9)(6)(1) のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#) を２回押して受話器を置く
962	メモリーに記憶されたファクスメッセージを取り出す	(9)(6)(2) のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#) を２回押して受話器を置く
963	メモリーに記憶されたファクスメッセージを消去する	消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
971	ファクスメッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
972	音声メッセージが記憶されているか確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
■モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
■リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

留守録転送

留守モードのときに音声メッセージが録音されると、外出先の指定した電話に転送します。

- ファクス転送（「ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ」）と同時に設定することはできません。
- NTTのボイスワープサービスとは異なります。
- 転送先の電話が話し中のとき、呼び出しても電話にでない時、暗証番号が押されない時は、10分おきに5回まで再ダイヤルされます。
- 留守モードのときのみ転送できます。
- 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。(☞49ページ)

留守録転送する

1

機能/確定



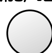


［機能/確定］→［7.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘｰ ｾｯﾃｲ］→［5.ﾃﾝｿｳ］を押す

OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

5

機能/確定



を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

6

停止



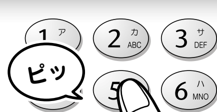
を押す

- 留守モードにセットすると ﾌｧｸｽ転送 が点灯します。

終了

転送先で確認する

1



音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

- 暗証番号の設定☞49ページ

2



メッセージを聞く

解除する

1

機能/確定





［機能/確定］→［7.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘｰ ｾｯﾃｲ］→［5.ﾃﾝｿｳ］を押す

ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

ファクス転送

留守モードのときにファクスが着信すると、本体のメモリーに受信して外出先の指定したファクシミリに転送します。

- 留守録転送（「ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ」）と同時に設定することはできません。
- 転送先のファクシミリが通話中のときは、8回まで再ダイヤルされます。
- 留守モードのときのみ転送できます。

ファクス転送する

1

機能/確定



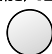


［機能/確定］→［7.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘｰ ｾｯﾃｲ］→［5.ﾃﾝｿｳ］を押す

OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

5

機能/確定



を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

6

停止



を押す

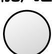
終了

- 留守モードにセットすると ﾌｧｸｽ転送 が点灯します。

解除する

1

機能/確定

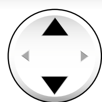




［機能/確定］→［7.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘｰ ｾｯﾃｲ］→［5.ﾃﾝｿｳ］を押す

ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

2

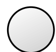


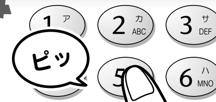
「ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ」を選ぶ

OFF／ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ／ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ

3

機能/確定

 を押す



● 暗証番号が設定されていないときは、「ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ﾄｳﾛｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されます。このときは暗証番号を設定してください（☞49ページ）

4

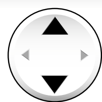
ピッ

転送先の電話番号を入力する

● 2件以上あるときは連続して再生されます。
● 再生終了後に電話は自動的に切れます。

終了

2

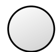


「OFF」を選ぶ

OFF／ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ／ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ

3

機能/確定

 を押す

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

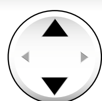
4

停止

 を押す

終了

2

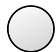


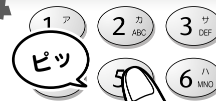
「ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ」を選ぶ

OFF／ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ／ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ

3

機能/確定

 を押す

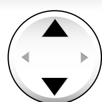


4

ピッ

転送先のファクス番号を入力する

2

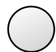


「OFF」を選ぶ

OFF／ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ／ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ

3

機能/確定

 を押す

● ﾌｧｸｽ転送 が消灯します。

4

停止

 を押す

終了

第3章

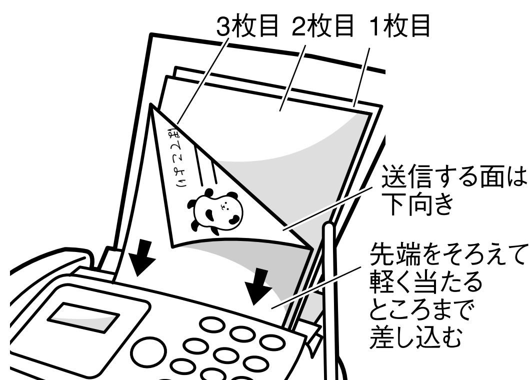


ファクス



ファクスだけをすぐに送る

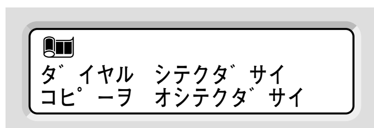
1 原稿をセットする



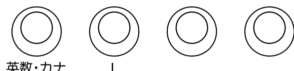


一度にセットできるのは10枚までです。

2 ダイヤルする、または電話帳から相手を選ぶ



画質を調整できます。（☞84ページ）



一時的に濃度を調整できます。（☞84ページ）

3 スタート を押す

送るのをやめるときは

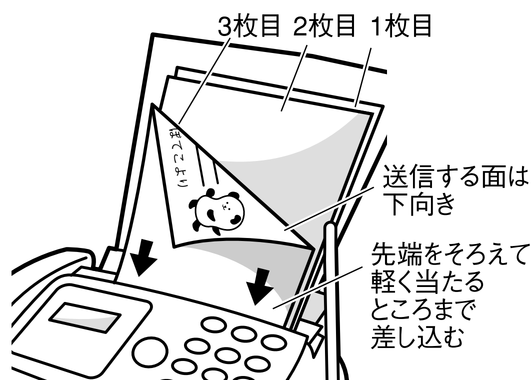
ファクスを途中で中止したいときは、停止（停止）を押します。
- 繰り込まれていない原稿を取り除き、残った原稿をメッセージにしたがって排紙します。



話しをしてから送る

相手と話しをしてファクスを送ることを伝えてから送ります。

1 原稿をセットする



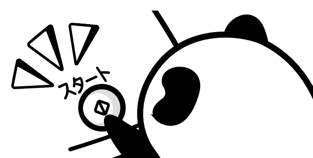


一度にセットできるのは10枚までです。

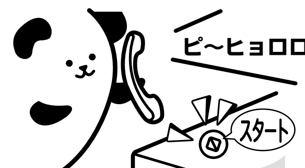
2 相手に電話をかける



3 相手側のスタートボタンを押してもらう



4 受話器から音がしたら スタート を押す



5 受話器を戻す

メモ

送れなかったときは

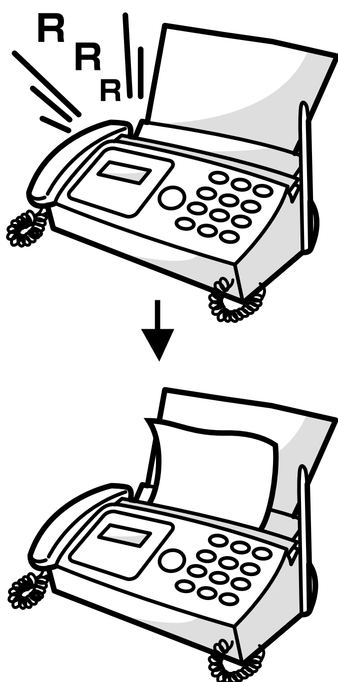
- 「ファクスだけをすぐに送る」の手順でファクスを送信した場合で、相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に8回まで「再ダイヤル」を行います。（「再ダイヤル」を停止するときは停止（停止）を押します。）それでも送信できなかったときは、送信レポート（☞95ページ）がプリントされます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。
- 「話しをしてから送る」の手順でファクスを送信したときは、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは再ダイヤル/ポーズ（再ダイヤル）を押します。

ファクスを受ける

ファクスをご利用になる頻度によって、受信のしかたを設定することができます。(「受信のしかた」☞21 ページ)

自動的に受ける

設定した回数の着信ベルが鳴り終ると、本機が自動的に応答します。このとき、相手がファクスだった場合は、自動的に受信します。



補足

- 着信回数を「ﾑｾｲｹﾞﾝ」にしているときは自動的に受信しません。(☞21、22ページ)
- 記録紙がセットされていないときや、途中でなくなったときには、本体のメモリーに受信します。記録紙セット後に印刷できます。(☞56ページ)
- あらかじめ多め(50枚以下)に記録紙をセットすることをおすすめします。

子機で受ける

あらかじめ「親切受信」を「ON」に設定しておくと、子機を取って約7秒後に自動的に受信します。(お買い上げ時は親切受信は「ON」に設定されています。☞63ページ)

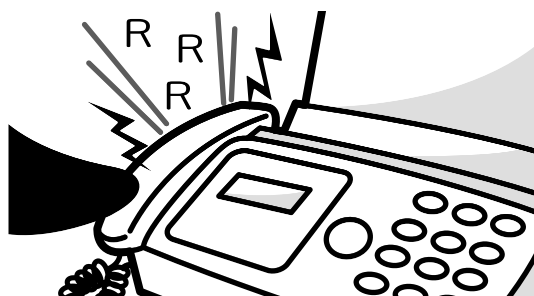
親切受信を設定していないときや、相手と話した後に受信するときは、親機の(スタート)を押して受信します。



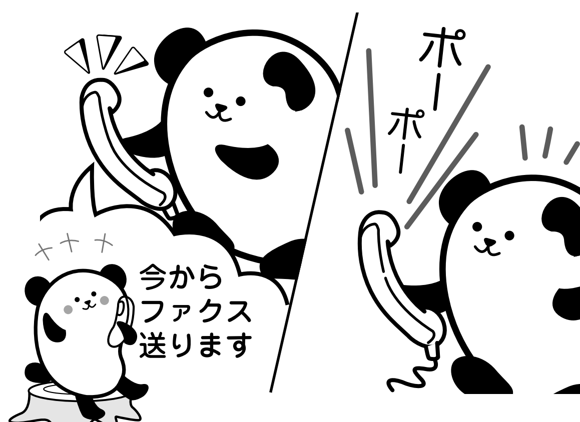
電話に出てから受ける

いちど電話に出てからファクスを受信します。

1 電話を受ける



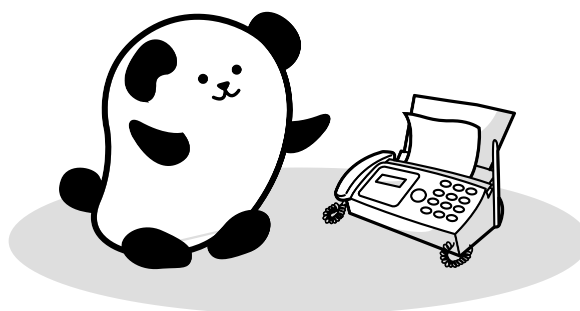
2 相手と話をしたあと、または「ポー、ポー」と音がしていたら、(スタート)を押す



補足

原稿がセットされているときは取り除いてから(スタート)を押します。

3 受話器を置く



ご使用の前に / 電話 / ファクス / コピー / オプションサービス / 活用する / こんなときには / 付録



本体のメモリーにファクスメッセージを記憶する（メモリー受信）

本機は、通常（待ち受け時）は記録紙をセットした状態で使用しますが、記録紙がなくなったときなどのため、ファクスメッセージを記憶しておくためのメモリーが備えられています。メモリーには約60枚分（※）のファクスメッセージを記憶しておくことができます。メモリーにファクスメッセージが記憶されるのは次のような場合です。

※A4版700文字程度の標準原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）で蓄積された場合の枚数です。メモリーを留守録と共用しているため、録音がある場合、メモリー受信の枚数が減少します。

在宅モードのとき



記録紙なし

↓

受信したファクスはメモリーに記憶される

キロクシ カクニン
キロクシ セットシテクダ゛サイ

↑↓ 交互表示

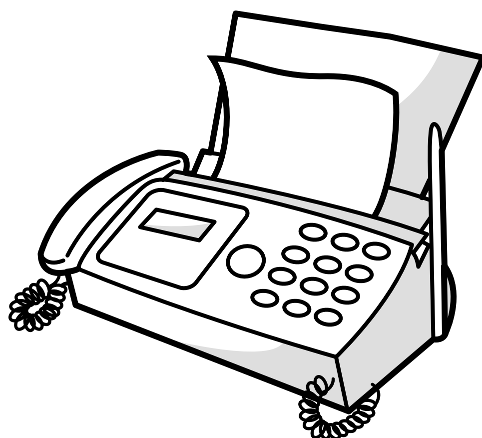
キロクシ カクニン
スタートヲ オシテクダ゛サイ

↓

記録紙をセットし、スタートを押す

↓

受信したファクスがプリントされ、メモリーから消去される



留守モードのとき



通常の留守モード

記録紙なし

↓

受信したファクスはメモリーに記憶される

キロクシ カクニン
キロクシ セットシテクダ゛サイ

↑↓ 交互表示

キロクシ カクニン
スタートヲ オシテクダ゛サイ

↓

記録紙をセットし、スタートを押す

↓

受信したファクスがプリントされ、メモリーから消去される

リモコン設定ファクス：ON

↓

受信したファクスはメモリーに記憶される

受信したファクスはプリントされる

ファクス転送 表示が点滅

↓

リモコンアクセスでファクスを取り出すと、受信したファクスがメモリーから消去される

ファクス転送設定時

↓

受信したファクスはメモリーに記憶される

受信したファクスはプリントされる

ファクス転送 表示が点滅

↓

転送先でファクスがプリントされると受信したファクスがメモリーから消去される

データを消去するには

メモリーに記憶されている不要なデータを消去したいときは、下記の操作でデータを消去します。

消去/キャッチを押し、カーソルキーで「ファクス ショウキョ?」を選び、1（スル）を押す

※音声メッセージも同時に消去するときは「リョウホウ ショウキョ?」を選びます。

電話予約

ファクス送信後に相手先の呼出音を鳴らし、通話できます。

- 相手のファクシミリに電話予約機能がないときはご利用できません。
- この機能は送信後に解除されます。
- 「タイマー送信」を設定すると電話予約は解除されます。
- 「伝言メッセージ」を設定するときは、事前に発信元を登録してください。（発信元データを登録していないときは、「伝言メッセージ」を設定することができません。（「発信元登録」☞18ページ）

1



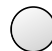
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原稿を裏向きにセットする

- 原稿について☞124ページ

2

機能/確定





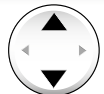


［機能/確定］→［3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［5.ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾔｸ］を押す

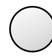
ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ:OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

- 相手が電話に出ないときは「お電話ください」という伝言メッセージをファクス送信できます。

5



機能/確定



「ON」を選び、［機能/確定］を押す

OFF／ON

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

タイマー送信

指定した時刻にファクスを送信します。

- メモリー送信を使うと3件まで指定できます。
- この機能は送信後に解除されます。
- メモリー送信を設定していないときは原稿を取らないでください。

1



ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原稿を裏向きにセットする

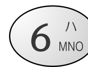
- 原稿について☞124ページ

2

機能/確定







［機能/確定］→［3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［6.ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ］を押す

5



ファクス番号を入力する

- メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで[メモリー送信]を押します。

6

スタート



を押す

海外送信

海外送信時に設定すると通信エラーを少なくできます。

- この機能は送信後に解除されます。

1



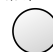
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原稿を裏向きにセットする

- 原稿について☞124ページ

2

機能/確定

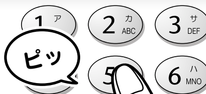






［機能/確定］→［3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［4.ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］を押す

5



ファクス番号を入力する

- メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで[メモリー送信]を押します。

6

スタート



を押す

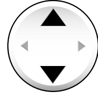
終了

- ダイヤルします。

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

ﾃﾞﾝﾜﾖﾔｸ:OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

3



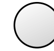
「ON」を選ぶ

OFF／ON／ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻﾝﾌﾟﾙ

● 「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻﾝﾌﾟﾙ」を選択すると伝言メッセージのサンプルを印刷できます。

4

機能/確定



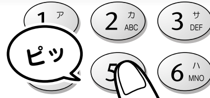
を押す

6

2 ｶ ABC **を押す**

● 他の設定をするときは 1ｱ を押して設定を続けます。

7



ファクス番号を入力する

● メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで指定します。

8

スタート

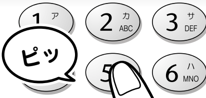


を押す

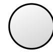
● ダイヤルします。
● ファクスを送信したあと、電話で話します。

終了

3



機能/確定



ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

送信する時刻を入力し、［機能/確定］を押す

● 送信時刻は24時間制で入力します。
● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4

2 ｶ ABC **を押す**

● 他の設定をするときは 1ｱ を押して設定を続けます。

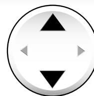
ﾀｲﾏｰｿｳｼﾝ ﾀｲｷﾁｭｳ

● 指定した時刻になると、ダイヤルして原稿の読み取りが行われます。（メモリー送信（メモリー送信）を押してタイマー送信を設定したときは、スタートを押した後、読み取りが行われます。）
● タイマー送信を設定したあとも電話を受けたりかけたりできます。ファクスを送信するときはいったんタイマー送信設定を解除してください。（☞61ページ）
● 相手が話し中などで送信できないときは8回まで再ダイヤルします。
● 送信後、タイマー通信レポートが印刷されます。

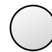
終了

ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ:OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

3



機能/確定



ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

「ON」を選び、［機能/確定］を押す

OFF／ON

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4

2 ｶ ABC **を押す**

● 他の設定をするときは 1ｱ を押して設定を続けます。

送付書送信

ファクスに自動的に送付書を付けて送信します。

- お買い上げ時は「OFF（いつも付けない）」に設定されています。
- 送付書の内容はあらかじめ登録しておきます。
- 送付書には相手先名（電話帳を使って送信したときのみ）、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、送付ページ数（ｺﾝｶｲﾉﾐ:ONに設定しているとき）、コメントが印刷されます。

1



ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原稿を裏向きにセットする

● 原稿について☞124ページ

2

機能/確定







［機能/確定］→［3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［1.ｿｳﾌｼｮ］を押す

今回のみ設定を変更する

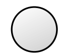
「今回のみ付ける」とき

（ｺﾝｶｲﾉﾐ）

「送付書送信」の1～3の操作を行います

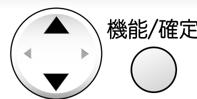
4

機能/確定

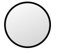


手順3で［ｺﾝｶｲﾉﾐ］を選び、［機能/確定］を押す

5



機能/確定



「ｺﾝｶｲﾉﾐ:ON」を選び、［機能/確定］を押す

ON／OFF

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

8



を押す

● 他の送信設定をするときは 1 を押して設定を続けます。

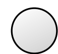
「今回のみ付けない」とき

（ｺﾝｶｲﾉﾐ）

「送付書送信」の1～3の操作を行います

4

機能/確定

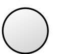


手順3で「ｺﾝｶｲﾉﾐ」を選び、［機能/確定］を押す

5



機能/確定



「ｺﾝｶｲﾉﾐ:OFF」を選び、［機能/確定］を押す

ON／OFF

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

送付書を設定する

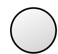
「いつも付ける」とき

（ON）

「送付書送信」の1～3の操作を行います

4

機能/確定



手順3で「ON」を選び、［機能/確定］を押す

1.ｺﾒﾝﾄ ﾅｼ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

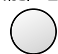
「いつも付けない」とき

（OFF）

「送付書送信」の1～3の操作を行います

4

機能/確定



手順3で「OFF」を選び、［機能/確定］を押す

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

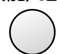
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

コメントを登録する

- 送付書に付けるコメントを登録します。
- 登録できるコメントの文字数は27文字までです。

1

機能/確定

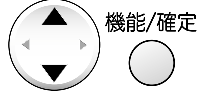




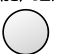


［機能/確定］→［3.ｿｳｼﾝｾｯﾃｲ］→［2.ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ］を押す

2



機能/確定



コメント番号を選び、［機能/確定］を押す

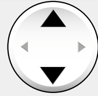


［送付書送信］を設定するときは、事前に発信元登録をしてください。
（発信元登録をしていないときは、［送付書送信］を設定することができません。「名前とファクス番号を登録する」☞18ページ）

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

コンカイノミ
▲▼ デ゛センタク/カクテイ

3

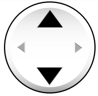


送付書の付けかたを選ぶ

コンカイノミ／ON／OFF／
プ゛リントサンプ゜ル

● ［プ゛リントサンプ゜ル］を選ぶと送付書のサンプルを印刷できます。

6

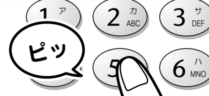


機能/確定

コメントを選び、［機能/確定］を押す

1.コメント ナシ／2.オデ゛ンワ クダ゛サイ／
3.シキュウ／4.シンテン／
5.（オリジ゛ナルコメント）／
6.（オリジ゛ナルコメント）

7



機能/確定

送信枚数を入力し、［機能/確定］を押す

●「ウケツケマシタ」と表示されます。

9



ファクス番号を入力する

● メモリー送信を使うときはここで指定します。

10

スタート



を押す

終了

ホカノ セッテイ?
1.スル 2.シナイ

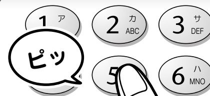
6



を押す

● 他の送信設定をするときは（1）を押して設定を続けます。

7



ファクス番号を入力する

● メモリー送信を使うときはここで指定します。

8

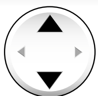
スタート



を押す

終了

5



機能/確定

コメントを選び、［機能/確定］を押す

●「ウケツケマシタ」と表示されます。

1.コメント ナシ／2.オデ゛ンワ クダ゛サイ／
3.シキュウ／4.シンテン／
5.（オリジ゛ナルコメント）／
6.（オリジ゛ナルコメント）

ホカノ セッテイ?
1.スル 2.シナイ

6



を押す

● 他の送信設定をするときは（1）を押して設定を続けます。

終了

5



を押す

● 他の送信設定をするときは（1）を押して設定を続けます。

終了

3

5._
ニュウリョク/カクテイボ゛タン

機能/確定



ダイヤルボタンでコメントを入力し、［機能/確定］を押す

●「ウケツケマシタ」と表示されます。

ホカノ セッテイ?
1.スル 2.シナイ

4



を押す

● 他の送信設定をするときは（1）を押して設定を続けます。

終了

メモリー送信

原稿を本体のメモリーに記憶してから送信します。
● 送信後にこの機能は解除されます。

1



ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原稿を裏向きにセットする

● 原稿について☞124ページ

2

メモリー送信



英数・カナ

を押す

一括送信

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。

1



ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原稿を裏向きにセットする

● 原稿について☞124ページ

2

メモリー送信



英数・カナ

を押す

設定の解除

タイマー送信など設定している内容を確認し、解除できます。

1

機能/確定



4 タ GHI

［機能/確定］→［4.ｾｯﾃｲｶｲｼﾞｮ］を押す

● 設定が1件しかないときは手順3へ。

2



機能/確定

解除したい設定を選び、［機能/確定］を押す

ハンドスキャナーで読み取った内容を送信

ハンドスキャナーで読み取った内容を送信できます。
● ハンドスキャナーで原稿を読み取る（☞67ページ）

1

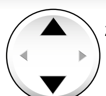
ハンドスキャナーを本体から取り出す
（☞4ページ）

● ☞ が点灯し、以下のメッセージが表示されます。

ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ﾖﾐﾄﾘ
ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾｯﾃｲ

● 必要があれば、原稿にあわせて画質や濃度を調整します。（☞84ページ）

4



機能/確定

倍率を選び、［機能/確定］を押す

A4 100% ｿｳｼﾝ／B4 100% ｿｳｼﾝ／B4>A4 ｼｭｸｼｮｳ ｿｳｼﾝ

● 「A4 100% ｿｳｼﾝ」
A4サイズで読み取った原稿を等倍で送信するとき

● 「B4 100% ｿｳｼﾝ」
B4サイズで読み取った原稿を等倍で送信するとき

● 「B4>A4 ｼｭｸｼｮｳ ｿｳｼﾝ」
B4サイズで読み取った原稿をA4サイズに縮小して送信するとき

7

スタート



を押す

ﾖﾐﾄﾘ ﾂﾂﾞｹﾏｽｶ?
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ

● すぐ送信をするときは手順8へ。
● 続けて次のページを読み取るときは、1 を押し、手順5の後、スタート を押し手順6へ。

8

2 カ ABC **を押す**

10

スタート



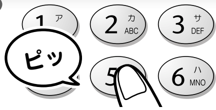
を押す

終了

● ハンドスキャナーを本体に戻します。

ご使用の前に / 電話 / ファクス / コピー / オプションサービス / 活用する / こんなときには / 付録

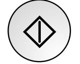
3



ファクス番号を入力する

- ダイヤルする、または電話帳から相手を選びます。
- 読み取る画質、濃度を調整できます。

4

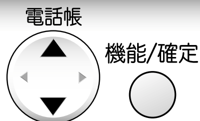


を押す

- 原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
- 送信できなかったときには送信レポートが印刷されます。

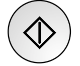
終了

3



グループダイヤルや電話帳から相手先を選び、［機能/確定］を押す（これを繰り返して複数の送信先を指定する）

4



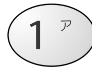
を押す

- 送信先を間違えたときは（停止）を押して、送信先を最初から指定し直してください。
- 原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
- 送信のあとに一括送信レポートが印刷されます。（☞97ページ）

終了

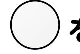
15:40 03△△○○XX
ｶｲｼﾞｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

3



を押す

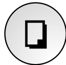
4



を押す

終了

2



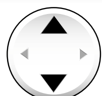
を押す

- ハンドスキャナーでの読み取りモードを設定する画面が表示されます。（☞63ページ）

ｾｯﾃｲ:ｼﾝｸﾞﾙｺﾋﾟｰ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

ｼﾝｸﾞﾙｺﾋﾟｰ／ﾏﾙﾁｺﾋﾟｰ／ｿｳｼﾝ／ﾂﾒｺﾐｺﾋﾟｰ

3



［ｿｳｼﾝ］を選び、［機能/確定］を押す

A4 100% ｿｳｼﾝ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

5

ハンドスキャナーを原稿の上に置き、読取開始位置を合わせる
（☞64ページ）

ﾖﾐﾄﾘ ﾃﾞｷﾏｽ　ﾌｧｲﾝ

- 読み取りが可能になると、設定されている画質が表示されます。

6

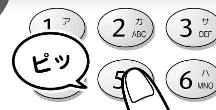
ハンドスキャナーをゆっくり動かして原稿を読み取る
（☞64ページ）

- 読み取り直すときは（停止）を押し手順2へ。
- 1ページ分を読み取ります。

- 読み込んだ原稿が印刷されます。
- 印刷中に（停止）を押すと、印刷が中止され「ｿｳｼﾝﾊ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ ﾄﾘｹｼﾊ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ」と表示されます。送信するときは（スタート）を押し手順9へ進みます。送信を中止するときは（停止）を押します。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

9



ファクス番号を入力する

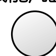
親切受信

受話器で受けたときに相手がファクスだった場合、そのまま7秒待つと自動的にファクス受信します。

● お買い上げ時は「ON」に設定されています。
● 設定を解除後、再度「ON」に設定することもできます。

解除する

1







［機能/確定］→［2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［2.ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ］を押す

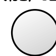
A4自動縮小受信

受信した原稿がA4サイズよりも大きいとき、分割されないようにA4サイズに縮小して受信します。

● お買い上げ時は「ON」に設定されています。
● 設定を解除後、再度「ON」に設定することもできます。

解除する

1







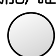
［機能/確定］→［2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［3.ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ］を押す

ポーリング受信

こちらから相手のファクシミリを呼び出して受信します。

● 送信側のファクシミリにポーリング機能がないときには利用できないことがあります。

1



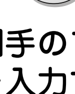
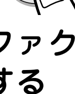




［機能/確定］→［2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［4.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｼﾞｭｼﾝ］を押す

2




相手のファクス番号を入力する



● **親切受信**
- ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。子機で受けたときは子機を充電器に戻してください。
- 本機にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポー、ポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、親機の（スタート）を押さないとファクスを受信することができません。
- 回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、親機の（スタート）を押して手動でファクスを受信してください。
- 親切受信は、親機または子機で電話に出た後、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、子機で電話に出たまま親機の（スタート）を押して手動でファクスを受信します。

● **A4 自動縮小受信**
- 原稿の長さが 550mm 以内のときは、長さに応じて自動縮小して印刷されます。
- 原稿の長さが 550mm 以上のときは、自動縮小されず複数枚の記録紙に分割して印刷されます。



● 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、「親切受信」の設定を「OFF」にしてください。この場合は、親機の（スタート）を押して手動でファクスを受信します。

シンセツ ジュシン:ON
▲▼デ センタク/カクテイ

2
「OFF」を選ぶ
ON／OFF

3
機能/確定
を押す
● 「ウケツケマシタ」と表示されます。

4
停止
を押す

終了

ジドウ シュクショウ:ON
▲▼デ センタク/カクテイ

2
「OFF」を選ぶ
ON／OFF

3
機能/確定
を押す
● 「ウケツケマシタ」と表示されます。

4
停止
を押す

終了

3
スタート
を押す
● 「ウケツケマシタ」と表示後、ダイヤルが始まります。

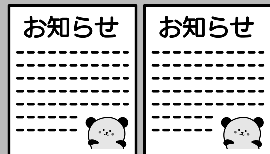
終了



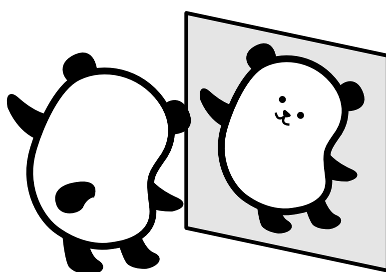
ファクス情報サービスを利用する
このファクスでは、各種のファクス情報サービスを利用できます。
- ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。
- ダイヤル回線をお使いのお客様は、サービスセンターに電話をしたあと、＊トーン を押してから入力します。
- ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に ＊トーン を入力してください。

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

第4章



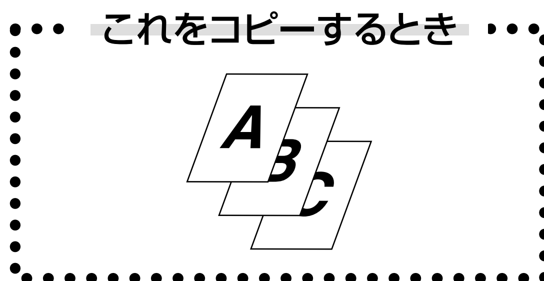
コピー



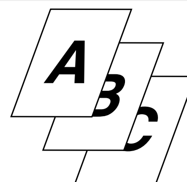


こんなコピーができます

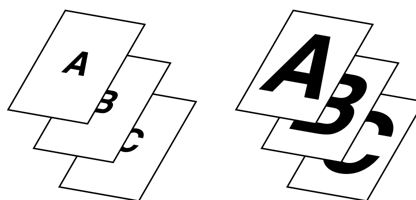
これをコピーするとき



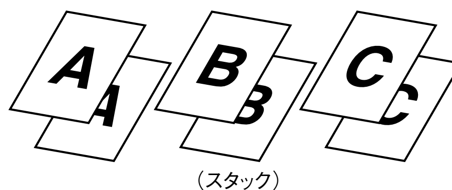
そのままコピー



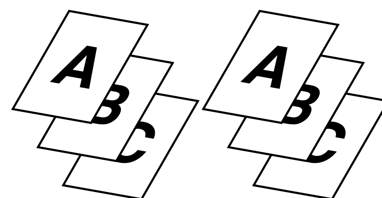
拡大・縮小コピー



マルチコピー（複数枚コピー）



（スタック）

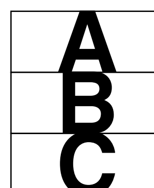


（ソート）

原稿ページの順にソート（並べ替え）できます。

詰め込みコピー

※ハンドスキャナー使用時





コピーする

1 原稿と記録紙をセットする



● 一度にセットできる原稿は10枚までです。
● 本体にハンドスキャナーがセットされていることを確認してください。



ダ゛イヤル　シテクダ゛サイ
コピ゜ーヲ　オシテクダ゛サイ

メモリー送信　画質　着信記録　機能/確定
英数・カナ

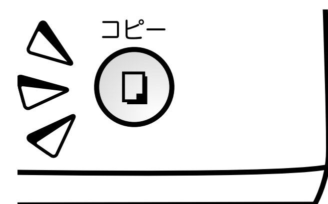
画質を調整できます。
(☞84ページ)

一時的に濃度を調整できます。
(☞84ページ)



あらかじめコピーするときの原稿濃度を設定しておくことができます。いったん設定すると、次に設定を変更するまで同じ濃度で原稿を読み取ります。
(「濃度の調整」☞84ページ)

2 (コピー)を押す





拡大･縮小やソート、複数枚設定などをしない場合は、手順5へ。

3 コピーする枚数と並べ替えを設定する

● **コピーする枚数**

0～9で入力し、(機能／確定)を押します。

● **並べ替え(ソート)**

複数枚の原稿を2部以上コピーするとき、原稿のページ順にコピーするかどうかを選びます。

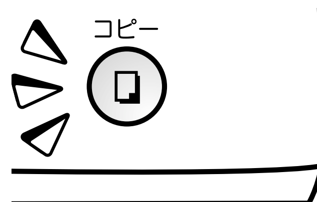
で選び、(機能／確定)を押します。

4 拡大･縮小率を設定する

で選びます。

ジドウ、100%、120%、125%、150%、50%、75%、B4>A4、87%、93%

5 (コピー)を押す

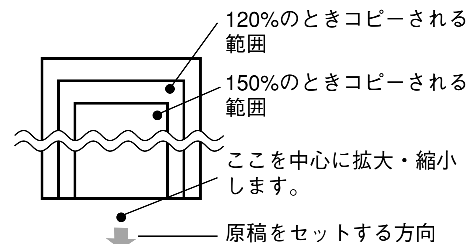




コピーが始まります。並べ替えを「ソート」にしているときは原稿を読み取ったあとにコピーが出てきます。
途中でやめるときは(停止)を押します。



拡大･縮小は原稿を差し込んだ辺の中央を基準に行います。
拡大したときは画像の一部が欠けることがあります。



こんなときは

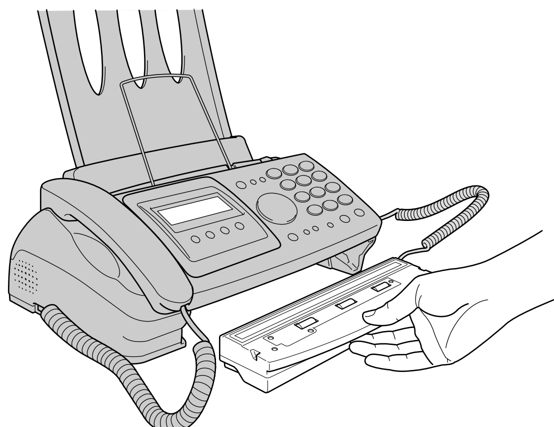
1枚目の原稿を読み取っているときに「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲ ｲﾃﾞｽ/ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されたときは(停止)を押してコピーを中止し、不要なメモリーを削除します。
すでに1枚以上原稿を読み取っているときはそのページだけコピーできます。続けるときは(コピー)を押してください。

ご使用の前に　電話　ファクス　コピー　オプションサービス　活用する　こんなときには　付録



ハンドスキャナーでコピーする

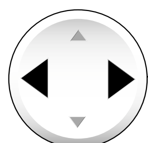
1 ハンドスキャナーを取り外す



```
スタートボ゛タンデ゛　ヨミトリ
コピ゜ーボ゛タンデ゛　セッテイ
```

メモリー送信（英数・カナ）　画質　着信記録　機能/確定

画質を調整できます。（☞84ページ）



一時的に濃度を調整できます。（☞84ページ）



補足

あらかじめコピーするときの原稿濃度を設定しておくことができます。いったん設定すると、次に設定を変更するまで同じ濃度で原稿を読み取ります。
（「濃度の調整」☞84ページ）

2 読み込みの設定をする

❶ コピーを押す



補足

拡大／縮小をしない1部のコピーのときはスタートを押し、手順3へ。

❷ （▲▼）でコピーの種類を選び、機能/確定を押す

```
セッテイ：シンク゛ルコピ゜ー
▲▼ テ゛センタク／カクテイ
```

- **シングルコピー**
  読み取った原稿をそのまま印刷する
- **マルチコピー**
  ページを複数枚印刷する
- **ツメコミコピー**
  複数の読み取りページの余白を詰めて印刷する

※読み込んだ内容をファクスで送信するときは「ｿｳｼﾝ」を選びます（☞61ページ）

❸ （▲▼）で拡大･縮小率を選び、機能/確定を押す

```
ヘンバ゛イリツ：１００％
▲▼ テ゛センタク／カクテイ
```



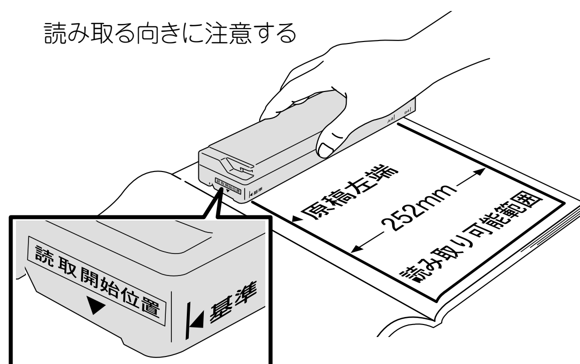
補足

選択したデータに応じて設定できる項目は下記のとおり

ハンドスキャナーの設定	部数	変倍率
シングルコピー	ー	100%, 150%, 75%, B4>A4縮小
マルチコピー	あり	100%, B4>A4縮小
詰め込みコピー	ー	100%, B4>A4縮小
送信	ー	A4 100%送信, B4 100%送信, B4>A4縮小送信

3 ハンドスキャナーを原稿の上に置き、基準と読取開始位置を合わせる

読み取る向きに注意する





- 見開きページの中央部分や段差のある原稿を読み取るときは、ハンドスキャナーと原稿の間にすき間ができないように読み取ってください。コピーしたときに黒くなったり文字がぼやけたりする可能性があります。
- のりや修正液、朱肉、ボールペンのインクなどが付いている原稿は、よく乾かしてから読み取ってください。読み取り面のガラスが汚れたり、読み取ったデータを印刷したときに白や黒い線が出る原因になります。
- 表面に凹凸がある原稿、コーティングなどで表面がすべりやすい原稿は、ハンドスキャナー本体や読み取り結果に不都合が生じるときがありますので、注意してください。

4 ハンドスキャナーを動かす

```
ヨミトリチュウ      ファイン
スタートデ゛  シュウリョウ
```

読み取り直すときは(停止)を押します。


補足

- 読み取り中にハンドスキャナーを動かす速度が早すぎると、ディスプレイに「ｽﾋﾟｰﾄﾞｶﾞﾊﾔｽｷﾞﾏｽ」とメッセージが表示され、音が鳴ります。
  「ピピピッ」と鳴るとき:読み取れる限界です。もう少しゆっくり動かしてください。
  「ピー」と鳴るとき:読み取れませんでした。(停止)を押してもう一度読み取り直してください。
- 「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ/ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されたときは本体内部のメモリーがいっぱいになっているか、読み取り可能な枚数を超えています。(停止)を押すと、読み取った部分までを自動的にコピーします。1ページ目の読み取り中にこのメッセージが表示されたときは、別の用途に使用されているメモリーを消去してから、再度読み取り直します。
  - 録音をされている音声メッセージを消去する。(☞48ページ)
  - メモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷する。(☞56ページ)
  - ファクス転送/電話呼出の設定を「OFF」にする。(☞51ページ)

5 ハンドスキャナーを止めて(スタート)を押す

読み取りを終了します。

```
ヨミトリ ツヅ゛ケマスカ？
1．ハイ  2．イイエ
```

続けて次のページを読み取るときは1を押します。

6 2を押す

読み取った内容が印刷されます。
シングルコピーの印刷終了後は、下記のディスプレイが表示されます。

```
モウイチブ゛ コピーシマスカ？
1．ハイ  2．イイエ
```

もう一部コピーする場合は1を押します。
終了するときは、2を押します。

7 ハンドスキャナーを本体に戻す

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

第5章



オプションサービス

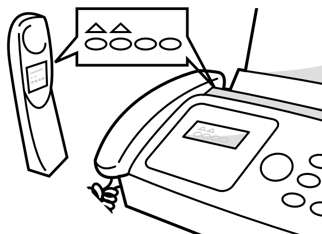
ナンバーディスプレイを利用する

●ナンバーディスプレイサービスとは

NTT が行っているサービスで、電話がかかってきたときに相手の電話番号をディスプレイに表示します。サービスの詳細についてはNTT（116 番）にお問い合わせください。



- 本機の設定だけでは、「ナンバーディスプレイサービス」は利用できません。**NTT との契約が必要です。（有料）**
- ISDN 回線を利用するときは、TA（ターミナルアダプター）のデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバーディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。



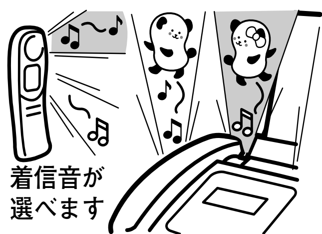
■電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。



■名前表示機能

親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前がディスプレイに表示されます。



■着信鳴り分け機能

電話番号ごとに着信音や着信先（親機だけ、子機だけなど）を指定できます。

着信音は、次の中から指定して登録します。

- ・ 記憶されているベル音（親機 4 種類、子機 1 種類）
- ・ 固定メロディ（親機 50 曲、子機 3 曲）
- ・ 親機から読み込んだメロディ（子機 4 曲）



■迷惑電話防止機能

迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないようにすることができます。

■非通知着信拒否／公衆電話拒否機能

相手の電話番号が非通知、または公衆電話の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ ISDN 回線でご利用の TA によっては、着信を拒否できない場合があります。



■着信記録機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。

記録した電話番号は次のように活用できます。

- ・ ディスプレイに表示する
- ・ 「着信記録」として印刷する
- ・ 親機または子機の電話帳に登録する
- ・ 記録した電話番号に電話をかける

着信記録は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に消去されます。

●ナンバーディスプレイサービスを設定する

NTT とのご契約後、ナンバーディスプレイサービスを利用するときは「アリ」に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは「ナシ」に設定します。
「アリ」に設定しているときは、「着信鳴り分け」「迷惑電話防止」「着信拒否」「着信拒否モニター」などが設定できます。
お買い上げ時は、ナンバーディスプレイ「アリ」に設定されています。



- 「ナンバーディスプレイ」をご利用いただくためには、**NTT との契約が必要です。（有料）**
- 「ダイヤルイン」（モデムダイヤルインを除く）、転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- ISDN 回線を利用されているときは、ナンバーディスプレイ対応の TA（ターミナルアダプター）が必要になります。
- 構内交換器に接続しているときは、ナンバーディスプレイサービスを利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバーディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

設定する

1

機能/確定　9 ラ WXYZ　1 ア

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ:ｱﾘ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

[機能]→[9.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ]→[1.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ]を押す

2

ナンバーディスプレイの設定を選ぶ

ｱﾘ／ﾅｼ

- 「アリ」
  ナンバーディスプレイが使用できます。（別途、NTTとの契約が必要です）。
- 「ナシ」
  ナンバーディスプレイが使用できなくなります。

3

機能/確定 **を押す**

4

停止 **を押す**

終了

電話がかかってきたときは

電話がかかってくると、相手の名前や電話番号を表示します。

- 着信モード、着信音の回数などの着信の設定に関係なく、自動的に対応します。

親機の場合

着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される

ｽｽﾞｷｹｲｺ

- 電話帳に名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。

子機の場合

着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される

〈ｶﾞｲｾﾝ〉
ﾁｬｸｼﾝ
ﾌﾞﾗｻﾞｰ ﾊﾅｺ

- 電話帳に名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。

その他の表示

- ﾋﾂｳﾁ（非通知）
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ（公衆電話）
  公衆電話からかけてきたとき
- ﾋｮｳｼﾞ ｹﾝｶﾞｲ（表示圏外）
  相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービス未実施の携帯電話やPHSからかけてきたとき
- 161（Fネット）
  FネットでFAXを受信したとき



- 「ナシ」に設定しているときは、[着信鳴り分け」「着信拒否」「着信拒否モニター」などのメニューは表示されません。
- ナンバーディスプレイサービスを利用するときは、着信回数を 3 回以上に設定してください。 2 回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示できないことがあります。
- 「186」または「184」などを付けて電話帳に登録するときは、同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。
  市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されなかったり、着信鳴り分けができなくなります。
  例）　○　186　XXX（市外局番）　XXX（市内局番）　XXXX（相手先番号）
  　　　×　186　XXX（市内局番）　XXXX（相手先番号）

ご使用の前に　電話　ファクス　コピー　オプションサービス　活用する　こんなときには　付録

●相手によって着信音を変える［着信鳴り分け］

ナンバーディスプレイサービスの設定を「アリ」にしているときは、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したり、誰から電話がかかってきたかがわかるように電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を指定したりすることができます。
親機の場合は下記の手順で設定します。子機の場合は電話帳登録（☞37 ページ）のときに設定します。
お買い上げ時は、「スベテ」「ベル１」に設定されています。

設定する

1

機能/確定　9 ラ WXYZ　2 カ ABC

▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ
ｶｸﾃｲｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

[機能]→[9.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ]→[2.ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｾｯﾃｲ]を押す

2

機能/確定

ﾁｬｸｼﾝｻｷ:ｽﾍﾞﾃ
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

着信音を設定したい電話番号を選び、[機能/確定]を押す

- 「スベテ」親機、子機ともに着信音が鳴ります。
- 「オヤキ／コキ１／…／コキ４」指定した親機や子機のみ着信音が鳴ります。
- 「ファクス」着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 「メイワクシテイ」着信音が鳴りません。☞73ページ

ﾍﾞﾙ1
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

3

機能/確定

着信先を選び、[機能/確定]を押す

ｽﾍﾞﾃ／ｵﾔｷ／ｺｷ1／…／ｺｷ4／ﾌｧｸｽ／ﾒｲﾜｸｼﾃｲ

- 「コキ１／…／コキ４／ファクス／メイワクシテイ」を選んだ場合は、手順6へ。

4

機能/確定

着信音のジャンルを選び、[機能/確定]を押す

ﾍﾞﾙ／ﾀﾉｼｲPOPS･ｱﾆﾒ／ｷｾﾂ･ｲﾍﾞﾝﾄ／ﾄﾞｳﾖｳ･ｿﾝﾀ／ｲﾔｼﾉｸﾗｼｯｸ／ｹﾞﾝｷｶﾞﾃﾞﾙｸﾗｼｯｸ

- ジャンルについて☞86ページ

5

機能/確定

着信音を選び、[機能/確定]を押す

- 着信音について☞86ページ
- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

6

停止

を押す

終了



- 着信先に「コキ」または「スベテ」を指定した場合、子機の着信音は子機で設定します。（☞85 ページ）

ご使用の前に　電話　ファクス　コピー　オプションサービス　活用する　こんなときには　付録

●迷惑電話を防止する［迷惑電話］

ナンバーディスプレイサービスの設定を「アリ」にしているときは、迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないように設定することができます。
下記の手順で親機で設定します。

設定する

1

機能/確定　9 ラ WXYZ　2 カ ABC

▲▼デ゛センタク/カクテイ
カクテイヲ オシテクダ゛サイ

［機能］→［9.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ］→［2.ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹｾｯﾃｲ］を押す

2

機能/確定

ﾁｬｸｼﾝｻｷ:ｽﾍﾞﾃ
▲▼デ゛センタク/カクテイ

着信音を鳴らしたくない電話番号を選び、［機能/確定］を押す

3

機能/確定

ｽﾍﾞﾃ／ｵﾔｷ／ｺｷ1／…／ｺｷ4／ﾌｧｸｽ／ﾒｲﾜｸｼﾃｲ

「ﾒｲﾜｸｼﾃｲ」を選び、［機能/確定］を押す

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4

停止

を押す　終了

● 番号非通知の電話を拒否する [非通知着信拒否]

ナンバーディスプレイサービスの設定を「アリ」にしているときは、相手が電話番号非通知でかけてきている場合、着信を拒否してお断りメッセージで対応します。
お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。

設定する

1
機能/確定　9 ラ WXYZ　3 サ DEF

ﾋﾂｳﾁ ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ:ﾅｼ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

[機能]→[9.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ→[3.ﾋﾂｳﾁﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ]を押す

2
機能/確定

「ｱﾘ」を選び、[機能/確定]を押す

ｱﾘ／ﾅｼ

3
停止 を押す

終了

- 「アリ」
  番号非通知の電話は着信を拒否します。
- 「ナシ」
  番号非通知の電話も着信します。

● 公衆電話からの着信を拒否する [公衆電話拒否]

ナンバーディスプレイサービスの設定を「アリ」にしているときは、相手が公衆電話からかけてきている場合、着信を拒否して、お断りメッセージで対応します。
お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。

設定する

1
機能/確定　9 ラ WXYZ　4 タ GHI

ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜｷｮﾋ:ﾅｼ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

[機能]→[9.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ]→[4.ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜｷｮﾋ]を押す

2
機能/確定

「ｱﾘ」を選び、[機能/確定]を押す

ｱﾘ／ﾅｼ

3
停止 を押す

終了

- 「アリ」
  公衆電話からの着信を拒否します。
- 「ナシ」
  公衆電話からも着信します。

着信拒否のときは

非通知着信拒否のときや公衆電話着信拒否のときは本機が自動的に対応し電話を切ります。

- 「着信拒否」はナンバーディスプレイの設定が「ｱﾘ」のときのみ設定できます。



ﾋﾂｳﾁ

ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ

着信拒否設定の電話がかかってくると、親機が着信音を鳴らさずに電話を受ける

下記のメッセージを3回再生した後、自動的に電話を切ります。
・**非通知着信拒否のとき：**
「恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」
・**公衆電話拒否のとき：**
「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」
※着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。（☞75ページ）
● ファクスの場合は、ファクスの信号を受信すると自動的に電話を切ります。

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

●着信拒否モニターを設定する［着信拒否モニター］

ナンバーディスプレイサービスの設定を「アリ」にしているときは、着信拒否モニターを「ON」に設定すると、非通知着信拒否または公衆電話拒否のときの着信拒否メッセージを本機のスピーカーから聞くことができます。
お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。
※スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

設定する

1
機能/確定　9 ラ WXYZ　5 ナ JKL

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋﾓﾆﾀｰ:OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能］→［9.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ］→［5. ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋﾓﾆﾀｰ］を押す

2
機能/確定

「ON」を選び、［機能/確定］を押す

ON／OFF

3
停止
を押す

終了

- 「ON」
  着信を拒否するメッセージが本機のスピーカーから聞こえます。
- 「OFF」
  着信を拒否するメッセージは聞こえません。

●キャッチホンディスプレイサービスを利用する

キャッチホンディスプレイサービスは、ＮＴＴが行っているサービスの１つで、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはＮＴＴ（116番）にお問い合わせください。
お買い上げ時は、キャッチホンディスプレイ「ナシ」に設定されています。



- 本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホンディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホンⅡ」（☞78 ページ）と「ナンバーディスプレイサービス」（☞70 ページ）を契約した上で、**別途ＮＴＴとの契約が必要です。（有料）**
- ISDN 回線を利用されているときは、TA（ターミナルアダプター）のデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

設定

キャッチホンディスプレイサービスの設定をします。

1
機能/確定　9 ラ WXYZ　6 ハ MNO

ｷｬｯﾁﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ:ﾅｼ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［9.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ］→［6.ｷｬｯﾁﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ］を押す

2
機能/確定

設定値を選び、［機能/確定］を押す

ｱﾘ／ﾅｼ

終了



停止（停止）を押すと、設定をキャンセルして待ち受け画面に戻ります。

●着信記録を利用する（親機）

着信記録を利用して電話をかけたり、電話帳に登録することができます。

●「ナンバーディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信記録（着信記録）は使えません。（「チャクシンリレキガアリマセン」が表示されます。）

●操作を中止するには 停止（停止）を押します。

履歴を見る

1. 着信記録 を押す
2. 着信記録を確認する
3. 停止 元の表示に戻すには［停止］を押す

終了

電話する

1. 着信記録 を押す
2. 着信記録を選ぶ
3. スタート 受話器をあげて、［スタート］を押す
   - ● 電話がかかります。

終了

電話帳に登録する

1. 着信記録 を押す
2. 機能/確定 着信記録を選び、［機能/確定］を押す

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
ﾉｺﾘXXｹﾝ

↓2秒後

ﾅﾏｴ:_
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｶｸﾃｲﾎﾞﾀﾝ

3. 登録内容を入力する

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷｹｲｺ
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｶｸﾃｲﾎﾞﾀﾝ

- ● 電話帳登録 ☞33ページ

● 着信記録の番号が自動的に登録され、名前を入力する画面になります。

4. 機能/確定 を押す
   - ●「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。
5. 停止 を押す

終了

履歴を削除する

1. 着信記録 を押す
2. 消去 キャッチ 着信記録を選び、［消去］を押す

ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ?
1.ｼｮｳｷｮ 2.ﾁｭｳｼ

3. 1 ア を押す
4. 停止 を押す

終了

履歴を印刷する

1. 着信記録 を押す
2. 記録紙をセットする
3. コピー を押す

終了

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

● 着信記録を利用する（子機）

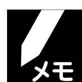
着信記録を利用して電話をかけたり、電話帳に登録することができます。

● 「ナンバーディスプレイサービス」の契約をしていないときは、キャッチ/着信記録（着信記録）は使えません。（「チャクシン リレキガアリマセン」が表示されます。）

●操作を中止するには 切 を押します。

●子機の着信履歴は印刷できません。

	1	2	3	
履歴を見る	キャッチ/着信記録 を押す	着信記録を確認する	元の表示に戻すには［切］を押す	終了
電話する	キャッチ/着信記録 を押す	着信記録を選ぶ	外線 を押す ● 電話がかかります。	終了
電話帳に登録する	電話帳登録の電話番号入力画面で、［着信記録］を押す	着信記録を選び、［機能/確定］を押す	電話帳登録を続ける ● 電話帳登録 ☞37ページ	終了
履歴を削除する	キャッチ/着信記録 を押す	着信記録を選び、［クリア］を押す（内線/クリア 保留）	終了	
履歴を全削除する	機能/確定 を押す	「ﾁｬｸｼﾝｷﾛｸｸﾘｱ」を選び、［機能/確定］を押す ｽﾍﾞﾃｻｸｼﾞｮ？ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ	ア1 を押す	終了



● 「電話する」の手順２で着信記録を表示しているときに 機能/確定 を押すと、電話番号非通知モードになります。もう一度、機能/確定 を押すと、電話番号通知モードに戻ります。
電話番号通知モードのときは、外線 を押すと電話番号の前に「186」をつけて発信されます。電話番号非通知モードのときは、外線 を押すと電話番号の前に「184」をつけて発信されます。

キャッチホンを利用する

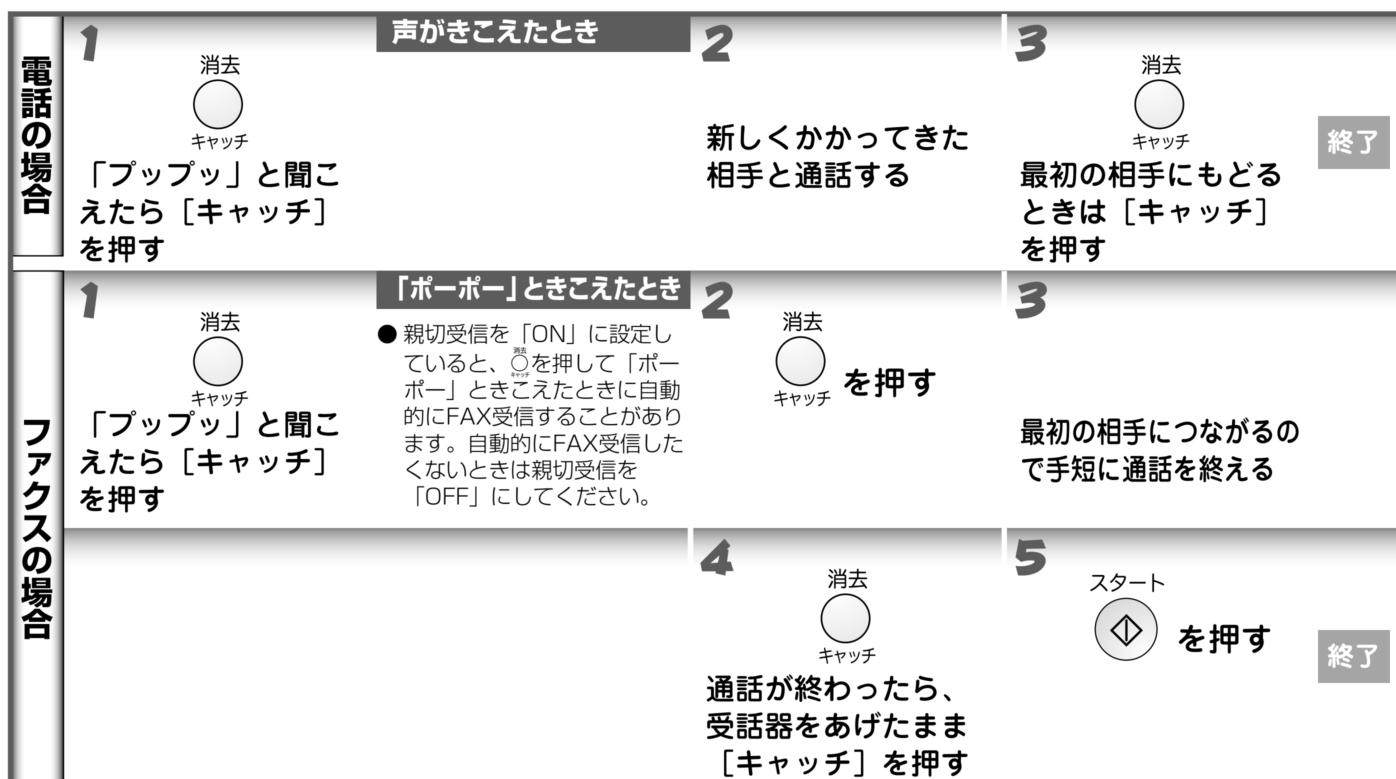
キャッチホン／キャッチホンⅡは、NTT が行っているサービスの 1 つで外線通話中に別の電話やファクスを受けるためのサービスです。サービスの詳細についてはNTT（116 番）にお問い合わせください。



- 「キャッチホン／キャッチホンⅡ」をご利用いただくためには、**NTT との契約が必要です。（有料）**
- 「ダイヤルインサービス」と同時に契約することはできません。
- ISDN 回線を利用されているときは、TA（ターミナルアダプター）のデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

●キャッチホンを受ける（親機）

親機のキャッチホンで電話やファクスを受けます。

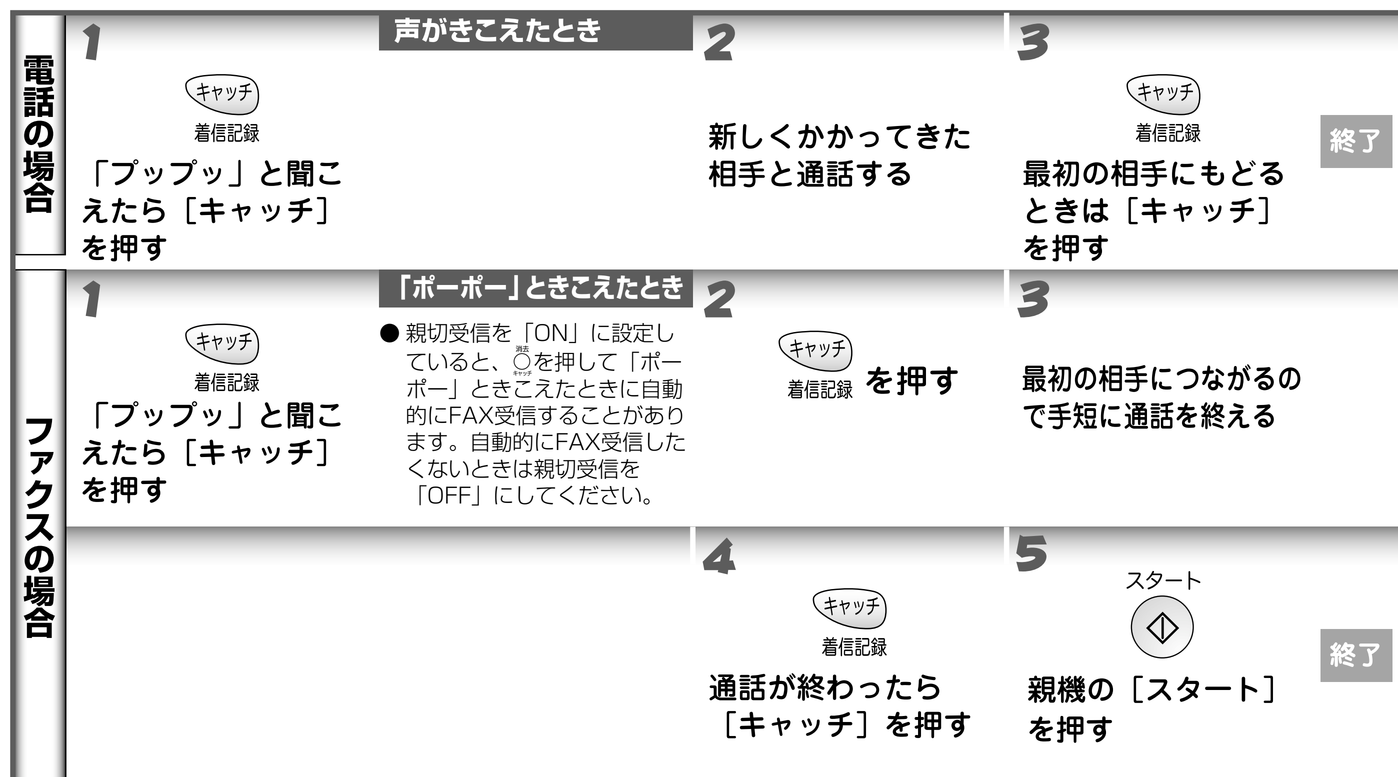




- 待たせている相手の方には保留メロディが流れます。
- 消去キャッチ（キャッチ）を押すごとに、通話相手が変わります。
- 通話中にファクスが入ったときは通話を終えてから、親機の スタート（スタート）を押してファクス受信をします。
- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの呼出音が鳴り続けることがあります。
- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホンⅡ」のご利用をおすすめします。

●キャッチホンを受ける（子機）

子機のキャッチホンで電話やファクスを受けます。



メモ

- 待たせている相手の方には保留メロディが流れます。
- キャッチ を押すごとに、通話相手が変わります。
- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの呼出音が鳴り続けることがあります。
- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホンⅡ」のご利用をおすすめします。

ダイヤルインサービスを利用する

● ダイヤルインサービスとは

ダイヤルインサービスは、NTT が行っているサービスの 1 つで、1 本の電話回線で、いくつかの電話番号を持つことができるサービスです。本機では 2 つの電話番号を扱うことができ、「ダイヤルインサービス」の契約を行うと、「ダイヤルインサービス」用の番号を追加指定されます。（以下、最初に NTT と契約した番号を「主番号」、追加された番号を「副番号」と呼びます。）サービスの詳細については NTT（116 番）にお問い合わせください。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。（設定方法 ☞ 81 ページ）

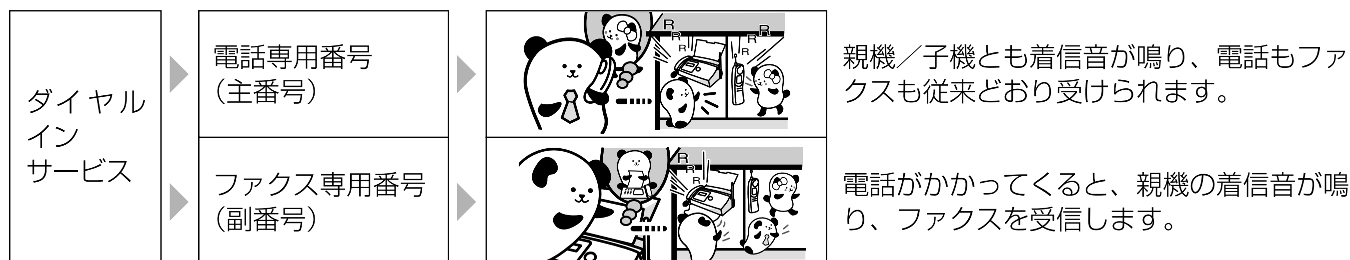


- 「ダイヤルインサービス」をご利用いただくためには、**NTT との契約が必要です。（有料）**
- 「ダイヤルインサービス」または「i・ナンバーサービス」加入後は、サービス開始と同時に本機の「ダイヤルインサービスの設定」を行ってください。サービス開始前に本機の設定を行ったり、サービスが開始されているのに本機の設定が行われていない場合、電話が受けられないときがあります。
- ISDN 回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出できる TA（ターミナルアダプター）が必要です。また、この場合は TA のデータ設定を行った後、本機の設定（本項）を行います。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ダイヤルインサービスは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

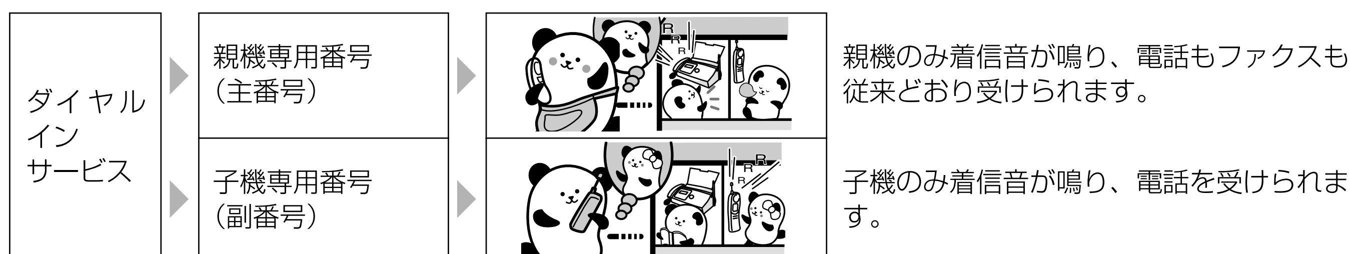
● ダイヤルインサービスの使いかた

本機では、この 2 つの電話番号を下記の設定で使用できます。

■電話とファクスで別々の番号を使う



■親機と子機で別々の番号を使う





- ダイヤルインサービスは 1 本の電話回線を使用していますので、一方の電話番号が使われている時はもう一方の電話番号を使うことはできません。
- ダイヤルインサービスをご利用いただいているときは、以下に示すサービスは同時にご利用いただけません。（キャッチホン／三者通話／転送電話／電話会議／トーキ案内／二重番号）詳しくは、NTT にお問い合わせください。
- 契約の際、PB 方式を選択した場合、電話番号（副番号）は、4 桁を指定してください。
- PB 方式のダイヤルインサービスをご利用の場合は、受信モードが在宅モードの着信回数「ﾑｾｲｹﾞﾝ」に設定されているとき、着信音は 25 回鳴ります。また、相手が通話する前に電話を切ったときでも、こちら側が受話器を取るまでは 25 回着信音が鳴り続けます。
- ISDN 回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出することができる TA が必要です。
- ダイヤルイン番号にかけるときは、相手につながるまでに多少の時間がかかります。（呼出音が鳴るまでに無音状態が約 8 ～ 10 秒続きます。）

●ダイヤルインサービスの設定

ダイヤルインサービスを利用するときは、次の手順で本機の設定をします。
お買い上げ時は、ダイヤルイン「OFF」に設定されています。

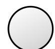
設定

ダイヤルインの設定をします。

- お買い上げ時はファクスベル回数は00回に設定されています。
- 登録し直すときは、一度ダイヤルイン「OFF」に設定し、もう一度最初から登録し直してください。

1

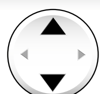
機能/確定　0 ワ　1 ア



ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ:OFF
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［0.ｿﾉﾀｻｰﾋﾞｽ ｾｯﾃｲ］→［1.ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ］を押す

2



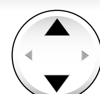
機能/確定

ﾓｰﾄﾞ:ﾃﾞﾝﾜ/ﾌｧｸｽ
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

「ON」を選び、［機能/確定］を押す

OFF／ON

3



機能/確定

モードを選び、［機能/確定］を押す

ﾃﾞﾝﾜ/ﾌｧｸｽ／ｵﾔｷ/ｺｷ

親機／子機のとき

4

1 ア　2 カ ABC　3 サ DEF　5　6 ハ MNO　ピッ　機能/確定

主番号（下4桁）を入力し、［機能/確定］を押す

5

1 ア　2 カ ABC　3 サ DEF　5　6 ハ MNO　ピッ　機能/確定

副番号（下4桁）を入力し、［機能/確定］を押す

6



停止

を押す

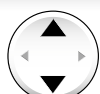
終了

電話／ファクスのとき

「親機/子機のとき」の手順4～5と同様に主番号、副番号を入力する

ﾌｧｸｽ ﾍﾞﾙｶｲｽｳ:00
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

6



機能/確定

ファクスベル回数を選び、［機能/確定］を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

7



停止

を押す

終了

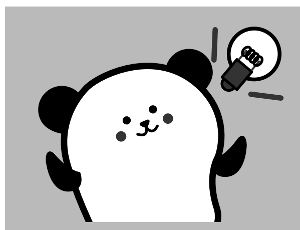
ご使用の前に　電話　ファクス　コピー　オプションサービス　活用する　こんなときには　付録

● トーン信号によるサービスを利用する

本機では、トーン（PB）信号による各種サービス（銀行 ＡＮＳＷＥＲ、クレジット通話サービス、ポケットサービス、照会案内サービス案内、ホームテレホンサービスにおけるテレコントロール、留守番電話におけるリモート操作など）を利用することができます。
具体的なサービスの詳細については各種サービスの提供先にお問い合わせください。

	1	2	3	4
プッシュ回線	受話器をとる	各種サービスの電話番号をダイヤルする	サービスの指示にしたがってダイヤルボタンを押す	終了
ダイヤル回線	受話器をとる	各種サービスの電話番号をダイヤルする	トーン ＊ 記号1 を押す	サービスの指示にしたがってダイヤルボタンを押す 終了

第6章



活用する

原稿に合わせて調整する

ファクス送信やコピーするときの画質や濃度を調整します。

濃度の調整

ファクス送信、コピーの濃度を設定します。

1

機能/確定





［機能/確定］→［3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［3.ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ］を押す

ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ:ﾌﾂｳ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

2

原稿濃度を選ぶ

ﾌﾂｳ／ｺｸ／ｳｽｸ

3

機能/確定



を押す

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4

［2.ｼﾅｲ］を押す

終了

原稿に合わせて画質を調整

原稿の文字の大きさや種類によって読み取る画質を選択します。
● ファクス送信、またはコピー終了後は元の設定に戻ります。

1



原稿を裏向きにセットする

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

● 原稿について
☞124ページ

2

画質



を押す

● 読み取る細かさを選択します。

ﾋｮｳｼﾞｭﾝﾓｰﾄﾞ／ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ／S.ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ／ｼｬｼﾝﾓｰﾄﾞ

● 画質のお買い上げ時の設定は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝﾓｰﾄﾞ」です。
● 画質を選ぶめやすは次のとおりです。
・ﾋｭｳｼﾞｭﾝﾓｰﾄﾞ：　大きくはっきりと見える文字
・ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ：　雑誌のように小さい文字
・S. ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ：　新聞のように細かい文字
・ｼｬｼﾝﾓｰﾄﾞ：　写真やカラーの原稿
● シングルコピーのときは、「ﾋｭｳｼﾞｭﾝﾓｰﾄﾞ」「ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ」に設定しても「S. ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ」でコピーされます。
● マルチコピーのときは、「ﾋｭｳｼﾞｭﾝﾓｰﾄﾞ」に設定しても「ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ」でコピーされます。

終了

原稿に合わせて濃度を調整

原稿の濃さによって読み取る濃度を選択します。
● ファクス送信、またはコピー終了後は元の設定に戻ります。

1

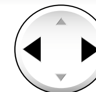


原稿を裏向きにセットする

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

● 原稿について
☞124ページ

2

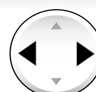


［◀ ▶］を押す

● 読み取る濃さを選択します。

3

ｳｽｸ■■■■　ｺｸ



濃度を調整する

● 濃度は3段階の調整ができます。

終了

着信音と保留音を設定する

着信したときのベル音（メロディ）と保留音を設定します。

着信音

着信音の鳴りかたを設定します。

- お買い上げ時は、下記のように設定されています。
  親機：　ジャンル「ベル」
  　　　　曲「ベル1」
  子機：　「ベル」
- お買い上げ時、子機が着信音として利用できるのは「ベル／メロディ1〜3」のみです。「メロディー一覧」（☞86ページ）の曲を子機の着信音として設定する場合は、「子機にメロディを転送する」（☞87ページ）を行って親機からメロディを取り込んだ後、着信音を設定します。

親機

1 機能/確定　8 ヤ TUV　1 ア @.

［機能/確定］→［8.ﾒﾛﾃﾞｨｾｯﾃｲ］→［1.ﾁｬｸｼﾝｵﾝ］を押す

ﾍﾞﾙ1
▲▼ﾃﾞｼﾞｬﾝﾙｾﾝﾀｸﾍ

- 現在選択されている着信音が表示され、着信音が聞けます。

2 機能/確定

ジャンルを選び、［機能/確定］を押す

3 機能/確定

ﾍﾞﾙ／ﾀﾉｼｲPOPS･ｱﾆﾒ／ｷｾﾂ･ｲﾍﾞﾝﾄ／ﾄﾞｳﾖｳ･ｿﾉﾀ／ｲﾔｼﾉｸﾗｼｯｸ／ｹﾞﾝｷｶﾞﾃﾞﾙｸﾗｼｯｸ

着信音を選び、［機能/確定］を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4 停止 を押す

終了

子機

1 機能/確定 を押す

2 機能/確定

「ﾁｬｸｼﾝｵﾝｾﾝﾀｸ」を選び［機能/確定］を押す

ﾁｬｸｼﾝｵﾝ ? ▼▲
■ﾍﾞﾙ
　ﾒﾛﾃﾞｨ1

3 着信音を選ぶ

ﾍﾞﾙ／ﾒﾛﾃﾞｨ1〜3／曲名
（曲名は親機から読み込んだメロディがあるときのみ）

4 機能/確定 を押す

終了

保留音

保留音の鳴りかたを設定します。

- ここで設定する保留音は親機、子機共通です。
- お買い上げ時の設定はジャンル「タノシイPOPS／アニメ」の「イツモナンドデモ」です。

1 機能/確定　8 ヤ TUV　2 カ ABC

［機能/確定］→［8.ﾒﾛﾃﾞｨｾｯﾃｲ］→［2.ﾎﾘｭｳﾒﾛﾃﾞｨ］を押す

ｲﾂﾓﾅﾝﾄﾞﾃﾞﾓ
▲▼ﾃﾞｼﾞｬﾝﾙｾﾝﾀｸﾍ

2 機能/確定

ジャンルを選び、［機能/確定］を押す

3 機能/確定

ﾀﾉｼｲPOPS･ｱﾆﾒ／ｷｾﾂ･ｲﾍﾞﾝﾄ／ﾄﾞｳﾖｳ･ｿﾉﾀ／ｲﾔｼﾉｸﾗｼｯｸ／ｹﾞﾝｷｶﾞﾃﾞﾙｸﾗｼｯｸ

保留音を選び、［機能/確定］を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4 停止 を押す

終了



- ハンズフリー着信を設定していると、着信音はお買い上げ時のベル音が鳴ります。（「ハンズフリーで電話を受ける」☞41 ページ）
- ディスプレイには曲名が表示されます。
- 子機のメロディ 1 〜 3 には下記のメロディが登録されています。
  ・メロディ 1（TSUNAMI）JASRAC、メロディ 2（威風堂々）、メロディ 3（主よ、人の望みの喜びよ）



- 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）
- 構内交換機や TA（ターミナルアダプター）などに接続している場合で、着信音を「ベル 1」に設定しているときは、メニュー選択時に聞こえる「ベル 1」の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

■ メロディ一覧

タノシイPOPS/アニメ（楽しいPOPS/アニメ）

イツモナンドデモ（いつも何度でも） JASRAC
TSUNAMI（TSUNAMI） JASRAC
ヨゾラノムコウ（夜空のムコウ） JASRAC
Everything（Everything） JASRAC
エレクトリカル（エレクトリカルパレード） JASRAC

キセツ/イベント（季節/イベント）

イフウドウドウ（威風堂々）
シキヨリ［ハル］（四季より「春」）
カンキノウタ（歓喜の歌（交響曲第9番））
モロビトコゾリテ（諸人こぞりて）
ウレシイヒナマツリ（うれしいひなまつり）
ハルノコエ（春の声）
チョウチョウ（ちょうちょう）
ハナ（花）
ホタルノヒカリ（蛍の光）
アオゲバトウトシ（仰げば尊し）
コガラシ（木枯らしのエチュード）
バースディ（ハッピーバースディ）

ドウヨウ/ソノタ（童謡/その他）

オオキナフルドケイ（大きな古時計）
オオキナクリノキノシタ（おおきなくりのきのしたで）
クラリネット（クラリネット）
キラキラボシ（きらきら星）
フルサト（故郷（ふるさと））
ゾウサン（ぞうさん）
タヌキサン（げんこつやまのたぬきさん）
クロダブシ（黒田節）
ドナドナ（ドナドナ）

イヤシノクラシック（癒しのクラシック）

シュヨヒトノノゾミヨ（主よ人の望みの喜びよ）
シチリアーナ（シチリアーナ）
ショウフーガ（小フーガト短調）
アヴェ・マリア（アヴェ・マリア）
ノクターン（ノクターン第２番）
ケンタッキーノワガヤ（ケンタッキーの我が家）
グリーンスリーブス（グリーンスリーブス）
ダッタンジン（ダッタン人の踊り）
ワカレノキョク（別れの曲）
アマダレノキョク（雨だれの曲）
ハクチョウノオドリ（小さな白鳥の踊り）
BUTTERFLY（BUTTERFLY）
ローエングリン（ローエングリン
トルココウシンキョク（トルコ行進曲）
ダイ40バン（交響曲第40番第1楽章）

ゲンキガデルクラシック（元気がでるクラシック）

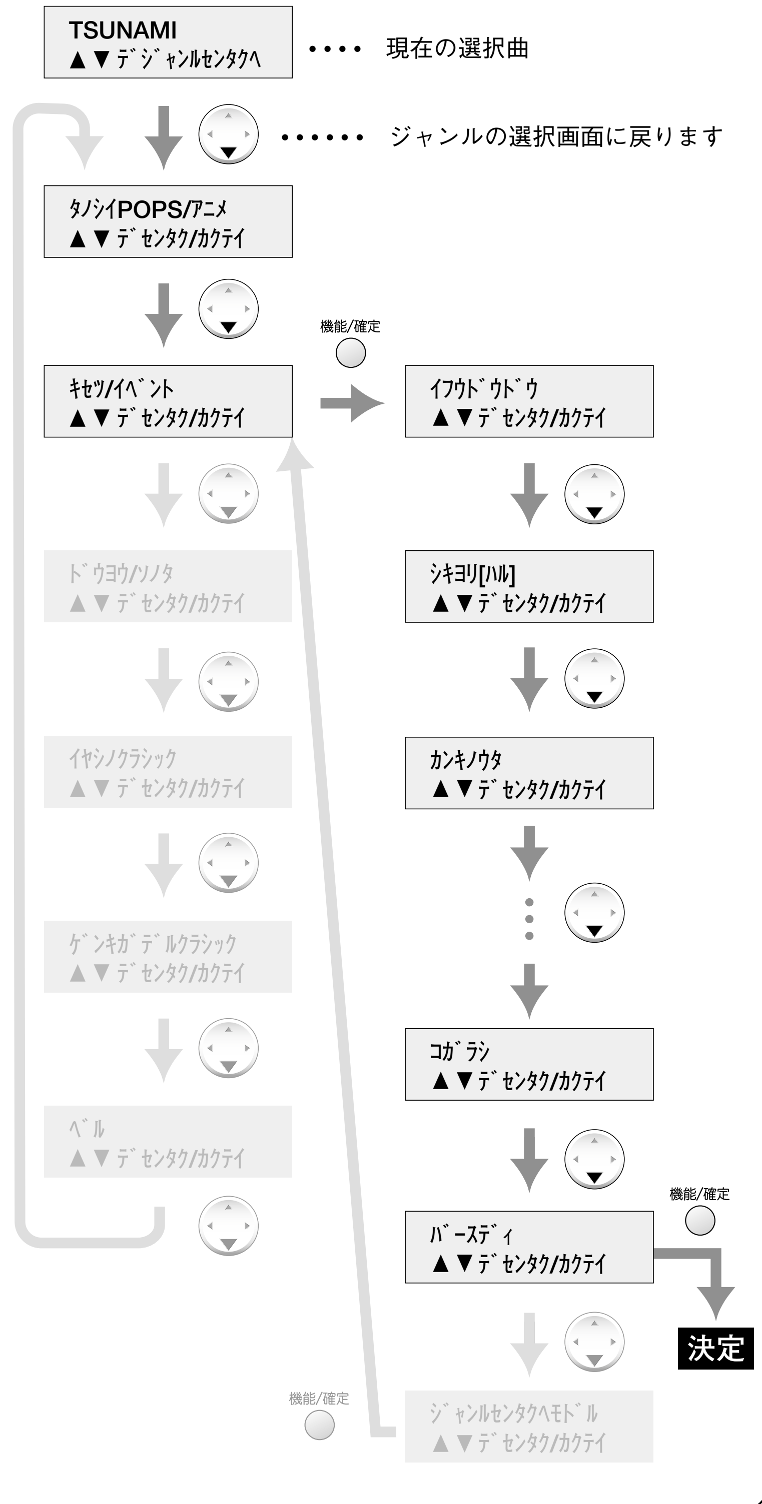
アイノヨロコビ（愛の喜び）
ハナノワルツ（花のワルツ）
アラベスク（アラベスク）
アイネクライネ（アイネクライネ）
セイジャノコウシン（聖者の行進）
テンゴクトジゴク（天国と地獄）
ガボット（ガボット）
プロムナード（プロムナード）
メヌエット（メヌエット）

ベル

ベル1
ベル2
ベル3
ベル4

●メロディの選びかた●

例えば、「TSUNAMI」（ジャンル：タノシイPOPS／アニメ）を選んでいる場合に「ハッピーバースディ」（ジャンル：キセツ／イベント）を選び直すときは、下記のようになります。



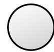
＝ジャンル
＝メロディ

子機にメロディを転送する

親機に登録されているメロディの中からお好きな曲を選んで、4曲まで子機に登録することができます。登録されたメロディは子機の着信音として使用できます。(子機で使用する場合は、メロディは単音になります。)
登録は1曲ずつ行います。

転送するジャンルを選ぶ

1

機能/確定  8 ヤ TUV 4 タ GHI

タノシイPOPS/アニメ
▲▼ デ゛センタク/カクテイ

親機の[機能]→[8.メロデ゛ィセッテイ]→[4.コキテンソウジ゛ャンル]を押す

子機に登録する

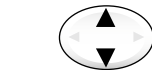
1

親機が待ち受け画面(☞7ページ)になっていることを確認する

2

子機の 機能/確定 を押す

3

 機能/確定

「メロデ゛ィヨミコミ」を選び、[機能/確定]を押す
●登録可能なメロディが表示されます。

7

機能/確定  **を押す**

●登録を終了します。
● 内線/クリア 保留(クリア)を押すと待ち受け画面に戻ります

8

登録したメロディを設定します

● 子機に登録したメロディを着信音として使用するには、着信音の設定をする必要があります。☞85ページ

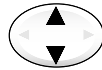
終了

メロディを消去する

1

機能/確定  **を押す**

2

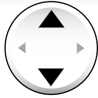
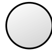
 機能/確定

「チャクシンオンセンタク」を選び、[機能/確定]を押す
●登録されているメロディが表示されます。



- 着信音として設定されているメロディが上書き(更新)されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書きされたメロディが着信音として設定されます。
- 着信音として設定されているメロディが消去されたときは、消去されたメロディの代わりに着信音「ベル」が設定されます。
- 親機から読み込んだメロディ以外の着信音は消去できません。
- 消去されたメロディなど、子機に登録されていないメロディは着信音の選択メニューには表示されません。
- 子機で「メロディヨミコミ」を行ったときに、「オヤキニチカヅイテクダサイ《ツウワケンガイ》」と表示された場合は、親機が待ち受け画面になっているか確認してください。

2

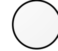



転送したい曲のジャンルを選び、[機能/確定]を押す

タノシイPOPS・アニメ／キセツ・イベント／ドウヨウ・ソノタ／イヤシノクラシック／ゲンキガデルクラシック

●ジャンルについて☞86ページ

3

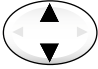


[停止]を押して、待ち受け画面（☞7ページ）にする

4

「子機に登録する」の手順にしたがって、子機にメロディを設定する

4




登録したいメロディを選び、[機能/確定]を押す

●選んだメロディが再生されます。

5



登録する場合は、メロディ再生中に[機能/確定]を押す

●登録しない場合は(切)を押します。

6

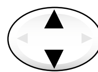
メロディデータが読み込まれます

● メロディデータの読み込みが終了すると、読み込んだメロディが再生されます。

メロデ゛ィヨミコミ
カクテイ？クリア？

●すでに4曲登録しているときは、上書きする曲名を選びます。

3



内線/クリア
保留

ショウキョ？
1.スル 2.シナイ
バ゛ンゴ゛ウニュウリョク

消去したいメロディを選び、[クリア]を押す

4

ア1

［1］を押す

終了

● 選んだメロディが消去されます。

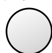
ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

受信のしかたを設定する

着信回数の設定

着信してから本機が応答するまでに鳴る着信回数を設定します。
- お買い上げ時は「在宅モード」８回、「留守モード」２回に設定されています。
- 着信回数を０回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ呼出音を鳴らすことができます。［無鳴動受信］（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも数回着信音が鳴ることがあります。）

1

機能/確定  2 カ ABC　1 ア

［機能/確定］→［2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］→［1.ﾁｬｸｼﾝ ｶｲｽｳ］を押す

ｻﾞｲﾀｸ ﾓｰﾄﾞ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

応答メッセージの設定

本機にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて自分の声で在宅応答メッセージ（1種類）と留守応答メッセージ（2種類）を録音（20秒まで）することができます。

1

機能/確定  7 マ PQRS　1 ア

［機能/確定］→［7.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘｰ ｾｯﾃｲ］→［1.ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ］を押す

ﾙｽ ｵｳﾄｳ1
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

録音する

メッセージを録音するとき

(ｵｳﾄｳ ﾛｸｵﾝ)

「応答メッセージの設定」の1～3の操作を行います

4



スタート 

受話器をとり、［スタート］を押してメッセージを録音する

消去する

メッセージを消去するとき

(ｵｳﾄｳ ｼｮｳｷｮ)

「応答メッセージの設定」の1～3の操作を行います

ｵｳﾄｳ ｼｮｳｷｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

4

1 ア

［1.ｽﾙ］を押す
- メッセージが消去されます。

再生する

メッセージを再生するとき

(ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ)

「応答メッセージの設定」の1～3の操作を行います

4



- メッセージが再生されます。

ﾙｽ ｵｳﾄｳ1
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

- 上の画面に戻ります。

2

機能/確定

「ｻﾞｲﾀｸ ﾓｰﾄﾞ」、「ﾙｽ ﾓｰﾄﾞ」のいずれかを選択し、［機能/確定］を押す

ｻﾞｲﾀｸ ﾓｰﾄﾞ／ﾙｽ ﾓｰﾄﾞ

在宅モードのとき

3

機能/確定

在宅モードの着信回数を選び、［機能/確定］を押す

00～15／ﾑｾｲｹﾞﾝ

4

停止

を押す

終了

留守モードのとき

3

機能/確定

留守モードの着信回数を選び、［機能/確定］を押す

00～07／ﾄｰﾙ ｾｰﾊﾞｰ-ON

4

停止

を押す

終了

● 「トールセーバーについて」
(☞21ページ)

2

機能/確定

応答メッセージの種類を選び、［機能/確定］を押す

ﾙｽ ｵｳﾄｳ1／ﾙｽ ｵｳﾄｳ2／ｻﾞｲﾀｸ ｵｳﾄｳ

3

機能/確定

設定を選び、［機能/確定］を押す

ｵｳﾄｳ ﾛｸｵﾝ／ｵｳﾄｳ ｼｮｳｷｮ／ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ

5

終了したら受話器を戻す

● 録音内容が自動的に再生されます。

ﾙｽ ｵｳﾄｳ1
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

● 上の画面に戻ります。

6

停止

を押す

終了

ｵｳﾄｳ ﾛｸｵﾝ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

● 上の画面に戻ります。

5

停止

を押す

終了

5

停止

を押す

終了

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

留守応答メッセージの選択

自分の声で留守応答メッセージを録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1


を押す

● 留守ボタンが点灯しているときは、留守を押し、ボタンを消灯させてから再度留守を押してください。

2 メッセージ再生中に

1 または 3 を押す

● 留守応答メッセージを選びます。

(ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ／ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ1／ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ2)

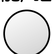
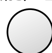
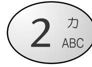
在宅応答メッセージの切替え

在宅モードのときの応答のしかたを選択します。

●お買い上げ時は、「メッセージ」に設定されています。

1

機能/確定


ｻﾞｲﾀｸｵｳﾄｳ:ﾒｯｾｰｼﾞ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

[機能]→[2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ]→[5.ｻﾞｲﾀｸｵｳﾄｳ ｷﾘｶｴ]を押す

メッセージの録音時間の設定

留守モード時や通話を録音するとき、1回あたりの録音時間を設定します。

●1回の最大録音時間は約3分、総録音時間は約30分です。

1

機能/確定




ﾛｸｵﾝ 60 ﾋﾞｮｳ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

[機能/確定] → [7.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘｰ ｾｯﾃｲ] → [2.ﾛｸｵﾝ ｼﾞｶﾝ] を押す

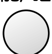
留守録モニターの設定

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く(モニターする)かどうかを設定できます。

●お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1

機能/確定





ﾙｽﾛｸ ﾓﾆﾀｰ:ON
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

[機能/確定] → [7.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘｰ ｾｯﾃｲ] → [3.ﾙｽﾛｸ ﾓﾆﾀｰ] を押す

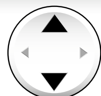


● 「メッセージ」を選択して、本機が自動的に電話を受けたとき、応答メッセージを設定していない場合は、本機に設定されている固定応答メッセージが再生されます。
● 「ベル」に設定された状態で在宅応答メッセージを録音すると、在宅応答メッセージは自動的に「ベル」から「メッセージ」に変更されます。(リモコンアクセスで操作した場合も変更されます。)

ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ：あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ1：自分で録音した留守応答メッセージ1
ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ2：自分で録音した留守応答メッセージ2
● メッセージ再生したあと、そのメッセージで留守モードにセットされます。
● メッセージ再生中に機能/確定（機能/確定）を押すと、そのメッセージで留守モードにセットされます。
● メッセージ再生中に停止（停止）を押すと、再生を中止し、前回選択したメッセージで留守モードにセットされます。

終了

2



在宅時の応答のしかたを選ぶ

ﾒｯｾｰｼﾞ／ﾍﾞﾙ

● 「メッセージ」
本機が電話を受けたとき、設定した在宅応答メッセージを再生します。
● 「ベル」
本機が電話を受けたとき、「トゥルー、トゥルー」という音を鳴らします。

3

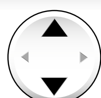
機能/確定



を押す

終了

2



録音時間を選ぶ

30／60／120／180ﾋﾞｮｳ

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

3

機能/確定



を押す

4

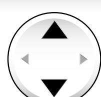
停止



を押す

終了

2



留守録モニターを設定する

ON／OFF

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

3

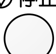
機能/確定



を押す

4

停止



を押す

● 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
（☞20ページ）

終了

モーニングメロディを設定する

モーニングメロディ

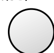
親機で、毎日決まった時刻に指定したメロディを鳴らします。

- お買い上げ時は［OFF］に設定されています。
- モーニングメロディは親機で設定・使用します。（子機では設定・使用できません。）

設定する

1

機能/確定





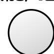


ｾｯﾃｲ:OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［8.ﾒﾛﾃﾞｨｾｯﾃｲ］→［3.ﾓｰﾆﾝｸﾞﾒﾛﾃﾞｨ］を押す

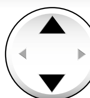
5

機能/確定



を押す

6



機能/確定

ジャンルを選び、［機能/確定］を押す

ﾍﾞﾙ／ﾀﾉｼｲPOPS･ｱﾆﾒ／ｷｾﾂ･ｲﾍﾞﾝﾄ／ﾄﾞｳﾖｳ･ｿﾉﾀ／ｲﾔｼﾉｸﾗｼｯｸ／ｹﾞﾝｷｶﾞﾃﾞﾙｸﾗｼｯｸ

10

停止



を押す

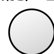
終了

- ⏰が点灯します。

解除する

1

機能/確定







ｾｯﾃｲ:ON
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［8.ﾒﾛﾃﾞｨｾｯﾃｲ］→［3.ﾓｰﾆﾝｸﾞﾒﾛﾃﾞｨ］を押す

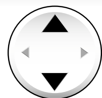


- 指定した時刻になるとメロディが3分間鳴ります。途中でやめるときは（停止）を押します。
- モーニングメロディの指定時刻に電話、通信、設定などをしているときは操作が終了してからメロディが鳴ります。
- 電源コードを抜いたり停電になったあと数時間経過すると、モーニングメロディの設定は「OFF」になります。もう一度設定し直してください。
- 選択できるメロディ（☞86ページ）



- モーニングメロディは、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）

2

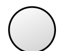


「ON」を選ぶ

OFF／ON

3

機能/確定



を押す

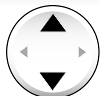
4



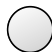
メロディを鳴らす時刻を指定する

● 時間は24時間制で入力します。

7



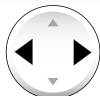
機能/確定



メロディを選び、［機能/確定］を押す

ﾍﾞﾙ1／ﾒﾛﾃﾞｨ1〜50（曲名）

8



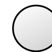
モーニングメロディの音量を選ぶ

● 音量は4段階の調整ができます。

ｼｮｳ■■ ﾀﾞｲ
←→ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

9

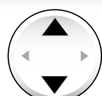
機能/確定



を押す

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

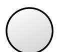
2



「OFF」を選ぶ

3

機能/確定



を押す

● 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。
● ⏰が消灯します。

4

停止



を押す

終了

レポート、リストを印刷する

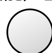
送受信の結果や設定の内容などを印刷して確認できます。

送信レポート

送信結果を印刷します。
● お買い上げ時は「エラーノミ」に設定されています。

1

機能/確定







ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ:OFF
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

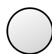
［機能/確定］→［6.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ］→［1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ］を押す

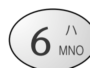
通信管理レポート

最近送受信した30件分の通信結果を印刷します。

1

機能/確定







ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾘｽﾄ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［6.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ］→［2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ］を押す

出力間隔を設定するとき

（ｼｭﾂﾘｮｸ ｶﾝｶｸ）

ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

3

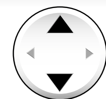


通信管理レポートの出力間隔を選び、［機能/確定］を押す

一週間ごとに印刷するとき

（7ｶｺﾞﾄ）

4



曜日を選び、［機能/確定］を押す

それ以外の設定のとき

（6／12／24ｼﾞｶﾝｺﾞﾄ、2／4ｶｺﾞﾄ）

4



開始時間を指定する

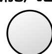
● 時間は24時間制で入力します。

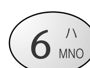
電話帳リスト

電話帳に登録された内容を印刷します。

1

機能/確定







［機能/確定］→［6.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ］→［3.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ］を押す

2



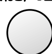
記録紙をセットする

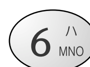
設定内容リスト

現在設定されている内容を印刷します。

1

機能/確定







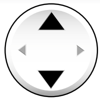
［機能/確定］→［6.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ］→［4.ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ﾘｽﾄ］を押す

2



記録紙をセットする

2



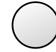
送信レポートの設定する

ON／エラーノミ／OFF

- 「ON」
  常に結果レポートを印刷します。
- 「OFF」
  結果レポートを印刷しません。
- 「エラーノミ」
  送信エラーがあるときだけ結果レポートを印刷します。

3

機能/確定

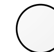


を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

4

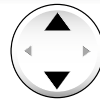
停止



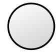
を押す

終了

2



機能/確定



通信管理レポートをすぐに印刷するか、出力間隔を設定するか選び、［機能/確定］を押す

ﾌﾟﾘﾝﾄﾘｽﾄ／ｼｭﾂﾘｮｸ ｶﾝｶｸ

6／12／24ｼﾞｶﾝｺﾞﾄ、
2／4／7ｶｺﾞﾄ､ｼﾃｲ

すぐに印刷するとき

（ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾘｽﾄ）

3



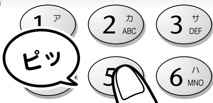
スタート



記録紙をセットし、［スタート］を押す

終了

5

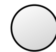


開始時間を指定する

- 時間は24時間制で入力します。

6

機能/確定

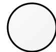


を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

7

停止

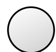


を押す

終了

5

機能/確定



を押す

- 「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

6

停止



を押す

終了

3

スタート



を押す

終了

3

スタート



を押す

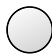
終了

メモリー使用状況リスト

本体のメモリー使用状況を印刷します。

1

機能/確定



6 ハ MNO　5 ナ JKL

［機能/確定］→［6.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ］→［5.ﾒﾓﾘｰｼﾖｳｼﾞｮｳｷｮｳ］を押す

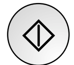
2



記録紙をセットする

3

スタート



を押す

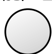
終了

消耗品オーダーシート

リボンカードリッジなどの消耗品をFAXでご注文いただくためのオーダーシート（☞131ページ）を印刷します。

1

機能/確定



6 ハ MNO　6 ハ MNO

［機能/確定］→［6.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ］→［6.ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｼｰﾄ］を押す

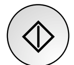
2



記録紙をセットする

3

スタート



を押す

終了

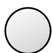
一括送信レポート

一括送信したときの結果レポートを、どのように印刷するか設定します。

● お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1

機能/確定

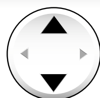


6 ハ MNO　7 マ PQRS

ｲｯｶﾂ ﾚﾎﾟｰﾄ:ON
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｶｸﾃｲ

［機能/確定］→［6.ﾘｽﾄｼｭﾂﾘｮｸ］→［7.ｲｯｶﾂｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ］を押す

2



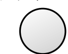
出力のしかたを選ぶ

ON／ｴﾗｰﾉﾐ

● 「ON」常に結果レポートを印刷します。
● 「エラーノミ」通信エラーがあるときだけレポートを印刷します。

3

機能/確定



を押す

終了

機能案内リスト

機能の解説や、文字入力表を印刷します。

1



記録紙をセットする

2

機能/確定



スタート



［機能/確定］を押し、2秒以内に［スタート］を押す

終了

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイの明るさを設定

ディスプレイの明るさを設定します。(子機のみ)

● 7段階の設定ができます。

子機

1

機能/確定



を押す

[メニュー]▼▲
■デ゛ンワチョウトウロク
デ゛ンワチョウヘンコウ

2



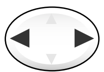
機能/確定



「ガ゛メンノアカルサ」を選び、
［機能/確定］を押す

＜アカルサチョウセイ＞
4
← →デ゛チョウセイ

3



機能/確定



明るさを設定し
［機能/確定］を押す

4

ガ゛メンノ アカルサ
セッテイ シマシタ

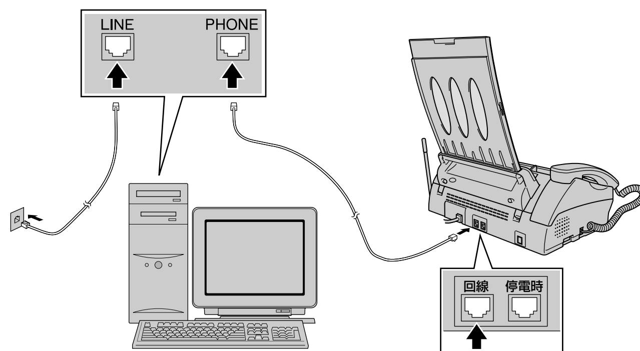
終了

● ディスプレイの明るさが設定されます。

●パソコンと接続する場合は

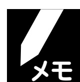
■ 一般回線で PC モデムを使う場合、PHONE 端子を使う場合

パソコン本体に「PHONE 端子」がある場合は、一つの電話回線でパソコンと本機を下記のように接続していただくことができます。ただし、1 本の電話回線を利用していますので、同時に両方で電話回線をご利用いただくことはできません。





1 本の電話回線に複数台の電話機を接続（並列接続）すると、ナンバーディスプレイサービスやダイヤルインサービスなどに不具合が発生し、誤作動の原因となりますのでおやめください。（☞10 ページ）

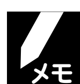


パソコン本体に「PHONE 端子」がない場合は、市販の自動切換機などをご利用ください。

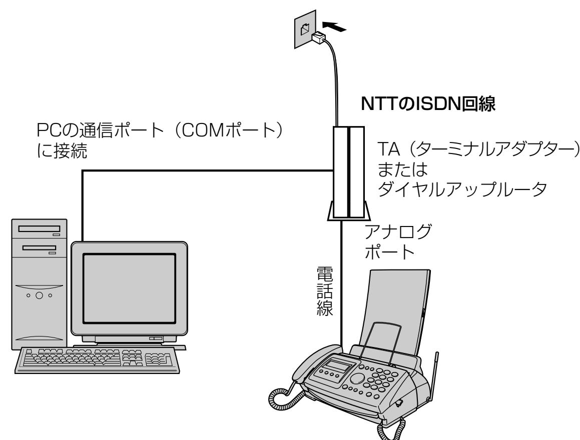
■ ISDN 回線をご利用の場合

本機を ISDN 回線の TA（ターミナルアダプター）またはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

・本機：回線種別を「PB」に設定する
·TA： 本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する



- 本機が使用できないときは、「故障かな？と思ったら」を参照ください。また、TA の設定を確認してください。TA の設定の詳細は、TA の取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。
- ナンバーディスプレイサービスを契約されている場合は、TA のデータ設定と本機の設定（☞71 ページ）が必要です。
- 本機のダイヤルイン機能を利用するには、「ダイヤルインサービス」または、「i・ナンバーサービス」の契約と、アナログポートへ着信番号データを送出することができる TA が必要です。

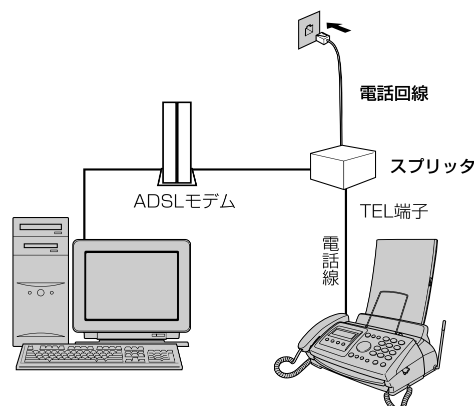


■ ADSL 回線をご利用の場合

本機を ADSL 回線のスプリッタに接続するときは、スプリッタの TEL 端子に接続してください。



本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると並列接続となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。



ドアホンを使う

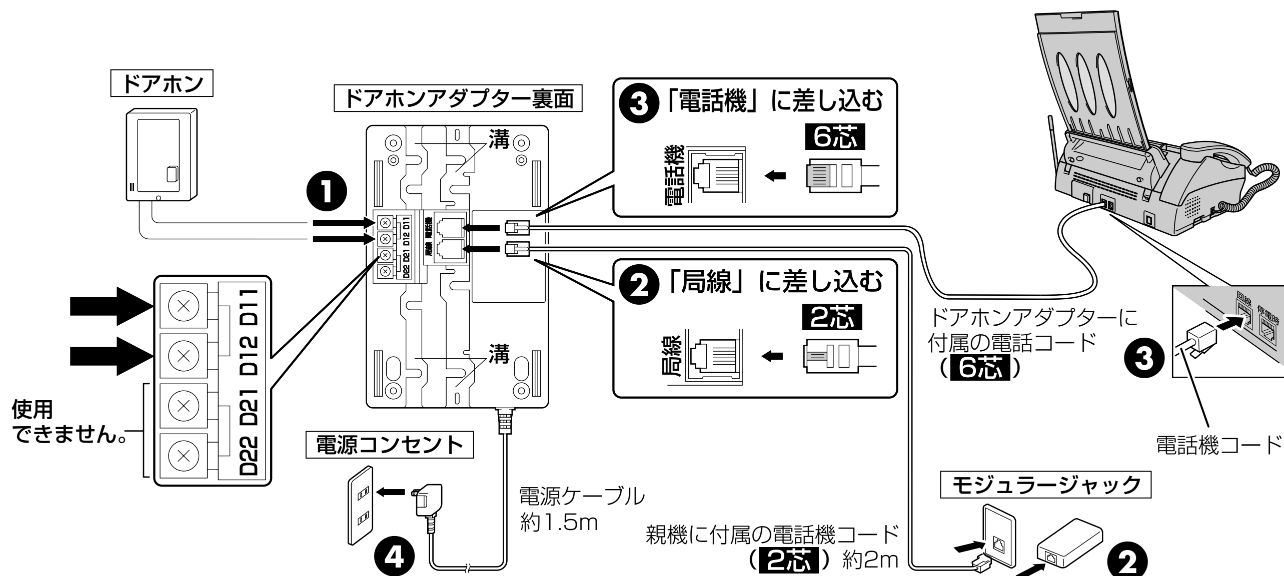
本機と別売りのドアホン（1台）を接続すると、ドアホンからの呼出に本機で応答できます。



- ドアホンの接続と使用については必ず次の説明にしたがってください。
- ドアホンの接続や使用についてのお問い合わせは、「お客様相談窓口 0120-161170」へお申し付けください。
- ホームテレホンに直接接続されているドアホンには対応できません。

● ドアホンを接続する

ドアホンアダプター（松下通信工業製 [VE-DA10-H]）を使用して接続します。



1 ドアホンの準備をする

① ドアホンアダプターの裏面のテープをはがし、壁掛け金具を外す
② ドアホン側の接続コードをドアホンアダプターに接続する

2 ドアホンアダプターとモジュラジャックを接続する

本機に付属している電話機コード（2芯）をドアホンアダプターに接続し、もう一端を、電話回線のモジュラージャックに接続する

3 ドアホンアダプターと本機を接続する

ドアホンアダプターに付属している電話機コード（6芯）をドアホンアダプターに接続し、電話機コードのもう一端を、本機の回線接続端子に接続する

4 接続を確認する

① ドアホンアダプターを電源コンセントに接続する
② ドアホンの呼出ボタンを押し、本機の呼出音が鳴ることを確認する

5 ドアホンを設置する

コード類をドアホンアダプター裏面の溝に沿って押し込み、柱や壁などに取り付ける

➡ ドアホンアダプター取扱説明書をお読みください。



- 必ず電話機コードを接続してから、電源コンセントに接続してください。
- ノイズを防止するため、次のことをお守りください。
  - ・電話機コードを平行配線しないでください。
  - ・ドアホンアダプター本体と電源ケーブルを、できるだけ本機から離してください。特に本機のアンテナと電源ケーブルは離してください。

■ 適合ドアホン一覧



- 製品についての詳細は、各製造メーカーにお問い合わせください。
- 下記のドアホン以外はご使用になれません。

メーカー名	適合ドアホン機種名	適合テレビドアホン機種名
松下通信工業（株）AVシステム事業部	VL-568KA-T VL-568KA-H VL-568U VL-V550-T VL-V551-K	ソリエ　2:1タイプ(カラーモニター親機･カラーカメラ玄関子機各1台) VL-V161X-T（AC直結式） VL-V161KP-T（ACコード式） ソリエ　1:1タイプ(カラーモニター親機･カラーカメラ玄関子機各1台) VL-V160X-T（AC直結式） VL-V160KP-T（ACコード式）
松下寿電子工業（株）	――――	カラーDe見え太(ハンズフリー)･単局タイプ(モニター･ドアカメラ各1台) HA-S60BK-T（電源コード付） HA-S60B-T（電源コードなし） カラーDe見え太(ハンズフリー)･多局タイプ(モニター･ドアカメラ各1台) HA-S70BK-T 見え太（ハンズフリー）･単局タイプ（モニター・ドアカメラ各1台） HA-S103BK-T HA-S103B-T 見え太（ハンズフリー）･多局タイプ（モニター・ドアカメラ各1台） HA-S201BK-T（電源コード付）

● ドアホンに応答する

ドアホンが押されると、本機のドアホン呼出音が鳴ります。本機の受話器を取れば、ドアホンに応答できます。

●親機の場合

ドアホン呼出音が鳴り、ディスプレイに「ﾄﾞｱﾎﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ﾁｭｳ」と表示されます。

●子機の場合

ドアホン呼出音が鳴り、ディスプレイに「ﾄﾞｱﾎﾝ」と表示されます。



- ドアホン呼出音は、ドアホンが押されている間は鳴り続けます。
- ドアホン呼出音は、着信音量が「OFF」に設定してあるときでも鳴ります。
- 親機、子機ともに、スピーカーホンでは受けられません。
- ハンズフリー着信はできません。

■ ドアホンに応答しているときは

ドアホンに応答しているときに着信や内線呼出があったとき、または外線通話中や内線通話中にドアホン呼出があったときは、次のようになります。

	外線からの着信があったときは	内線呼出があったときは
ドアホン呼出中に	外線からの着信が優先されます。	— (ドアホン呼出中は内線呼出はできません。)
ドアホンとの通話中に	親機で通話中のときは受話器を戻してドアホン通話を切り、再度、受話器をとると、外線を受けることができます。 子機で通話中のときは (外線) を押してドアホン通話を切り、再度、(外線) を押すと、外線を受けることができます。	ドアホン通話が優先されます。 内線の呼出音は鳴りません。

	親機	子機
外線呼出中にドアホン呼出があったときは	外線呼出が優先されます。	
内線呼出中にドアホン呼出があったときは	ドアホン呼出が優先されます。	
外線通話中、ファクス通信中にドアホン呼出があったときは	通常の呼出音とは違う鳴りかたで、親機からドアホン呼出音が鳴ります。 ただし、外線通話やファクス通信を終了するまで、ドアホンとは通話できません。	通常のドアホンとは違う鳴りかたでドアホン呼出音が鳴ります。ただし、外線通話が終了するまで、ドアホンとは通話できません。
内線通話中にドアホン呼出があったときは	内線通話のまま、通常の呼出音とは違う鳴りかたで、ドアホン呼出音が鳴ります。ただし、内線通話が終了するまで、ドアホンとは通話できません。	内線通話が優先されます。 ドアホンの呼出音は鳴りません。

第7章



こんなときは

子機のバッテリーを交換する

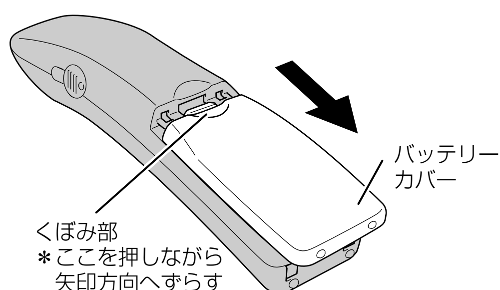
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約 1 年です。
交換バッテリー（型名：BCL-BT）は、本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。



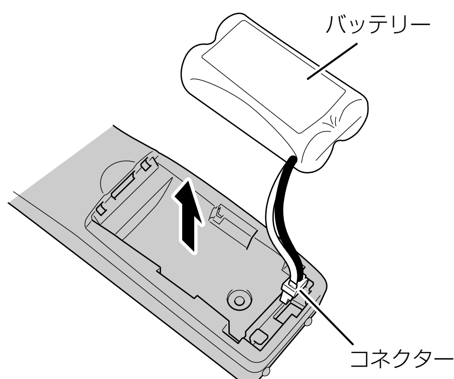
- **バッテリーを覆っている保護フィルムをはがさないでください。**

1 バッテリーカバーを開ける

➡バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリーカバーの後端部を持ち上げ、バッテリーカバーを外します。

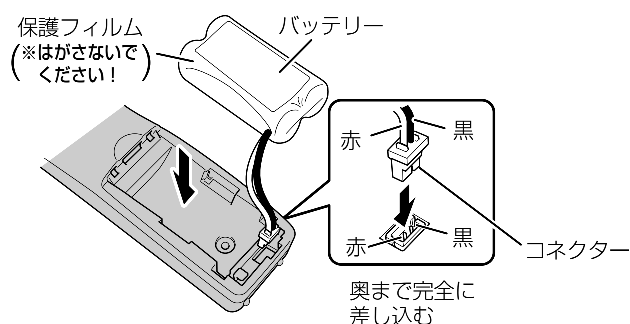


2 バッテリーを取り出し、コネクターを上へ引き抜く

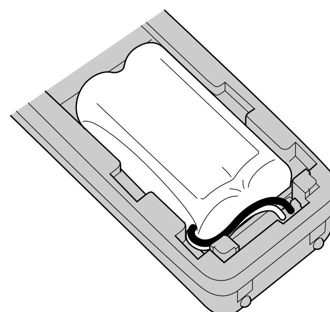


3 新しいバッテリーコネクターを差し込む

➡コネクタは下図の向きに差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

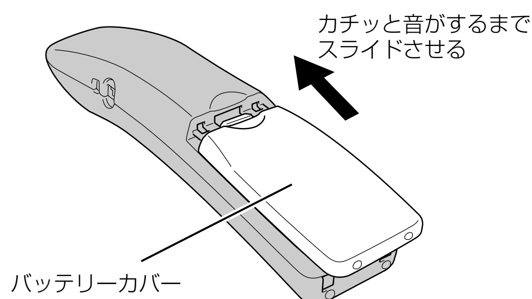


4 バッテリーを子機に入れる



5 バッテリーカバーを閉める

➡バッテリーのコードを押し込み、カバーを閉めます。バッテリーコードをはさまないように注意してください。





- **バッテリーを交換したら必ず 15 時間以上充電してください。**
- バッテリーには充電式ニカド電池を使用しています。不要になったニカド電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
  - ・被覆ははがさないでリサイクル箱へ
  - ・分解しないでリサイクル箱へ



ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

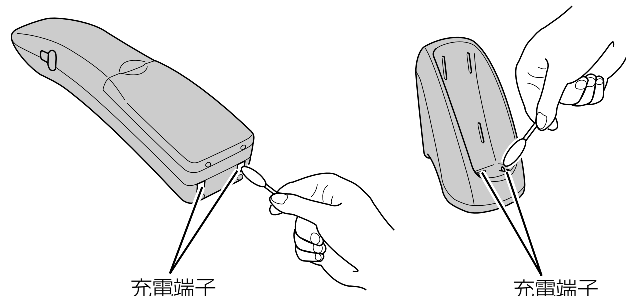
お手入れのしかた

● 本機を清掃する

●本体は乾いた布で軽く拭いてください。



● 充電端子は定期的に綿棒などで清掃してください。
子機の充電端子が汚れていると、充電できなかったり、勝手に使用中の状態になったりすることがあります。
充電端子の汚れは、必ず拭き取ってください。



● 原稿読取部を清掃する

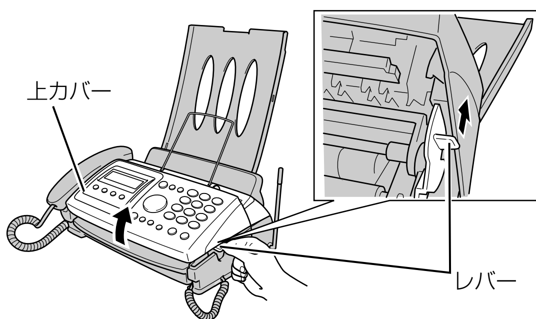
読取部が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに読取部を清掃してください。



ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールを使用をしたり、アルコールを染み込ませた布で拭いたりしないでください。

1 記録紙を取り除き、上カバーを開ける

➡記録紙を取り除き、右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

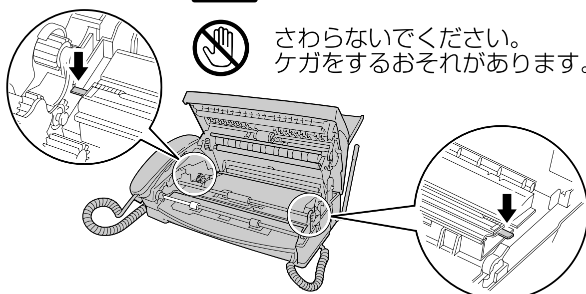


⚠ 警告



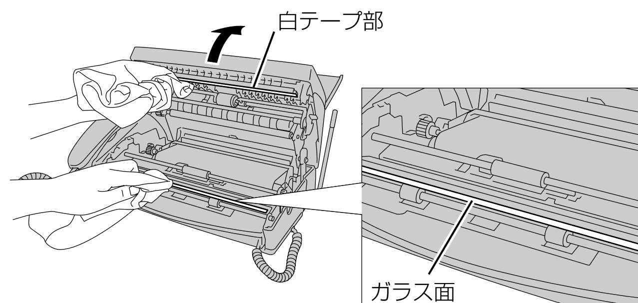


さわらないでください。
ケガをするおそれがあります。



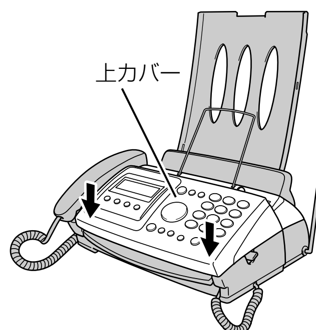
2 白テープ部とガラス面を拭く

➡水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。



3 上カバーを閉める

➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。
➡正しく閉められると、ディスプレイに「ﾘﾎﾞﾝｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ？ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」と表示されます。



4 (2 ABC) を押す

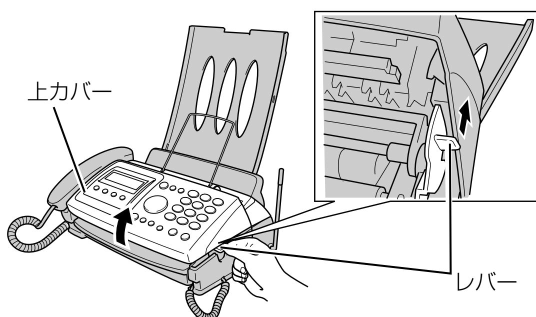
5 記録紙をセットし直す

●記録部を清掃する

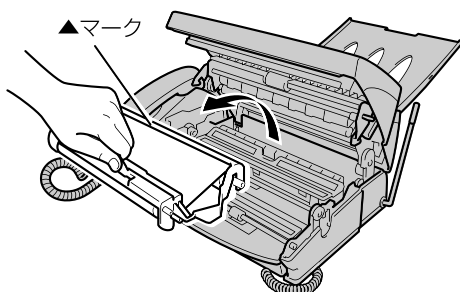
記録部が汚れていると、本機から出力された用紙に縦縞が入ることがあります。きれいな画質を保つために、こまめに記録部を清掃してください。

1 記録紙を取り除き、上カバーを開ける

➡記録紙を取り除き、右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。



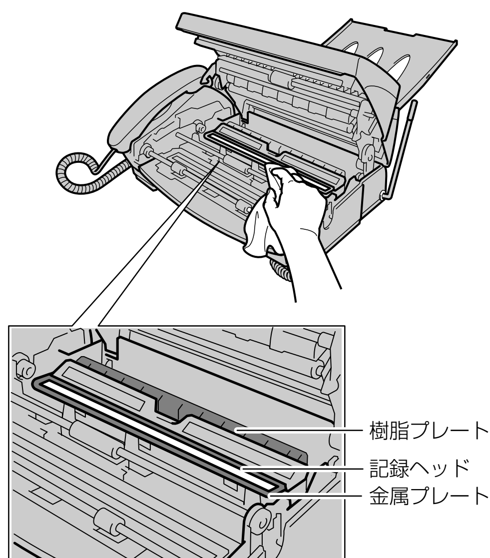
2 リボンカートリッジを取り外す



3 記録ヘッドと金属プレートまたは樹脂プレートを拭く

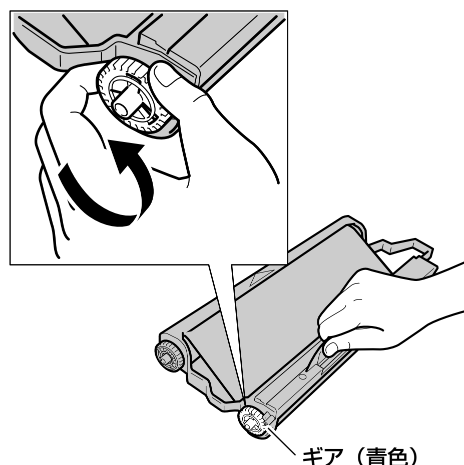
➡アルコールなどを浸した柔らかい布で拭きます。

➡無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなどを使用してください。

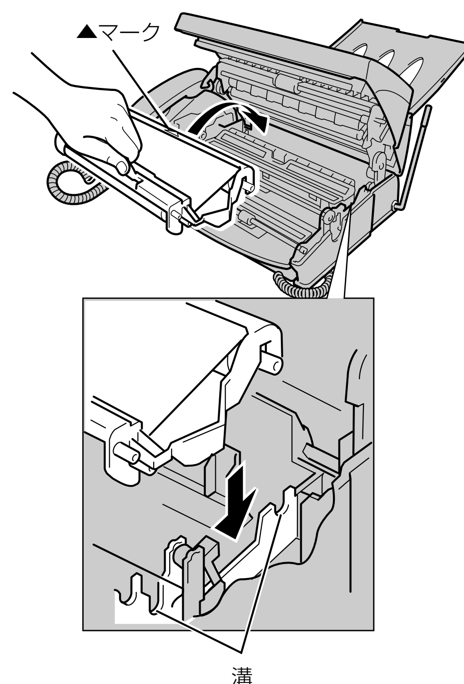


4 リボンのたるみを取る

➡青色のギアを矢印方向にゆっくり回してたるみをとります。



5 リボンカートリッジを本体にセットする



6 上カバーを閉める

➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。

➡正しく閉められると、ディスプレイに「ﾘﾎﾞﾝｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ？ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」と表示されます。

7 (2 カ ABC) を押す

8 記録紙をセットし直す

紙がつまったら

原稿や記録紙がつまると、ブザーが鳴ってディスプレイに次のメッセージが表示されます。

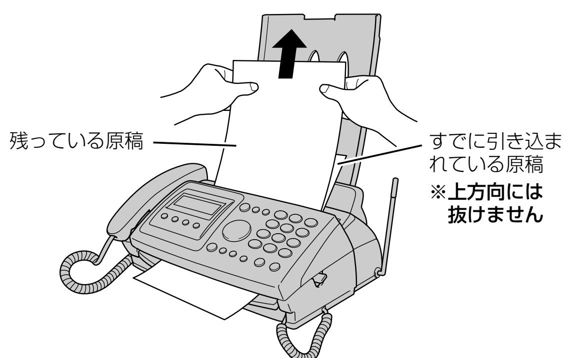
·原稿がつまったとき・・・・「ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄｯﾃｸﾀﾞｻｲ」⇔「ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ﾃｲｼｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」
「ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ」⇔「ｹﾞﾝｺｳｦ ﾃﾏｴﾆﾋｷﾀﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ」

·記録紙がつまったとき・・・「ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ」⇔「ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｷﾛｸｼｦ ﾄｯﾃｸﾀﾞｻｲ」

● 原稿がつまったときは

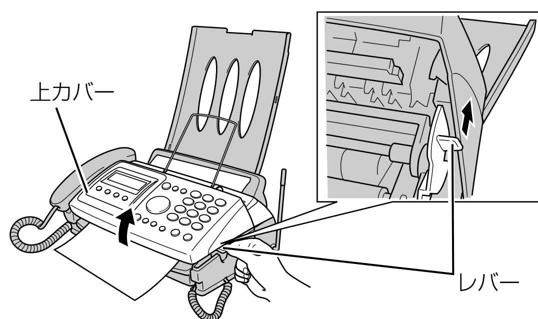
1 残っている原稿を取る

➡すでに引き込まれている原稿は、無理に抜かないでください。(**上方向には抜けません。**)

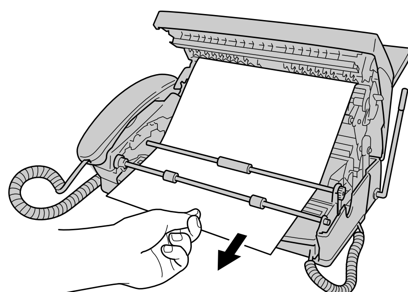


2 上カバーを開ける

➡右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。



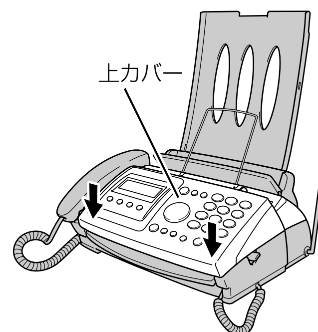
3 つまっている原稿を手前に引いて取り除く



4 上カバーを閉める

➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。

➡正しく閉められると、ディスプレイに「ﾘﾎﾞﾝｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ？ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」と表示されます。

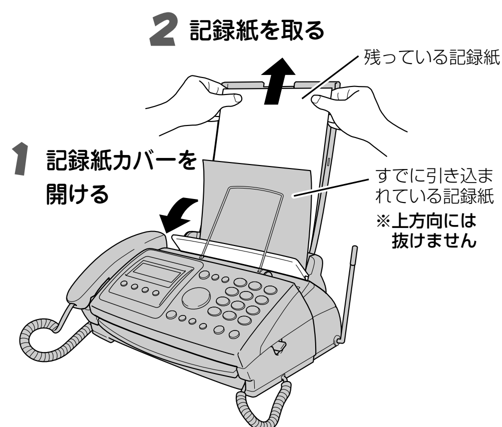


5 (2 カ ABC) を押す

●記録紙がつまったときは

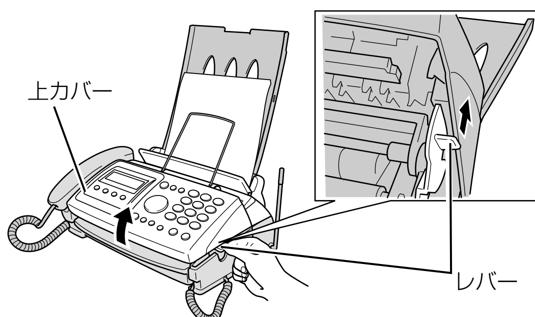
1 記録紙カバーを開け、残っている記録紙を取る

➡すでに引き込まれている記録紙は、無理に抜かないでください。（**上方向には抜けません。**）



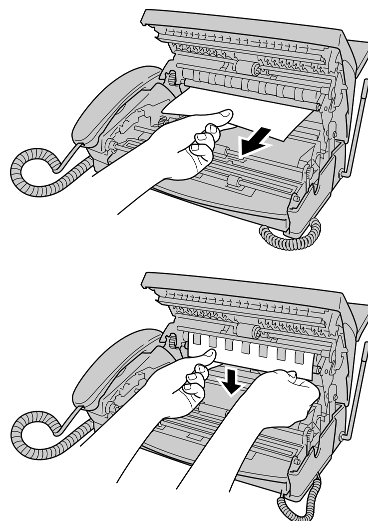
2 上カバーを開ける

➡右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。



3 つまった記録紙を矢印の方向に引いて取り除く

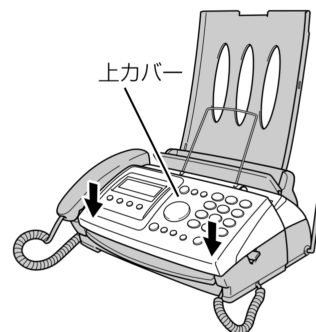
➡カバー内に破れた紙などが残っていないことを確認してください。



4 上カバーを閉める

➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。

➡正しく閉められると、ディスプレイに「ﾘﾎﾞﾝｦｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ？ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」と表示されます。



5 (2 カ ABC) を押す

6 記録紙をセットし直し、記録紙カバーを閉じる

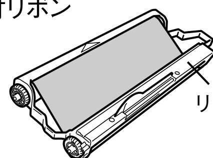


リボンが少なくなったら

リボンが完全になくなると、ディスプレイに「ﾘﾎﾞﾝｶｸﾆﾝ/ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されますので、すみやかにリボン、またはリボンカートリッジを交換してください。「詰め替え用リボン」、または「カセット付きリボン」では、約144枚の印刷が可能です。（消耗品などのご注文について☞130ページ）

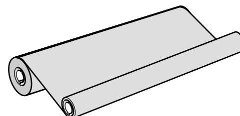
〈リボン交換用当社指定品〉

カセット付リボン

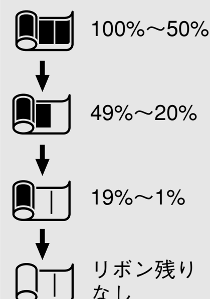


※「カセット付リボン」はリボンカートリッジごと交換します。

詰め替え用リボン



リボン残量表示





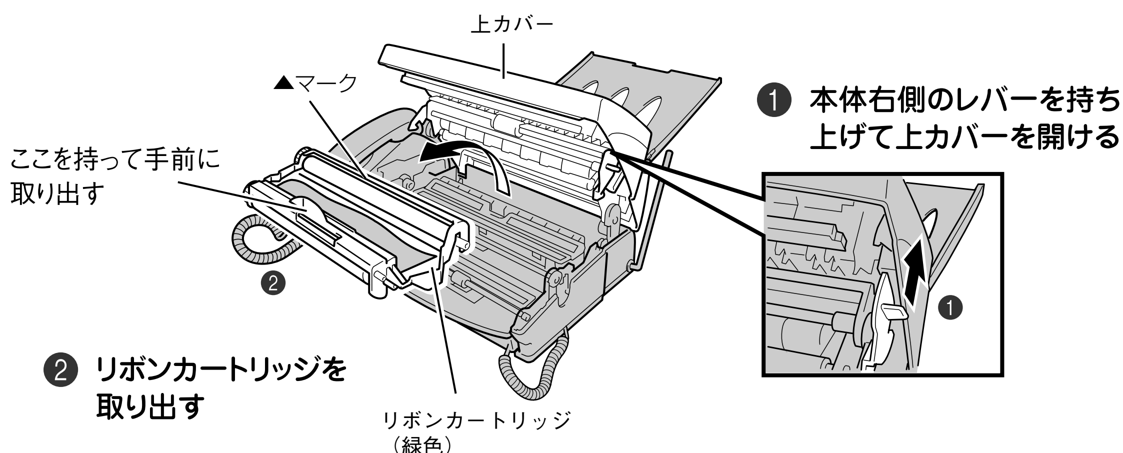
「詰め替え用リボン」、または「カセット付きリボン」は当社指定品をお使いください。（☞131ページ）
当社指定以外のインクリボンをお使いいただくと、故障の原因になります。



- お買い上げ時には、約30枚分印刷できる「お試し用インクリボン」がセットされており、そのリボンに応じたリボン残量がセットされています。
- リボンを交換したら、必ずリボンカウンタをリセットしてください。リセットしないと、誤った残量や警告が表示されることがあります。
- カバー開閉などの使用状況によって、リボン残量が少なくなることがあります。
- リボンが切れても、A4サイズの原稿で約60枚分までは本体のメモリーにファクスメッセージを記憶できます。

リボンカートリッジを交換する

1 上カバーを開けて、リボンカートリッジ（緑色）を取り出す



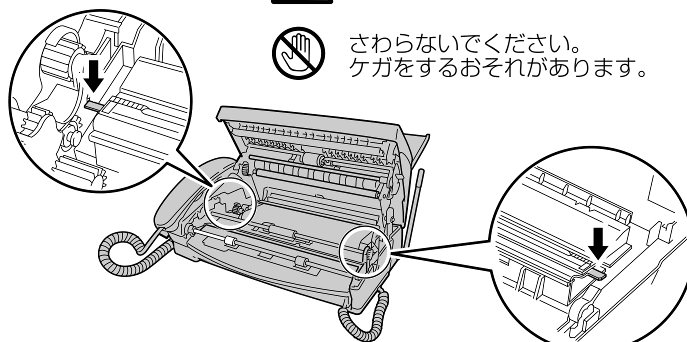
❶ **本体右側のレバーを持ち上げて上カバーを開ける**

❷ **リボンカートリッジを取り出す**





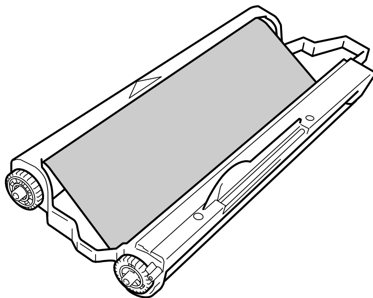
さわらないでください。
ケガをするおそれがあります。



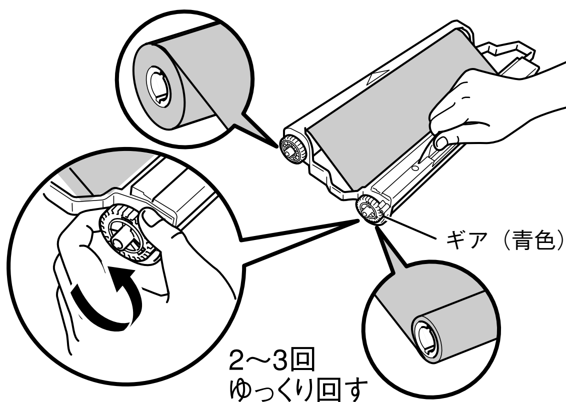
ご使用の前に / 電話 / ファクス / コピー / オプションサービス / 活用する / こんなときには / 付録

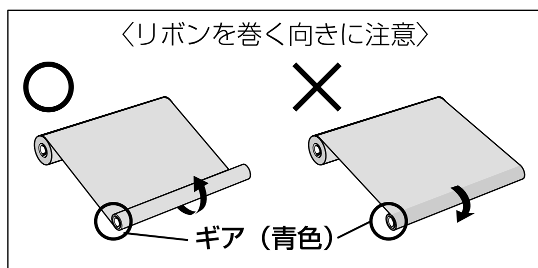
2 新しいリボンカートリッジを準備する

➡リボンカートリッジの向きを確認してください。



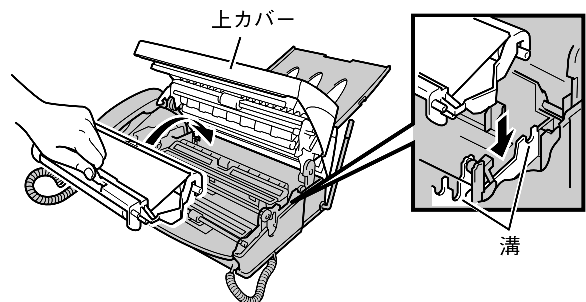
3 ギア（青色）を矢印の向きに2～3回まわして、リボンのたるみを取る



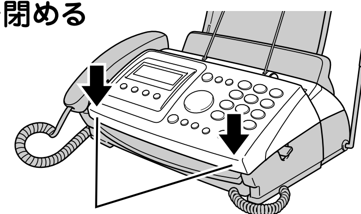


4 リボンカートリッジを本体にセットする

❶ リボンカートリッジのギアを本体の溝に置く



❷ 上カバーを閉める



5 リボンカウンタをリセットする

➡上カバーを閉じると、ディスプレイに「ﾘﾎﾞﾝｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」と表示されます。

❶ 1分以内に（1）を押す

「1.ｹｯﾃｲ 2.ｷｬﾝｾﾙ」と表示されます。

補足

1分以内にボタンが押されないときは、カウンタはリセットされません。

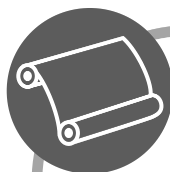
❷ 1分以内に（1）を押す

補足

「ﾘﾎﾞﾝ ﾉｺﾘ ﾔｸ 100%」と表示され、設定が終了します。

メモ

● カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「ﾘﾎﾞﾝｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」と表示されますが、リボンを交換しなかったときは（2）を押してください。（1）を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

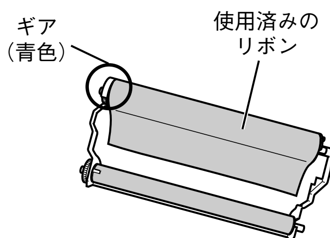


リボンを交換する

リボンのみを交換するときは、リボンカートリッジを取り出し（☞109ページ）、下記の手順で「詰め替え用リボン」と交換します。

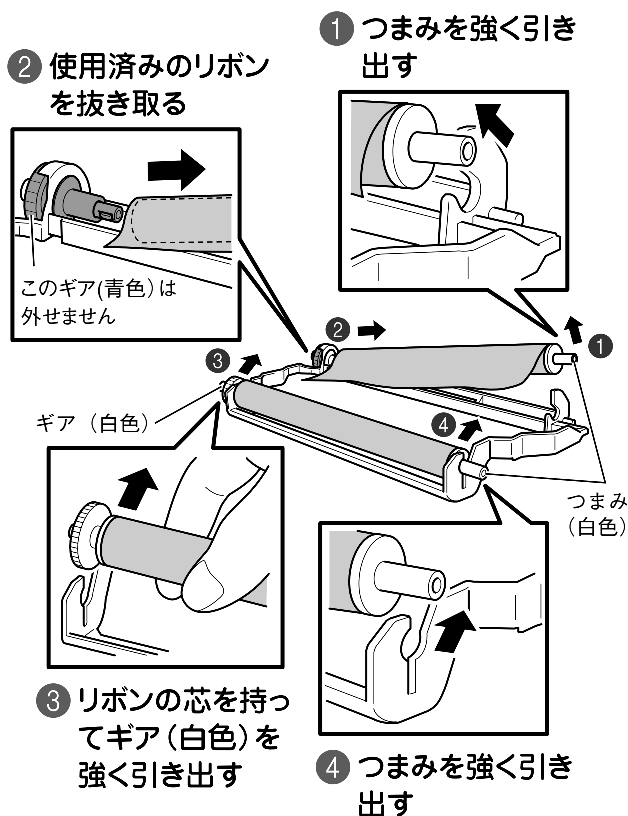
1 使用済のリボンカートリッジを準備する

➡ リボンカートリッジの向きを確認してください。



2 使用済みのリボンを取り外す

➡ 109ページの手順1と同様にリボンカートリッジを本体から取り外してください。



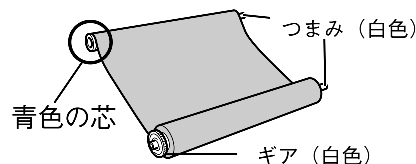


使用済みリボンの取扱いについて

- ご使用の済みのリボンには印刷した内容が白く残ります。
  廃棄の際には、リボンをはさみで切るなどして、印刷した内容の保護にご注意ください。
- ご使用済みのリボンは市町村分別基準に基づいて廃棄してください。リボンの芯は紙、青色の芯はプラスチック（ABS）、フィルムはポリエチレンテレフタレート（PET）フィルム、つまみ・ギア（白色）はプラスチック（ポリアセタール）などでできています。

3 新しいリボンを準備する

➡ 青色の芯の位置を確認してください。

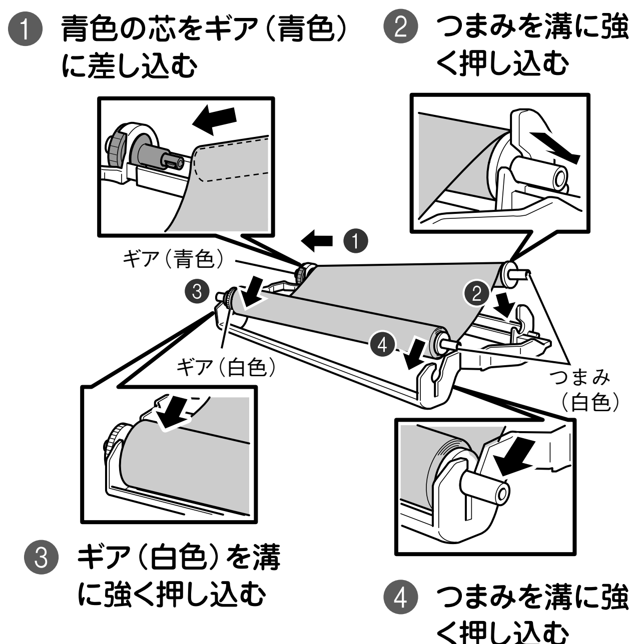




補足

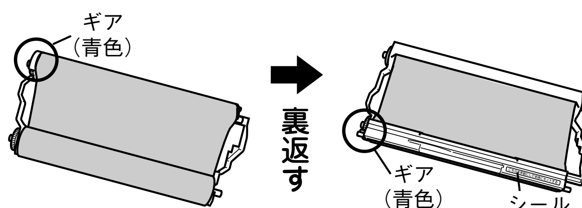
新しいリボンを止めてあった輪ゴムは取り外しておきます。

4 新しいリボンを取り付ける



5 リボンカートリッジを裏返す

➡ リボンカートリッジをセットする向きに戻します。



6 リボンカートリッジを本体にセットする

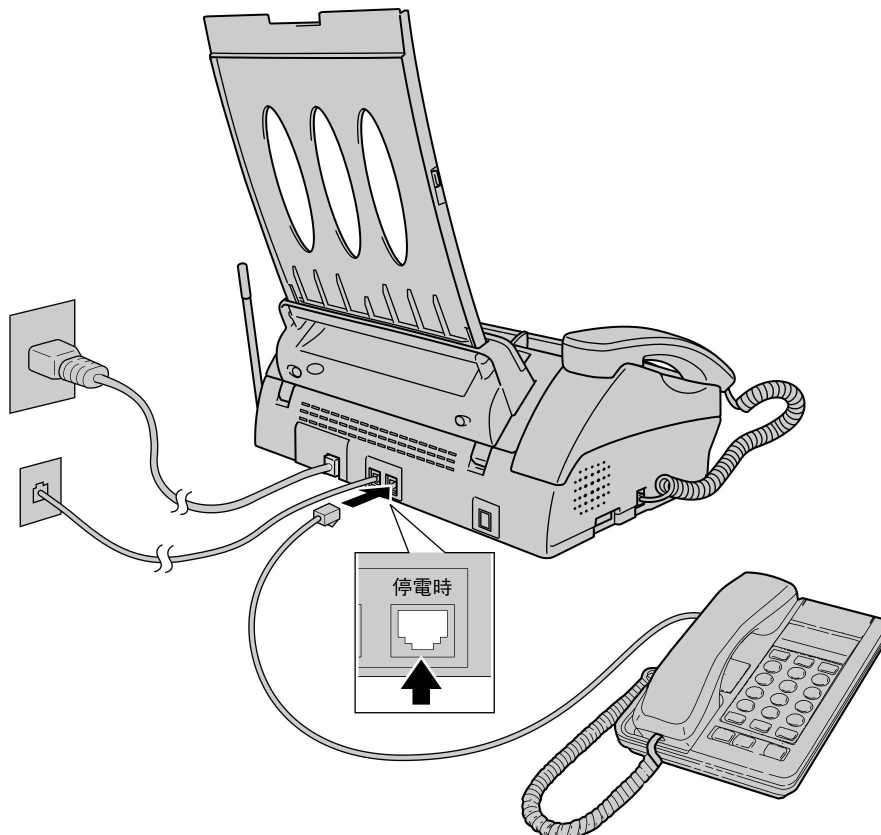
➡ ☞110ページの手順3･4･5と同様の手順でリボンカートリッジを本体にセットしてください。

停電になったときは

本機は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC 電源を必要としない電話機）を保管することをおすすめします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。



- 停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。



■ ナンバーディスプレイサービス、ダイヤルインサービスをご利用いただいているときは

停電中に電話がかってくると、停電用電話機のみ、呼出音が短く 5 ～ 6 回鳴ります。その後、通常の呼出音に変わりますので、音が変わったら停電用電話機の受話器をとって電話を受けてください。
最初の短い呼出音のときに受話器をとると、通話できないことがあります。このときは、いったん受話器を戻し、再度呼出音が鳴ったら受話器をとってください



- 半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定してください。
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。



- 停電時のデータについて

消去されないデータ	電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信記録（子機）、発信記録（子機）
数時間以上たつと消去されるデータ※	着信記録（親機）、発信記録（親機）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、モーニングメロディ設定内容
停電後すぐ消去されるデータ	送信メモリー文書

※ただし、停電前に連続 1 週間以上、電源が入った状態にしておく必要があります。

- 通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。
- 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

エラーメッセージが表示されたら

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。

■ 親機

ディスプレイ表示	原因	処置
A4 ｻｲｽﾞ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼ ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	受信したデータが A4 より大きい。 記録紙が A4 サイズより小さい。	A4 サイズの記録紙をセットした後、スタートを押して印刷を続けます。
ｱｲﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂｶﾞ ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ	自動で回線種別が設定できなかった。	12 ページの手順にしたがって、回線種別を設定してください。
ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂｦ ｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	回線種別が設定されていない。	
XX 年 XX 月 XX 日 XX:XX ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	上カバーが完全に閉まっていない。	上カバーを再度閉め直してください。
ｷﾛｸｴﾗｰ ｶｲﾌｸﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	連続使用により記録部分が熱くなってる。	しばらく待ってください。回復すると待ち受け画面に戻ります。原稿がつまっているときは「ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されます。このときは、停止を押してください。
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 （☞ 108 ページ）
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｷﾛｸｼｦ ﾄｯﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｷﾛｸｼ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙がセットされていない。	A4 サイズの記録紙を多め（50 枚以下）にセットして、スタートを押してください。
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄｯﾃｸﾀﾞｻｲ	下記の原因で原稿がつまっている。 ・原稿が正しく挿入されていない ・原稿が正しく送信されていない ・原稿サイズが長い ・原稿受けが正しくセットされていない ・ハンドスキャナーが外れている	上カバーを開いて原稿を取り除きます。上カバーを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。（☞ 107ページ） ハンドスキャナーが外れているときは、正しく本体にセットしてください。
ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｹﾞﾝｺｳ ﾃﾏｴﾆ ﾋｷﾀﾞｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ		
ｾｯﾃｲｶﾞ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ	メモリー送信またはタイマー送信の設定がされていません。	設定されていないので、そのままお使いください。
ｿｳﾁ ｶｸﾆﾝ ** ｺｰﾙｾﾝﾀｰﾍ TEL ｸﾀﾞｻｲ	ファクシミリ本体に何らかの異常が発生した。	「お客様相談窓口 0120 － 161170」へ連絡してください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。

ディスプレイ表示	原因	処置
ﾃﾝｿｳﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞｰﾀﾌﾙ/ﾂｳｼﾝｴﾗｰ	何らかの理由により、その操作ができなかった。	もう一度、操作をやり直してください。
ﾄｳﾛｸｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
ﾊﾅｼﾁｭｳ / ｵｳﾄｳﾅｼ	相手が出ない。	ファクシミリが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。
	相手が通信中（話し中）。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｶｸﾆﾝ ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ダイヤルインサービスの登録番号が間違っている。	番号を NTT に確認して、もう一度登録し直してください。（☞ 87 ページ）
	ダイヤルインサービスに加入していない、またはサービスが開始されていないのにダイヤルインモードの設定が ON になっている。	いったんダイヤルインモードの設定を OFF にしてください。サービスが開始されたら、本機のダイヤルインモードの設定を ON にしてください。（☞ 81 ページ）
	ダイヤルインサービスを利用している場合、本機が動作中（内線通話中、コピー中など）に電話やファクスの着信があると、動作終了後に表示されることがありますが、問題ではありません。	
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ｿｳｼﾝ:ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。[スタート] を押すと、すでに読み込んだ原稿を送信します。 [停止] を押すと送信を中止します。 ファクスデータや留守録データを消去してください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ:ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。[コピー] を押すと、すでに読み込んだ原稿をコピーします。 [停止] を押すとコピーを中止します。 ファクスデータや留守録データを消去してください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾒｯｾｰｼﾞｦ ｹｼﾃｸﾀﾞｻｲ	空きメモリーが不足している。	56 ページの手順に従って、メモリーに記録されているメッセージを消去してください。
ﾘﾎﾞﾝ ｶｸﾆﾝ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	リボンがなくなった。	新しいリボンと交換してください。 （☞ 109 ページ）

■ 子機

ディスプレイ表示	原因	処置
ｵﾔｷﾆ ﾁｶﾂﾞｲﾃ ｸﾀﾞｻｲ 《ﾂｳﾜ ｹﾝｶﾞｲ》	通話中のコードレス子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。	約15秒以内に使用圏内に戻ってください。
	親機を使っているときに、子機で「メロディヨミコミ」を行った。	親機を待ち受け画面にした後で、もう一度「メロディヨミコミ」を行ってください。
ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ 《ﾃﾞﾝﾁﾉｺﾘ ﾅｼ》	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。通話中にこのメッセージが出たときは、約 15 秒以内に 内線/クリア（保留）を押して充電器に置き、親機の受話器を取って通話を続けてください。
ﾃｲｷﾃｷﾆ ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾀﾝｼｦ ﾌｲﾃｸﾀﾞｻｲ	子機または充電器の充電端子が汚れている可能性がある。（ただし、充電器から子機をとり、何も操作しないまま約 60 秒経過したときも表示されます。）	子機および充電器の充電端子は定期的に掃除してください。（☞ 105 ページ） 充電器に子機を戻す、または（切）を押すと表示が消えます。
ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞｰﾀﾌﾙ ﾏﾀﾊ ﾂｳｼﾝｴﾗｰ	何らかの理由によりその他の操作ができなかった。	もう一度操作をし直してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。それでも異常があるときは、「お客様相談窓口 0120 − 161170」へご連絡ください。

■ 親機／子機

	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。(☞11 ページ)
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。(☞ 20 ページ)
	電話のベルの音が小さい	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。(☞ 19 ページ)
	電話機からの相手の声が聞き取りにくい	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。(☞ 20 ページ)
	相手に声が聞こえないと言われる	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	スピーカーホン通話がうまくできない	まわりの音がうるさくないですか。	受話器を上げて、受話器で通話してください。（または、スピーカーホン（スピーカーホン）を押して受話器に切り換えてください。）子機の場合は（スピーカー）を押して子機を持って話してください。
	ハンズフリー着信ができない（返事をしてもつながらない）	返事が短くないですか。	長く返事をしてください。(☞ 41 ページ)
		返事が小さくないですか。	大きな声で返事をしてください。
			感度設定を高くしてください。(☞ 42 ページ)
		返事の声が高すぎませんか。	少し低い声で返事をするか、返事のしかたを変えてください。（例：おーい）(☞ 42 ページ)
	電話がかかってきても応答しない／着信メロディが鳴らない	着信回数は正しく設定されていますか。	受信モードに合わせて着信回数を設定します。
		本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。	ターミナルアダプターの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
		構内交換器に接続しているのに、ナンバーディスプレイの設定が「ｱﾘ」になっていませんか。	ナンバーディスプレイの設定を「ﾅｼ」に設定してください。(☞ 71 ページ)
		ダイヤルインサービスに加入していないのに、ダイヤルインの設定が「ON」になっていませんか。	ダイヤルインの設定を「OFF」に設定してください。(☞ 81 ページ)
		ドアホン通話中ではありませんか。	ドアホン通話中は、外線からの着信があっても、着信音やメロディが鳴らないことがあります。設定を確認してください。(☞ 102 ページ)
		内線通話中ではありませんか。	着信音をメロディに設定していると、内線通話中に外線からの着信があっても、着信音が鳴らないことがあります。設定を確認してください。(☞ 45 ページ)
	着信音をベルやメロディに変更したが設定した着信音が鳴らない	ハンズフリー着信に設定されていませんか？	ハンズフリー着信に設定した場合、設定したベルやメロディは鳴らず、「ベル 1」が鳴ります。設定を確認してください。(☞ 41 ページ)

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話		受話器からダイヤルトーンが聞こえない	「スピーカーホン」（親機のスピーカーホン）を押して、スピーカーホンからダイヤルトーンが聞こえていますか。	ダイヤルトーンが聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり差し込まれているか確認してください。聞こえていない場合は、電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
			電話機コードが正しく接続されていますか。	ターミナルアダプターの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
		通話中に突然ファクスに切り替わる	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を「ＯＦＦ」に設定してください。（☞ 63 ページ） ※このときは、ファクスは手動で受信します。（☞ 55 ページ）
	キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。（☞ 10 ページ）
	ダイヤルイン	正常に動作しない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。（☞ 10 ページ）
	ナンバーディスプレイ	電話番号が表示されない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。（☞ 10 ページ）
	キャッチホンディスプレイ	キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホンディスプレイデータを受けられない	キャッチホンディスプレイの設定が「ﾅｼ」に設定されていませんか。	キャッチホンディスプレイの設定を「ｱﾘ」にします。（☞ 75 ページ）
	子機	動作しない 着信音が鳴らない	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。（☞ 15 ページ）
			バッテリーの残量がなくなっていませんか。	バッテリーの充電をしてください。（☞ 15 ページ）
			回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。（☞ 11 ページ）
			着信音量が「OFF」になっていませんか。	着信音量を「OFF」以外に設定してください。（☞ 19 ページ）
			親機から離れすぎていませんか。	呼出音が鳴る範囲まで、（子機を）親機に近づけてください。
			近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。
			親機で機能の設定・登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
			親機でコピーをしていませんか。	コピーが終わるのを待ってください。
			親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
			親機のアンテナと子機用ACアダプターのコードが近くにありませんか。	親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。（アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。）

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	子機	通話が突然切れる	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を「ＯＦＦ」に設定してください。(☞ 63 ページ) ※このときは、ファクスは手動で受信します。(☞ 55 ページ)
		ハンズフリー着信設定時、設定が終了しても「ﾚﾝｼﾕｳﾁﾕｳ」が表示されている	(切) を押してください。	
		連続再ダイヤルができない	まわりがうるさすぎませんか。	まわりの電気製品のボリュームを下げたり、静かなところへ移動するなどして、もう一度連続再ダイヤルをし直してください。(☞ 31 ページ)
				普通の再ダイヤルでかけ直してください。(☞ 31 ページ)
		雑音が入りやすい	近くに電気製品や障害物はありませんか。(☞ 16 ページ) ※設置環境を確認してください。 （「子機の設置、使用範囲を確かめる」☞ 16ページ）	親機のアンテナをのばし、向きを前後／右側に変えてみてください。
				親機の置き場所や向きを変えてみてください。
				親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。（アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。）
				親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
			放送局、高圧線などが近くにありませんか。	親機の置き場所や向きを変えてみてください。
			自動車、オートバイ、飛行機が近くを通っていませんか。	雑音が消えるまでしばらくお待ちください。または、一時的に親機をご使用ください。
			蛍光灯のスイッチを「入」「切」していませんか。	
			ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用していませんか。	
			移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。
		相手の声が聞こえにくい	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
		相手から聞こえないと言われる	送話口（マイク）をふさいでいませんか。	受話口、送話口（マイク）をふさがないでください。
		子機の呼出音が遅れて鳴る	故障ではありません。 （電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の呼出音が鳴り、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。）	そのままお使いください。
		充電器に置いても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」と表示しない	充電器の子機用 AC アダプターは確実に差し込まれていますか。	
			充電台に正しく置かれていますか。	ディスプレイが正面に見える方向に、子機を置いてください。
			充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。(☞ 105 ページ)
			電池を交換していませんか。	新しい電池はバッテリーが完全に消耗していることがあります。このときは、充電台に置いて約 1 分後には「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」と表示されます。表示されたら約 15 時間充電してください。
		子機が温かい	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	子機（警告音）	充電器からとったり、(外線)押すと、「ピーピーピー」と鳴り、(外線)が消灯する。	親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
			親機から離れすぎていませんか。	親機の近くに（通話圏内）に戻ってください。
			電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
		充電してもバッテリー警告音（ピッピッピッ…）が鳴り、ディスプレイに「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ＜＜ ﾃﾞﾝﾁﾉｺﾘ ﾅｼ＞＞」と表示される	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。（☞ 104 ページ）
				バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、ACアダプターの電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください（☞ 15 ページ）
		警告音（ピピッピピッ）が鳴り、ディスプレイに「ﾃｲｷﾃｷﾆ ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾀﾝｼｦ ﾌｲﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示される	充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。（☞ 105 ページ）
			充電台から子機を取り、ダイヤル操作なしで 60 秒経過していませんか。	子機を充電台に戻してください。
		通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		通話中に警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴る	バッテリーが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を充電台に戻してください。
				通話を保留にして子機を充電台に戻し、親機で通話を続けてください。
	留守番電話	外出先からの操作ができない	トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていない。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		メッセージが録音の途中で切れている	録音中に 8 秒以上無音が続いた。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
		メッセージが録音できない	メモリー容量がいっぱいになっている。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを削除してください。
	ADSL回線	以前に較べて自分の声が響いたり、相手の声が聞きにくい	ADSL のスプリッタが影響している可能性があります。	ADSL 回線のスプリッタを交換すると改善する場合があります。スプリッタの製造メーカーにお問い合わせください。
		通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなる	ADSL 回線を使用して、並列接続をしていませんか。	並列接続をしないでください。
	ISDN回線	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい	ISDN 回線の TA（ターミナルアダプター）に接続していませんか	TA に受話音量の設定がある場合は、受話音量「小」に設定してください。また、本機の受話音量を小さくしてください。（☞20 ページ）
		電話がかけられない	回線種別が「PB」に設定されていない。	回線種別を「PB」に設定してください。（☞ 12 ページ）
			本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
		電話を受けてもベルが鳴らない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。	
			契約回線番号、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。	
		本機が接続されているアナログポートに 1 ～ 2 回おきにしか着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	ISDN回線	本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
				ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 ダイヤルイン番号、または i・ナンバーを登録する サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
			ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。	
		契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る	ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。	グローバル着信は「しない」に設定してください。
ファクス／コピー		特定の相手とファクス通信できない	「お客様相談窓口 0120-161170」へご連絡ください。	
		ファクス送受信ができない （電話も使えない）	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。回線に異常がなければ、「お客様相談窓口 0120-161170」へご連絡ください。	
	スタートボタンを押しても送信／受信しない		原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。	原稿を外して受信します。 （☞ 55 ページ）
			原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿を正しくセットしてください。
			スタート（スタート）を押す前に、受話器を戻していませんか。	スタート（スタート）を押してから受話器を戻します。 （☞ 55 ページ）
			回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 （☞ 11 ページ）
	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった		きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。（☞ 109 ページ）
			相手先に異常がありませんか。	相手先に確認します。
			画質モードは適切ですか。	画質を調整します。（☞ 84 ページ）
			キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。（☞ 78 ページ）
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない		記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、または上カバーを正しくセットします。 （☞ 13 ページ）
			記録紙がなくなっていませんか。	
			上カバーは確実に閉まっていますか。	
			記録紙がつまっていませんか。	つまった記録紙を取り除きます。 （☞ 108 ページ）
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる		相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。	
			コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。（☞ 66 ページ）
	受信したファクスの同じページを何度も印刷する		A4 サイズの記録紙を多め（50 枚以下）にセットしていますか。	A4 サイズの記録紙を多め（50 枚以下）にセットしてください。

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	きれいに受信できない	電話回線の接続が悪いため起こります。	相手にもう一度、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない	読取部が汚れていませんか。	読取部を清掃してください。（☞ 105 ページ）
	記録紙が重なって送り込まれる	紙をほぐして入れ直してください。（☞ 13 ページ）	
	B4 サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。	
	自動受信できない	着信回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは着信回数を6回以下に、留守モードのときは着信回数を 2 回以下に設定してください。（☞ 22,89 ページ）または スタート（スタート）を押して手動で受信してください。
	構内交換器に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、「お客様相談窓口 0120-161170」にご連絡ください。	
原稿	原稿が繰り込まれていかない	原稿受けを使用していますか。	原稿を正しくセットします。（☞ 54 ページ）
		原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	
		上カバーは確実に閉まっていますか。	
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	使用できる原稿を確認してください。（☞ 124 ページ）
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	つまった原稿を取り除きます。（☞ 107 ページ）
	原稿が斜めになってしまう	原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。	原稿を正しくセットします。（☞ 54 ページ）
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	つまった原稿を取り除きます。（☞ 107 ページ）
その他	電源が入らない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込みます。（雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。）

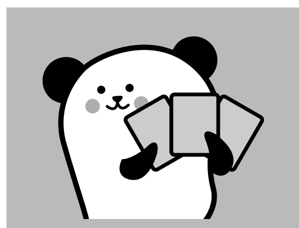


● 製品の異常により修理が必要となった場合、故障箇所や修理箇所況によっては「消去されないデータ」（☞114 ページ）でも、消えることがあります。

■ ハンドスキャナー

こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
読み取りができない	ハンドスキャナー裏側のローラーにテープや異物がはさまっていませんか。	テープや異物を取り除いてください。
	親機、または子機で通話していませんか。	通話中は、ハンドスキャナーは使用できません。通話が終わったあと、操作し直してください。
コピー（印刷出力）できない	本機の記録紙がなくなっていませんか。	記録紙を補給してください。（☞13 ページ）
読み取り途中で印刷が始まる	メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリーに記憶されている不要なデータ（音声メッセージやファクスメッセージなど）を消去してください。（☞48、56 ページ）
	読み取り中に15秒以上ハンドスキャナーを止めていませんか。	15秒以上ハンドスキャナーを動かさないと、自動的に読み取りを停止します。
コピー／送付した文書に黒い線が出る	原稿読み取り面の透明窓部が汚れていませんか。	汚れを拭き取ってください。（☞105 ページ）
	本機の記録部が汚れていませんか。	汚れを拭き取ってください。（☞106 ページ）
ファクス送信／印刷した文書がぼやけたり、黒くなる	ハンドスキャナーを原稿に密着して読み取っていますか。	原稿に押しあてて動かしてください。ハンドスキャナーをまっすぐに動かしにくいときは、厚手の定規などをハンドスキャナーの左端に沿わせて動かしてください。（☞67 ページ）
	読み取りを原稿の上から開始しましたか。	読み取りを始めるときに、ハンドスキャナーの読み取り開始位置が読み取る原稿からはみ出していると、文書がぼやけたり、黒くなることがあります。
読み取ったつもりの読み始めの部分が読み取られていない	読み取り開始位置は正しいですか。	読み取り開始位置が正しいかどうかを確認してください。（☞67 ページ）
読み取ったつもりの読み終わりの部分が読み取られていない	厚みのある原稿の端の部分を読み取っているときに、ハンドスキャナーの裏側のローラーが原稿から外れていませんか。	ハンドスキャナーの下に原稿と同じ高さの本などを敷いて段差をなくし、ローラーが回るようにしてから読み取ってください。
コピーした文書の上下左右が反対に写る 読み取られていない	ハンドスキャナーの読み取り方向が逆になっていませんか。	ハンドスキャナーに表示されている矢印の方向に動かしてください。（☞67 ページ）

第8章



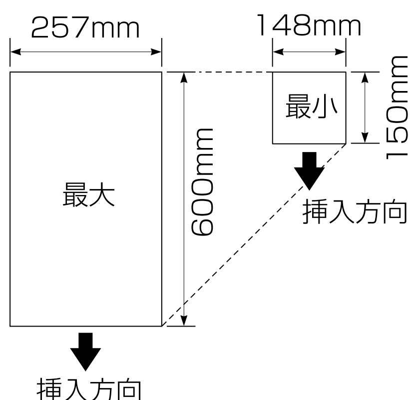
付　　　　録

原稿について

セットできる原稿のサイズと厚さは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿を使うときは、複写機で拡大・縮小コピーをするか、小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてセットしてください。

● 原稿のサイズと紙厚

使用できる原稿のサイズや厚みは次の通りです。



● **最大原稿サイズ**：257（幅）× 600（長さ）mm
長さが 400mm 以上の原稿は手で支えながら送信してください。

● **最小原稿サイズ**：148（幅）× 150（長さ）mm

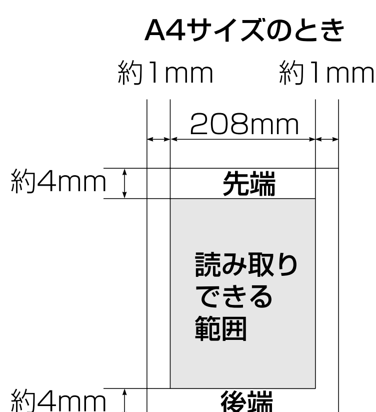
● **紙厚**：0.08 ～ 0.10mm

● **重量**：64g/m^2 ～ 81.4g/m^2（55 ～ 70kg 紙）

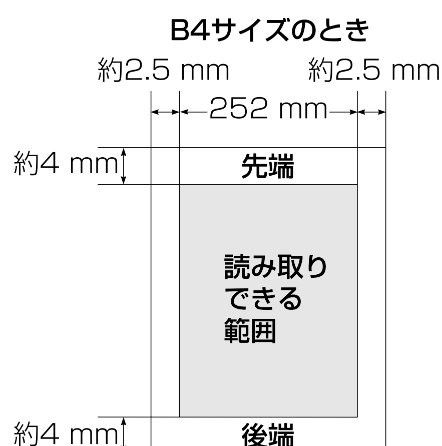
● 原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたとき、読み取ることのできない範囲がありますので、ご注意ください。
また、読み取ることのできる範囲は、原稿の紙質、紙厚、および原稿をセットした状態などにより変化する場合があります。

A4サイズのとき



B4サイズのとき



● 使用できない原稿

次のような原稿をセットすると原稿がつまったり破れたりすることがあります。必要な処置をしてセットしてください。

使用できない原稿	処置
ステープラーの針やクリップのついた原稿	ステープラー、クリップをはずしてください。
そり、折れ、しわのある原稿	たいらにするか、複写機でコピーしてください。
・穴、破れのある原稿 ・貼り合わせた原稿 ・アート紙、銀紙、カーボン紙など表面が加工された原稿 ・インデックス、付せんなどはみ出た部分がある原稿 ・登記書のように薄くてやわらかい原稿 ・官製はがきのように厚い原稿 ・本のようにとじてある原稿 ・つるつるすべる原稿	キャリアシートを使うか、複写機でコピーしてください。
朱肉、修正液、インクなどが乾いていない原稿	完全に乾かしてください。

機能一覧

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。
ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

●親機

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照ページ
初期登録	回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	PB 10PPS **20PPS** ジドウセッテイ	機能/確定 1 1	12 ページ
	時計セット	現在の日付と時刻を登録します。	**02 年** **01 月** **01 日** **00 時** **00 分**	機能/確定 1 2	17 ページ
	発信元登録	ファクスにプリントされる発信元の名前やファクス番号、電話番号を登録します。	−	機能/確定 1 3	18 ページ
	キータッチ音量	フロントパネルのキーにタッチしたときのタッチ音の音量を設定します。	OFF **ショウ** ダイ	機能/確定 1 4	19 ページ
受信設定	着信回数	「在宅モード」「留守モード」ごとに着信ベルを鳴らす回数を設定します。 (詳しい設定回数については 21、22 ページを参照してください。)	ザイタクモード (0 〜 (**8 回**) 〜 15 回・ムセイゲン) ルスモード (0 〜(**2 回**)〜 07 回・トールセーバー)	機能/確定 2 1	89 ページ
	親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	**ON** OFF	機能/確定 2 2	63 ページ
	自動縮小	A4 サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小する / しないを設定します。	**ON** OFF	機能/確定 2 3	63 ページ
	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	−	機能/確定 2 4	63 ページ
	在宅応答切替	在宅時の応答メッセージを切り替えます。	**メッセージ** ベル	機能/確定 2 5	91 ページ
送信設定	送付書	ファクスを送信するとき、「送付書」を付ける／付けないを設定します。	コンカイノミ ON **OFF** プリントサンプル	機能/確定 3 1	59 ページ
	送付書コメント	「送付書」に記載するコメントを作成します。(2 種類のオリジナルコメントを登録できます。)	−	機能/確定 3 2	59 ページ
	原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	コク **フツウ** ウスク	機能/確定 3 3	84 ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送信するときに設定します。	ON **OFF**	機能/確定 3 4	57 ページ
	電話予約	ファクス送信後に相手と話がしたいとき、設定します。	ON **OFF** プリントサンプル	機能/確定 3 5	57 ページ
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	−	機能/確定 3 6	57 ページ



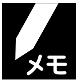
操作を途中で中止するときは、停止 を押します。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照ページ
解除	設定解除	タイマー送信やタイマーポーリング受信の設定を解除します。	−	機能/確定 ○ 4	61 ページ
ダイヤル登録	電話帳登録	電話帳に電話番号や相手先の名前を登録します。	(最大 100 件)	機能/確定 ○ 5 1	33 ページ
	電話帳変更	電話帳に登録した電話番号や相手先の名前を変更します。	−	機能/確定 ○ 5 2	33 ページ
	電話帳転送	親機に登録した電話番号を、子機へ転送できます。	−	機能/確定 ○ 5 3	39 ページ
	グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	(最大５件)	機能/確定 ○ 5 4	35 ページ
	グループ変更	「グループ」の名前の変更、相手先の消去や追加をします。	−	機能/確定 ○ 5 5	35 ページ
リストプリント	送信レポート	ファクス送信後に送信結果をプリントするための設定をします。	ON **エラーノミ** OFF	機能/確定 ○ 6 1	95 ページ
	通信管理レポート	最新の通信結果をプリントします。 （送信、受信合わせて 30 件です。）	プリントリスト **シュツリョクカンカク**(6/12/24ジカンゴト、2/4/7ジカンゴト、**シナイ**)	機能/確定 ○ 6 2	95 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録した内容を 50 音順にプリントします。	−	機能/確定 ○ 6 3	95 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。	−	機能/確定 ○ 6 4	95 ページ
	メモリー使用状況	使用可能なメモリー量など、メモリーの使用状況をプリントします。	−	機能/確定 ○ 6 5	97 ページ
	消耗品シート	リボンカートリッジなどの消耗品を注文するオーダーシートをプリントします。	−	機能/確定 ○ 6 6	97 ページ
	一括送信レポート	一括送信後に送信結果をプリントするための設定をします。	**ON** エラーノミ	機能/確定 ○ 6 7	97 ページ
	機能一覧	本機の機能一覧をプリントします。	−	機能/確定 ○ スタート	97 ページ
留守録メモリー設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ (ルスオウトウ 1、ルスオウトウ 2)、在宅応答メッセージ(ザイタクオウトウ) の録音 / 再生 / 消去をします。	ルスオウトウ 1 ルスオウトウ 2 ザイタクオウトウ	機能/確定 ○ 7 1	89 ページ
	録音時間	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30 ビョウ **60 ビョウ** 120 ビョウ 180 ビョウ	機能/確定 ○ 7 2	91 ページ
	留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる / 聞こえないを設定します。	**ON** OFF	機能/確定 ○ 7 3	91 ページ
	暗証番号	外出先から本機を操作するための、暗証番号を設定します。	アンショウバンゴウ: **- - -** ファクス :ON ファクス :**OFF**	機能/確定 ○ 7 4	49 ページ
	転送	メッセージを受信したとき、「用件転送」や「ファクス転送」をするための設定をします。	**OFF** ファクステンソウ (ファクス転送先登録) ヨウケンテンソウ (留守録転送先登録)	機能/確定 ○ 7 5	51 ページ



操作を途中で中止するときは、停止 を押します。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照ページ
メロディ設定	着信音	着信音の鳴りかたを設定します。	**ベル 1 ～ 4** メロディ 1 ～ 50	機能/確定 → 8 → 1	85 ページ
	保留メロディ	保留音の鳴りかたを設定します。	**メロディ 1 ～ 50**	機能/確定 → 8 → 2	85 ページ
	モーニングメロディ	モーニングメロディの鳴りかたと時刻を設定します。	**OFF** ON ベル 1 メロディ1～50	機能/確定 → 8 → 3	93 ページ
	子機転送ジャンル	子機にメロディを登録するときに、あらかじめ転送する曲のジャンルを設定します。	**タノシイPOPS／アニメ** キセツ／イベント ドウヨウ／ソノタ イヤシノクラシック ゲンキガデルクラシック	機能/確定 → 8 → 4	97 ページ
ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ	NTT のナンバーディスプレイサービスを使用する / しないを設定します。	**アリ** ナシ	機能/確定 → 9 → 1	71 ページ
	着信鳴り分け設定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。	**スベテ** オヤキ コキ 1 ～コキ 4 ファクス メイワクシテイ	機能/確定 → 9 → 2	72 ページ
	非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	アリ **ナシ**	機能/確定 → 9 → 3	74 ページ
	公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	アリ **ナシ**	機能/確定 → 9 → 4	74 ページ
	着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	ON **OFF**	機能/確定 → 9 → 5	75 ページ
	キャッチディスプレイ	NTT のキャッチホンディスプレイサービスを使用する / しないを設定します。	アリ **ナシ**	機能/確定 → 9 → 6	75 ページ
ソノタサービス	ダイヤルイン	NTT のダイヤルインサービスを使用する / しないを設定します。	ON **OFF**	機能/確定 → 0 → 1	81 ページ



操作を途中で中止するときは、停止 を押します。

●子機

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照ページ
電話帳登録	子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	－	機能/確定	37 ページ
電話帳変更	電話帳に登録した内容を変更・消去します。	－	機能/確定	37 ページ
電話帳転送	子機に登録した電話番号を、親機へ転送できます。	－	機能/確定	39 ページ
着信音選択	着信音を選択します。 ※メロディ４～７は親機から読み込んだメロディです。	**ベル** メロディ１ メロディ２ メロディ３ メロディ４～７	機能/確定	85 ページ
発信記録クリア	発信記録の内容をすべて消去します。	－	機能/確定	32 ページ
着信記録クリア	着信記録の内容をすべて消去します。	－	機能/確定	77 ページ
メロディ読み込み	親機に登録されているメロディを子機に読み込みます。	－	機能/確定	87 ページ
画面の明るさ	ディスプレイの明るさを設定します。	１～７（**4**）	機能/確定	98 ページ
キー確認音	キータッチ音を鳴らす／鳴らさないを設定します。	**ON** OFF	機能/確定	19 ページ



操作を途中で中止するときは、切 を押します。

主な仕様

●親機

形式	送受信兼用卓上型 G3 機
圧縮方式	MH（モディファイドハフマン）
電送時間 *1	約 9 秒
通信速度	14400 ／ 12000 ／ 9600 ／ 7200 ／ 4800 ／ 2400 BPS（自動フォールバック方式）
原稿サイズ幅	最大：257mm、最小：148mm
最大有効読取幅 *2	252mm
最大有効記録幅	205mm
記録紙サイズ	210mm × 297mm（A4 普通紙）
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
最大読取枚数 *3	約 30 枚
ハーフトーン	64 階調（誤差拡散方式）
走査線密度	主走査：8 ドット／ mm 副走査:3.85本／mm（標準）、7.7本／mm（ファイン／写真）、15.4本／mm(S.ファイン／写真)
適用回線	一般電話回線、2 線式専用回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応）
総録音可能時間 *4	約 30 分
メモリー記憶枚数 *4	約 60 枚
使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：45 ～ 80%
電源	AC100V ± 10V 50 ／ 60Hz
消費電力 *5	待機時 ：約 3.8W　ファクス送信時：約 9.5W　コピー時：約 19.4W ピーク時：約 170W 以下　ファクス受信時：約 16.8W
直流抵抗値	254Ω
外形寸法	341.5（横幅）× 208（奥行き）× 141.5（高さ）mm（突起部を除く） 実設置寸法：350.5（横幅）× 264（奥行き）× 377.5（高さ）mm
質量	約 3.5kg（ハンドスキャナー、リボンカートリッジ含む）

*1：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で高速モード（14400bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。
*2：B4 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。
*3：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。
*4：録音可能時間やメモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。（例えば、ファクスメッセージがメモリーに記憶されているときは録音可能時間が短くなります。）
*5：コピー、ファクス送受信時の原稿は、画像電子学会 No.4 チャートを使用。（常温、常湿にて測定）
※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

●子機

	コードレス電話機	充電器
使用可能距離	見通し距離約 100m	–
充電完了時間	約 15 時間	–
使用可能時間（充電完了後）	待機状態：約 110 時間、連続通話：約 6 時間	–
使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：45 ～ 80%	
電源	DC2.4V（子機用バッテリー使用）	AC100 ± 10V 50 ／ 60Hz
消費電力	–	約 2W（充電時）
外形寸法	42.8（横幅）×37.1（奥行き）×182.1（高さ）mm	67（横幅）× 100（奥行き）× 111（高さ）mm
質量	約 150g（子機用バッテリー含む）	約 106g

消耗品などのご注文について

- 消耗品につきましては、お買い上げの販売店・家電量販店にてお買い求めいただくか、インターネット（弊社ホームページ）、お電話、オーダーシートによる FAX などの方法でご注文頂けます。
- ご注文いただきました商品は、受付け終了後（振り込みの場合は入金確認後）通常 3 日程度（土・日・祝日、長期休暇を除く）で宅配便にて発送させて頂きます。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税加算前）の場合は全国無料です。5,000 円未満の場合は 500 円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 銀行／郵便振込時の振り込み手数料はお客様負担となります。お振込みの場合は、ご入金確認後の商品発送となります。（銀行／郵便局備え付けの振り込み用紙等からお振り込みください。）
- カードでのお支払いの場合は、カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。
- 配送先が離島の場合、代引きによるお支払はご利用できません。
- 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

ご注文先

ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ

インターネット:	http://www.brother.co.jp/direct/
住所：	〒 467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
TEL：	052-824-3414
FAX:	052-825-0311
お客様ご注文窓口:	0120-118825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 17 時）
振込先:	口座名義：ブラザー販売株式会社
	銀行：三井住友銀行 上前津（カミマエヅ）支店 普通 6428357
	郵便：振り込み番号 00860-1-27600

※本機からプリントすることができます。(☞ 97 ページ)

〈キリトリ線〉

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｵｰﾀﾞｰｼｰﾄ

ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾝﾊﾞｲ (ｶﾌﾞ) ｼﾞｮｳﾎｳｷｷ ｼﾞｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾀﾞｲﾚｸﾄｸﾗﾌﾞ ﾕｷ
FAX: 052-825-0311

(ｺﾞｼﾞｭｳｼｮ) ________________________________

____

(ｵﾅﾏｴ) ________________________________

(TEL) ________________ (FAX) ________________

(E-MAIL) ________________________________

(ｼﾊﾗｲﾎｳﾎｳ) 1.ｷﾞﾝｺｳ ﾏｴ ﾌﾘｺﾐ 2.ﾕｳﾋﾞﾝ ﾏｴ ﾌﾘｺﾐ 3.ﾀﾞｲｷﾝﾋｷｶｴ 4.ｶｰﾄﾞ

(ｶｰﾄﾞｼｭﾙｲ) 1.VISA 2.JCB 3.UC 4.DINERS 5.CF 6.MASTER 7.JACCS

(ｶｰﾄﾞﾒｲｷﾞﾆﾝ) ________________ (ﾕｳｺｳｷｹﾞﾝ) ______ ﾈﾝ ______ ｶﾞﾂ

(ｶｰﾄﾞNO.) ________________________________

ﾋﾝﾒｲ	ﾌﾞﾋﾝｺｰﾄﾞ	ｶｶｸ (ｾﾞｲﾍﾞﾂ)	ｽｳﾘｮｳ	ｷﾝｶﾞｸ
ｶｾｯﾄﾂｷ ﾘﾎﾞﾝ X 1ｺ ＊1 PC-451	LE5253-001	1,900円		
ﾂﾒｶｴﾖｳ ﾘﾎﾞﾝ X 1ﾎﾝ ＊1 PC-400RF	LE4957-001	1,280円		
ﾂﾒｶｴﾖｳ ﾘﾎﾞﾝ X 4ﾎﾝ ＊1 PC-404RF	LE4991-001	4,500円		
ｿﾞｳｾﾂ ｺｷ BCL-500S (ｼﾙﾊﾞｰ)	5XX20100101	16,000円		
ｺｷﾖｳ ﾊﾞｯﾃﾘｰ BCL-BT	UF8731-001	1,600円		

ｼｮｳｹｲ ①	
ﾊｲｿｳﾘｮｳ ② ＊2 ●ｼｮｳｹｲ ￥5,000 ｲｼﾞｮｳ → ￥0 ●ｼｮｳｹｲ ￥5,000 ﾐﾏﾝ → +￥500	
ｺﾞｳｹｲ ③ (① + ②)	
ｼｮｳﾋｾﾞｲ ④ ＊3 (③ X 0.05)	
ｿｳｺﾞｳｹｲ (③ + ④)	

＊1：ﾘﾎﾞﾝ ﾉ ﾅｶﾞｻﾊ A4 ﾔｸ 144ﾏｲﾌﾞﾝ ﾃﾞｽ
＊2：ﾊｲｿｳﾘｮｳﾊ ｶﾜﾙｶﾉｳｾｲｶﾞ ｱﾘﾏｽ
＊3：ｼｮｳﾋｾﾞｲﾊ ｶﾜﾙｶﾉｳｾｲｶﾞ ｱﾘﾏｽ
＊ｵﾌﾘｺﾐ ﾉ ﾊﾞｱｲﾊ ｺﾞﾆｭｳｷﾝ ｶｸﾆﾝｺﾞ ﾉ ｼｮｳﾋﾝﾊｯｿｳ ﾄ ﾅﾘﾏｽ

ﾋｺﾞﾛｶﾗﾌﾞﾗｻﾞｰFAX ｦ ｺﾞｱｲﾖｳｲﾀﾀﾞｷ
ﾏｺﾄﾆ ｱﾘｶﾞﾄｳｺﾞｻﾞｲﾏｽ.
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ｦ ｺﾞﾘﾖｳｻﾚﾃｲﾙ ｵｷｬｸｻﾏﾆﾊ URLﾆﾃ
ﾌﾞﾗｻﾞｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄｸﾗﾌﾞ ﾆ ｱｸｾｽﾃﾞｷﾏｽ.
(URL) HTTP://WWW.BROTHER.CO.JP/DIRECT/
URLﾆﾃ ﾁｮｸｾﾂ ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｦ ｺﾞﾁｭｳﾓﾝ ｲﾀﾀﾞｹﾏｽ.
ｾﾞﾋ ｲﾁﾄﾞ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ.

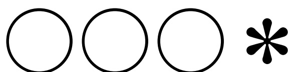
(ｷﾞﾝｺｳﾌﾘｺﾐ) ﾐﾂｲｽﾐﾄﾓ ｷﾞﾝｺｳ ｶﾐﾏｴﾂﾞ ｼﾃﾝ
ﾌﾂｳ 6428357
ｺｳｻﾞﾒｲｷﾞ：ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾝﾊﾞｲ (ｶﾌﾞ)

(ﾕｳﾋﾞﾝﾌﾘｺﾐ) ﾌﾘｺﾐﾊﾞﾝｺﾞｳ：00860-1-27600
ｺｳｻﾞﾒｲｷﾞ：ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾝﾊﾞｲ (ｶﾌﾞ)

リモコンアクセスカード

外出先から本機を操作する場合（☞ 49 ページ）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

〈キリトリ線〉



暗　証　番　号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

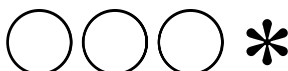
リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、#、＊、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。
   その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう１度やり直してください。

〈キリトリ線〉



暗　証　番　号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

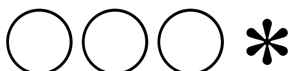
リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、#、＊、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。
   その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう１度やり直してください。

〈キリトリ線〉



暗　証　番　号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、#、＊、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。
   その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう１度やり直してください。

〈キリトリ線〉

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91（※4）
戻し（再生中から戻し）		911（91+1）
送り（再生中から送り）		912（91+2）
音声メッセージを消去（※2）		93
留守応答メッセージ1	再生	9410
	録音	9420（※1、※4）
留守応答メッセージ2	再生	9411
	録音	9421（※1、※4）
在宅応答メッセージ	再生	9412
	録音	9422（※1、※4）
留守録転送、ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952（※5）
	留守録転送	953（※5）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##
留守録転送番号の登録・変更		955+転送番号入力+##

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：リモコンコード入力後、録音します。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは 9 を入力してください。
※5：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

〈キリトリ線〉

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91（※4）
戻し（再生中から戻し）		911（91+1）
送り（再生中から送り）		912（91+2）
音声メッセージを消去（※2）		93
留守応答メッセージ1	再生	9410
	録音	9420（※1、※4）
留守応答メッセージ2	再生	9411
	録音	9421（※1、※4）
在宅応答メッセージ	再生	9412
	録音	9422（※1、※4）
留守録転送、ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952（※5）
	留守録転送	953（※5）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##
留守録転送番号の登録・変更		955+転送番号入力+##

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：リモコンコード入力後、録音します。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは 9 を入力してください。
※5：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

〈キリトリ線〉

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91（※4）
戻し（再生中から戻し）		911（91+1）
送り（再生中から送り）		912（91+2）
音声メッセージを消去（※2）		93
留守応答メッセージ1	再生	9410
	録音	9420（※1、※4）
留守応答メッセージ2	再生	9411
	録音	9421（※1、※4）
在宅応答メッセージ	再生	9412
	録音	9422（※1、※4）
留守録転送、ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952（※5）
	留守録転送	953（※5）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##
留守録転送番号の登録・変更		955+転送番号入力+##

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：リモコンコード入力後、録音します。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは 9 を入力してください。
※5：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

索　引

な

は

ま

や

ら

お客様相談窓口　0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前9：00～午後7：00
営 業 日　月曜日～土曜日
（日・祝日および当社(ブラザー販売(株))休日は休みとさせていただきます。）

ダイレクトクラブにて消耗品のファクス注文受付中！
ファクス番号：052-825-0311
（消耗品オーダーシートは親機からプリントできます。）
本文97ページ、131ページ参照

● 純正品のブラザーリボンをご使用いただいた場合のみ機能・品質保証されます。

brother

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. **Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.**

● **お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。**
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。

LF1049047②
Printed in Japan